

山梨県

長期欠席児童生徒家庭を支えるための

家庭環境実態調査

クロス集計報告書

1 調査概要

(1)調査の目的

長期欠席の状態にある児童生徒を抱える家庭を対象に、長期欠席による家庭環境の変化や支援制度の利用状況、求める支援内容等を把握し分析を行うことで、当該家庭を支援するための実態に即した効果的な施策を構築することを目的とする。

(2)調査概要

山梨県における長期欠席児童生徒およびそのご家庭への支援策を検討するため、県内公立小学生から高校生の保護者を対象に、実態調査(web アンケート調査)を実施した。

図表:アンケート概要

調査対象	県内の公立小学校2年生～公立高校3年生の保護者
調査方法	web 調査
集計対象数 ※	771 件

※回答者のうち Q3-1 にてお子さんが 30 日以上欠席した人数が 1 名以上の人を集計対象とした。

(3)調査期間

2025 年 7 月 8 日—8 月 8 日

結果の見方

- ・単数回答はグラフ、複数回答はマトリクス表。
- ・Q4-6 がクロス先の場合は、3 人分合算値(=最大母数はお子さんの数である 844 人)。
- ・傾向のコメントが難しい設問については、グラフ・マトリクス表のみの貼り付けとしている。

2 調査結果

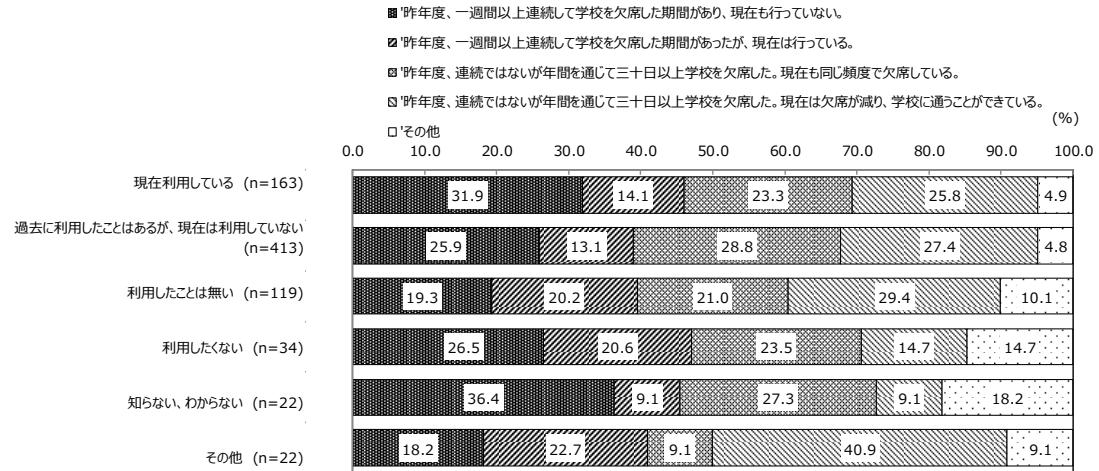
1. SC・SSW の利用有無別クロス	5
Q8_1.SC の利用 × Q3_2 欠席の状況	5
Q8_1.SSW の利用 × Q3_2 欠席の状況	5
Q8_1.SC の利用 × Q4_1 現在の学年	6
Q8_1.SSW の利用 × Q4_1 現在の学年	7
Q8_1.SC の利用 × Q4.長期欠席歴	8
Q8_1.SSW の利用 × Q4.長期欠席歴	9
Q8_1.SC の利用 × Q5.長期欠席の要因	10
Q8_1.SSW の利用 × Q5.長期欠席の要因	11
Q8_1.SC の利用 × Q6.保護者の思い	12
Q8_1.SSW の利用 × Q6.保護者の思い	13
Q8_1.SC の利用 × Q9.学校(教育委員会)に求める支援	14
Q8_1.SSW の利用 × Q9.望む支援	19
Q8_1.SC の利用 × Q10.学校外支援の利用	23
Q8_1.SSW の利用 × Q10.学校外支援の利用	23
2. 長期欠席していた要因・きっかけ × 学校(教育委員会)に求める支援 クロス	24
Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9. 学校(教育委員会)に求める支援	24
3. 保護者の思い × 学校(教育委員会)に求める支援 クロス	36
Q6.保護者の思い × Q9.学校(教育委員会)に求める支援	36
4. 雇用形態の変化別クロス	43
Q21.雇用形態の変化 × Q1.家族構成	43
Q21.雇用形態の変化 × Q4-1.現在の学年	44
Q21.雇用形態の変化 × Q4-2.傾向がみられた学年	45
Q21.雇用形態の変化 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ	46
Q21.雇用形態の変化 × Q8.SC・SSW の利用状況	47
Q21.雇用形態の変化 × Q10.学校外支援の利用状況	48
Q21.雇用形態の変化 × Q17.不安や悩み事	49
Q21.雇用形態の変化 × Q23.働き方の変化	50
Q21.雇用形態の変化 × Q24.ケアと仕事の両立に望むもの	51
Q21.雇用形態の変化 × Q26.行政に求める支援	52
5. 働き方の変化別クロス	59

Q23. 働き方の変化 × Q1.家族構成	59
Q23. 働き方の変化 × Q4.長期欠席歴	60
Q23. 働き方の変化 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ	61
Q23. 働き方の変化 × Q8.SC・SSW の利用状況	62
Q23. 働き方の変化 × Q10.学校外支援の利用状況	63
Q23. 働き方の変化 × Q17.不安や悩み事	64
Q23. 働き方の変化 × Q24.ケアと仕事の両立に望むもの	65
Q23. 働き方の変化 × Q26.行政に求める支援	66
6. 雇用形態の変化の理由別クロス.....	73
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q1.家族構成	73
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ	74
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q8.SC・SSW の利用状況	75
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q10.学校外支援の利用状況	76
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q16.最もケアした人	76
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q17.不安や悩み事	77
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q23.働き方の変化	78
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q24.ケアと仕事の両立に望むもの	79
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q26.行政に求める支援	80

1. SC・SSW の利用有無別クロス

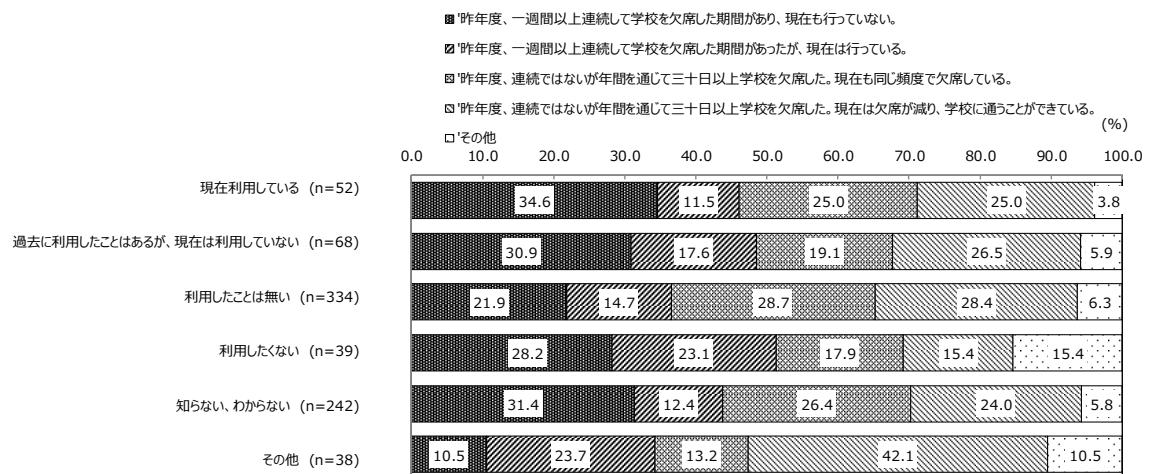
Q8_1.SC の利用 × Q3_2 欠席の状況

「昨年度、一週間以上連続して学校を欠席した期間があり、現在も行っていない」割合は、SC を「知らない、わからない」層が 36.4%と最も高い。(母数が少ない点には留意が必要)
SC を「利用したことは無い」層は今年度は学校に行っている割合が比較的高い。



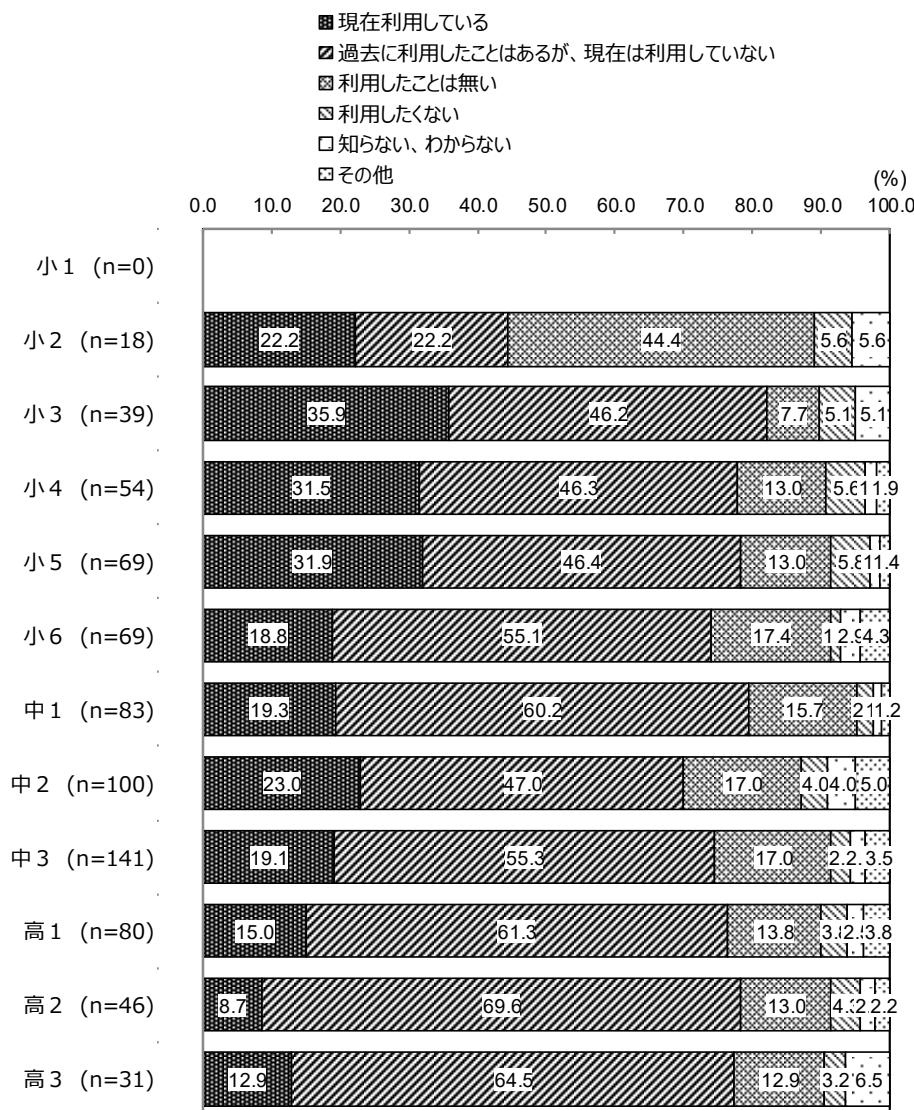
Q8_1.SSW の利用 × Q3_2 欠席の状況

「昨年度、一週間以上連続して学校を欠席した期間があり、現在も行っていない」割合は、SSW を「現在利用している」層が最も高く 34.6%、次いで「知らない、わからない」層が 31.4%。



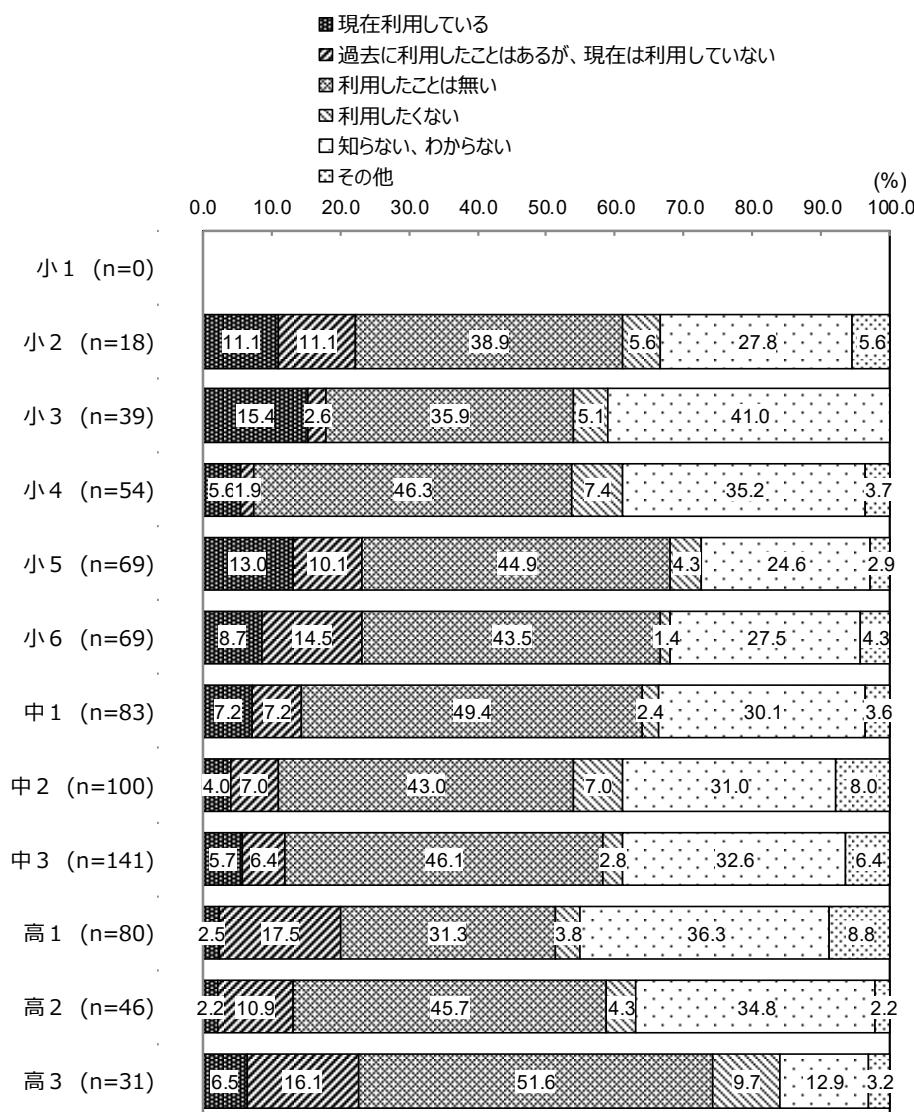
Q8_1.SC の利用 × Q4_1 現在の学年

SC の利用率は、小3で最も高く 35.9%。



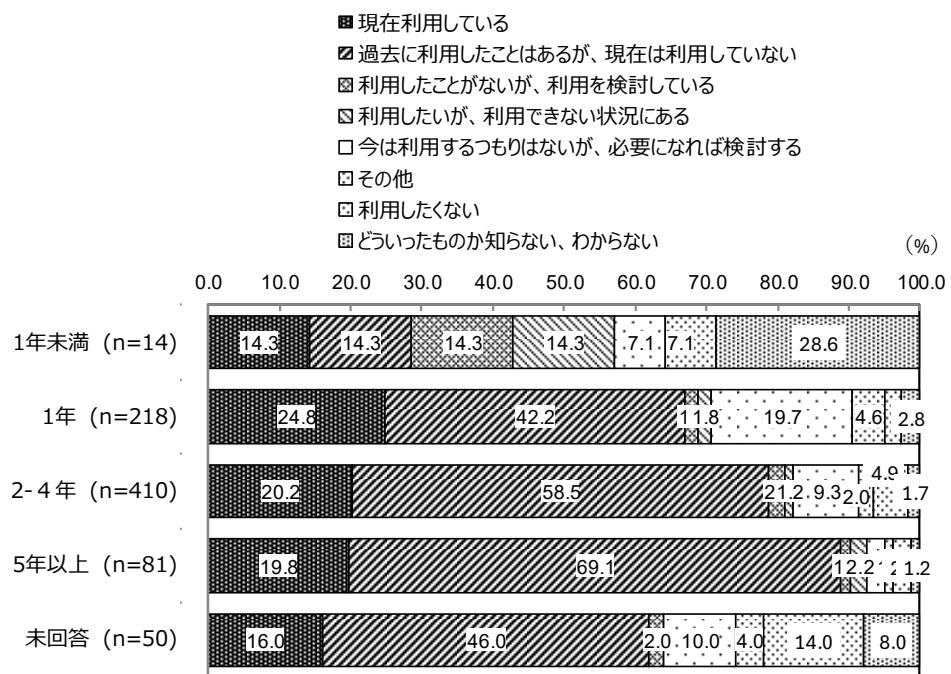
Q8_1.SSW の利用 × Q4_1 現在の学年

SSW の利用率は、小3で最も高く 15.4%。「知らない、わからない」は、小3で最も高く 41.0%。



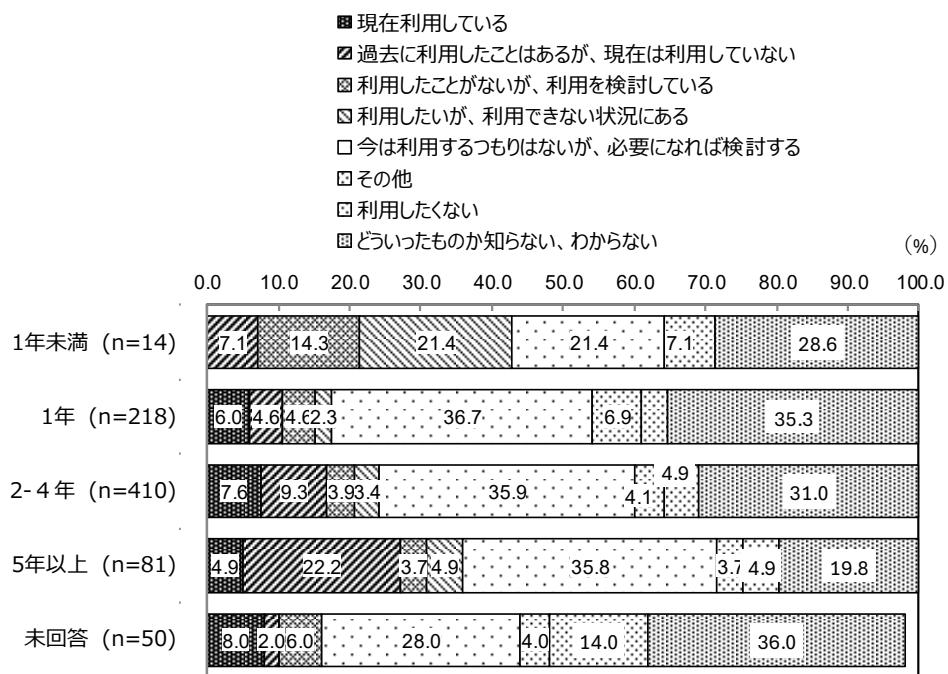
Q8_SC の利用 × Q4.長期欠席歴

長期欠席が長い層のほうでSCを「現在利用している」割合が低くなっている。SCを「過去に利用したことはあるが、現在は利用していない」割合は、1年、2-4年、5年以上と欠席期間が長いほど増える。



Q8_1. SSW の利用 × Q4.長期欠席歴

SC 同様、SSW を「過去に利用したことはあるが、現在は利用していない」割合は、1 年、2—4 年、5 年以上と欠席期間が長いほど増える。



Q8_1.SC の利用 × Q5.長期欠席の要因

SC を「現在利用している」層、SC を「過去に利用したことはあるが、現在は利用していない」層は、「気持ちが落ち込んだり、いろいろしたりした」、「学校で、声や音がうるさかったり、いやなにおいがしたりした」の割合が他の層よりも高い傾向にある。

また、SC を「現在利用している」層は、「勉強がわからなかった」の選択割合も他の層よりも高い。SC を「過去に利用したことはあるが、現在は利用していない」層は、「先生とあわなかった」の割合が他の層に比べ高い。

SC を「利用したくない」層は、「いやがらせやいじめをうけた」「いじめ以外の友人関係のトラブルがあった」「仲の良い友達がいなかった」の割合が他の層に比べ高い傾向にある。

		全 体	問5-1.お子さんが学校を長期欠席していた要因・きっかけは何ですか。（複数回答可）												部活動の問題	学校のきまりのこと
い や が ら せ や い じ め を う	い や わ が ら せ し ま い じ め に 加		い じ め 以 外 の 友 人 関 係 の	仲 の 良 い 友 達 が い な か っ	先 生 と あ わ な か っ	先 生 に 厳 しく 怒 ら れ た	勉 強 が 分 か ら な か っ	授 業 が か ん た ん す ぎ た	成 績 が 下 が つ た	宿 題 が でき な か つ た	将 来 の 進 路 の こ と で 悩 ん					
		844	158	3	141	106	212	84	127	9	29	62	13	49	105	
全 体		100.0	18.7	0.4	16.7	12.6	25.1	10.0	15.0	1.1	3.4	7.3	1.5	5.8	12.4	
S C 利用有無	現在利用している	163	32	1	27	24	34	16	34	2	4	18	4	10	24	
	過去に利用したことはあるが、現在は利用していない	100.0	19.6	0.6	16.6	14.7	20.9	9.8	20.9	1.2	2.5	11.0	2.5	6.1	14.7	
	利用したことは無い	119	20	0	22	12	31	12	21	1	5	10	4	8	8	
	利用したくない	34	11	0	7	6	8	1	4	1	0	1	0	4	2	
	知らない、わからない	22	3	0	0	2	4	0	3	0	0	1	1	0	0	
	その他	22	5	0	10	4	6	2	6	0	1	2	0	1	2	
		100.0	22.7	0.0	45.5	18.2	27.3	9.1	27.3	0.0	4.5	9.1	0.0	4.5	9.1	
		た 校 入 学 ク ラ ス 級 に 合 わ 校 な か つ 学												わ か ら な い	答 え た く な い	
		95	129	56	38	274	261	222	31	48	3	155	62	4		
S C 利用有無	現在利用している	16	30	8	5	59	66	45	7	16	0	31	15	0		
	過去に利用したことはあるが、現在は利用していない	9.8	18.4	4.9	3.1	36.2	40.5	27.6	4.3	9.8	0.0	19.0	9.2	0.0		
	利用したことは無い	17	14	16	7	43	38	33	4	7	1	25	9	0		
	利用したくない	3	3	3	5	12	6	6	1	0	0	8	1	0		
	知らない、わからない	1	1	0	0	6	5	3	1	2	0	5	2	1		
	その他	2	4	3	2	7	6	8	1	1	0	8	1	0		
		9.1	18.2	13.6	9.1	31.8	27.3	36.4	4.5	4.5	0.0	36.4	4.5	0.0		

Q8_1.SSW の利用 × Q5.長期欠席の要因

SSWを「利用したくない」層は、「いやがらせやいじめを受けた」の割合が30.8%と他の層に比べ高い傾向にある。「利用したことは無い」「利用したくない」「知らない、わからない」層は、「からだの不調」が他の層よりも高い傾向にある。

Q8_1.SC の利用 × Q6.保護者の思い

SC を「現在利用している」層は、「在籍校に登校し、自分のクラスに入れるようにしてあげたい」「自分のクラスに入れなくても、在籍校に登校できるようにしてあげたい」「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」の割合が他の層と比べ高い。

SC を「利用したくない」層は、「家庭で学校と繋がり、オンライン等で授業を受けさせてあげたい」の割合が高い。

SC を「知らない、わからない」層は、「学校と繋がらなくても、家庭で学習に取り組ませてあげたい」の割合が他の層と比べ高い。

		問6長期欠席をしていた際、おさんの状況に対して保護者としてどのように感じていたかご回答ください。（複数回答可）						
		全 体	ス 在 に 籍 入 校 れ に る 登 よ 校 い う し に し 自 て 分 あ の げ ク た ラ	も 、 自 分 の 在 籍 校 に し て に あ 登 校 た で き あ げ た い る よ う	在 籍 校 以 外 の 支 援 施 設 に 通 わ	イ 家 庭 等 で で 学 授 校 げ 業 と た を 繋 い 受 が け さ せ オ て ン あ ラ	で 学 校 習 と に 繋 取 が り ら い 組 な ま く せ て も あ げ 家 た 庭	そ の 他
全 体		844	336	344	228	262	203	133
		100.0	39.8	40.8	27.0	31.0	24.1	15.8
S C 利 用 有 無	現在利用している		163	78	89	55	53	53
			100.0	47.9	54.6	33.7	32.5	32.5
	過去に利用したことはあるが、 現在は利用していない		413	176	177	126	141	99
			100.0	42.6	42.9	30.5	34.1	24.0
	利用したことは無い		119	47	47	24	39	28
			100.0	39.5	39.5	20.2	32.8	23.5
	利用したくない		34	9	8	6	11	8
		100.0	26.5	23.5	17.6	32.4	23.5	17.6
知らない、わからない		22	8	7	6	10	9	2
		100.0	36.4	31.8	27.3	45.5	40.9	9.1
その他		22	11	10	4	4	3	7
		100.0	50.0	45.5	18.2	18.2	13.6	31.8

Q8 1.SSW の利用 × Q6.保護者の思い

SSWを「現在利用している」層は、「在籍校に登校し、自分のクラスに入れるようにしてあげたい」「自分のクラスに入れなくても、在籍校に登校できるようにしてあげたい」「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」の割合が他の層と比べ高い傾向にある。

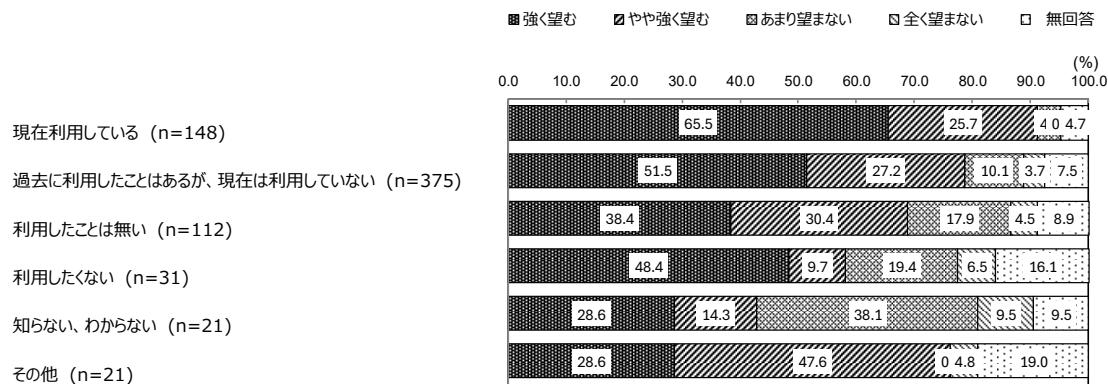
SSWを「知らない、わからない」層は、「家庭で学校と繋がり、オンライン等で授業を受けさせてあげたい」「学校と繋がらなくても、家庭で学習に取り組ませてあげたい」の割合が高い。

		問6-長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたかご回答ください。(複数回答可)						
全 体		ス 在 に 箱 入 校 れ に る 登 よ 校 い う し に 、 し 自 て 分 あ の げ ク た ラ	も 、 自 分 の 在 箱 校 に し て に 登 あ げ た い に 登 校 で き る よ う	在 箱 校 以 外 の 支 援 施 設 に 通 わ	イ 家 庭 ン 等 で 学 校 授 業 と 繫 け タ い 業 を 受 け オ さ せ て ン あ ラ	で 学 校 學 習 と に 繫 取 ガ り 組 ら な く ま せ て て も あ げ 家 庭	そ の 他	
全 体		844 100.0	336 39.8	344 40.8	228 27.0	262 31.0	203 24.1	133 15.8
SSW利用有無	現在利用している	52 100.0	28 53.8	27 51.9	20 38.5	14 26.9	13 25.0	11 21.2
	過去に利用したことはあるが、現在は利用していない	68 100.0	29 42.6	23 33.8	23 33.8	14 20.6	24 35.3	13 19.1
	利用したことは無い	334 100.0	136 40.7	145 43.4	102 30.5	113 33.8	70 21.0	43 12.9
	利用したくない	39 100.0	17 43.6	12 30.8	4 10.3	11 28.2	7 17.9	6 15.4
	知らない、わからない	242 100.0	104 43.0	114 47.1	63 26.0	93 38.4	80 33.1	41 16.9
	その他	38 100.0	15 39.5	17 44.7	9 23.7	13 34.2	6 15.8	14 36.8

Q8_1.SC の利用 × Q9.学校(教育委員会)に求める支援

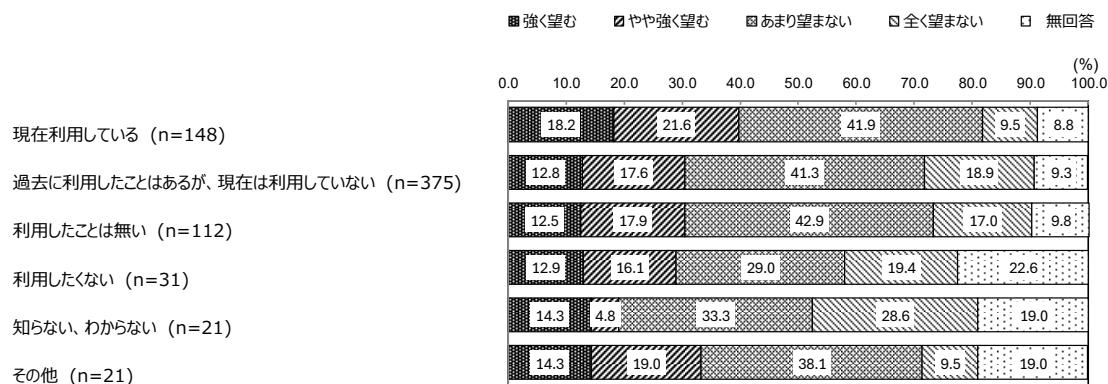
【Q9-1.在籍学校内に、教室以外の居場所をつくるほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、65.5%。



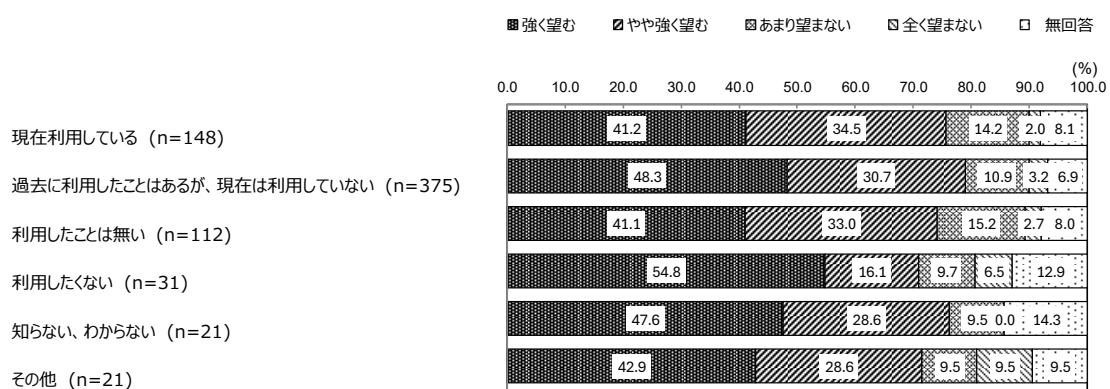
【Q9-2.登校時の付き添い等、登校支援をしてほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、18.2%。



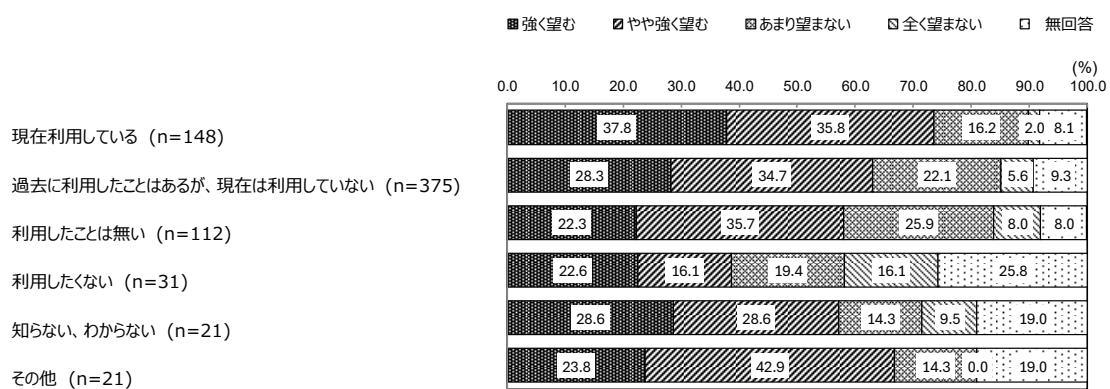
【Q9-3.オンライン授業の充実等、家庭にいても受けられる学習支援をしてほしい】

SC を「利用したくない」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、54.8%。



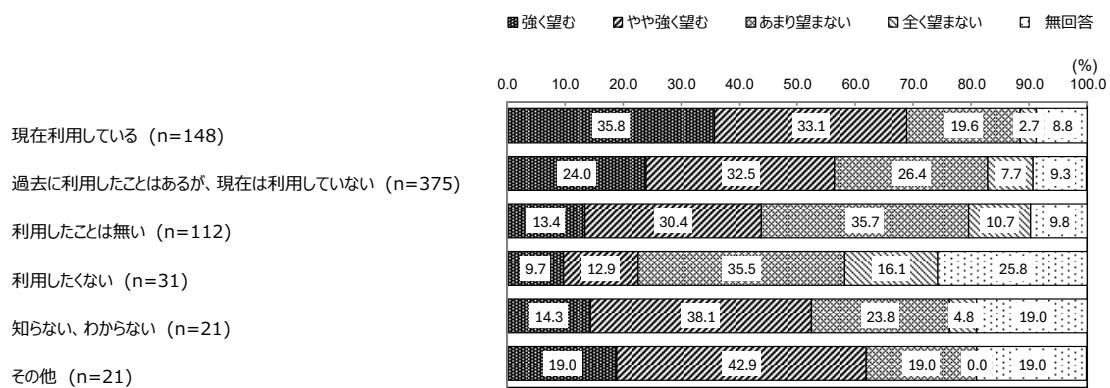
【Q9-4.医療機関と繋がるための情報がほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、37.8%。



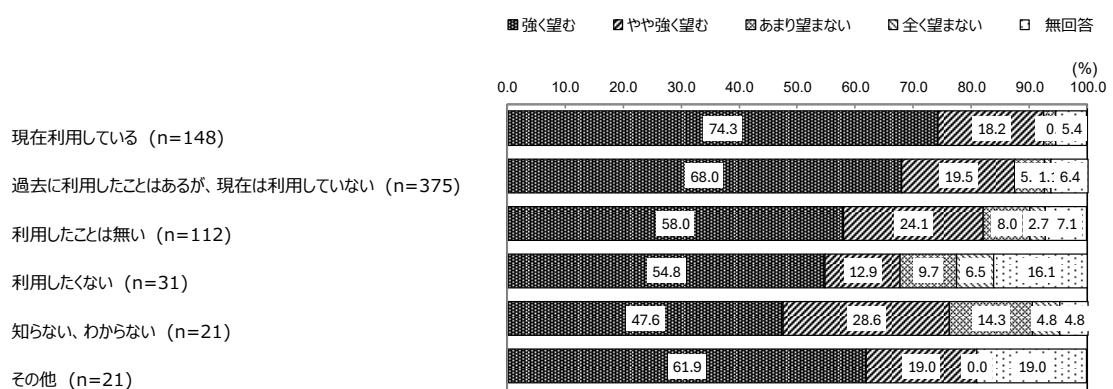
【Q9-5.家庭環境や親子の関係についての相談窓口の情報がほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、35.8%。



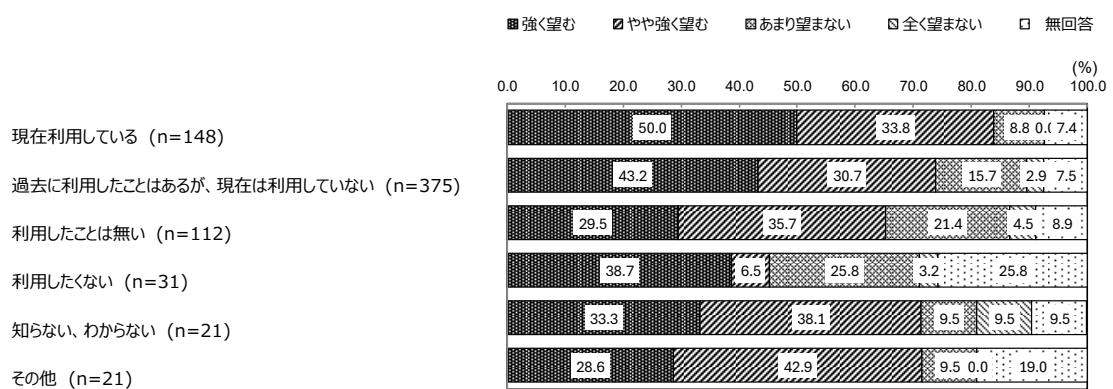
【Q9-6.学校が安心できる場所になってほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、74.3%。



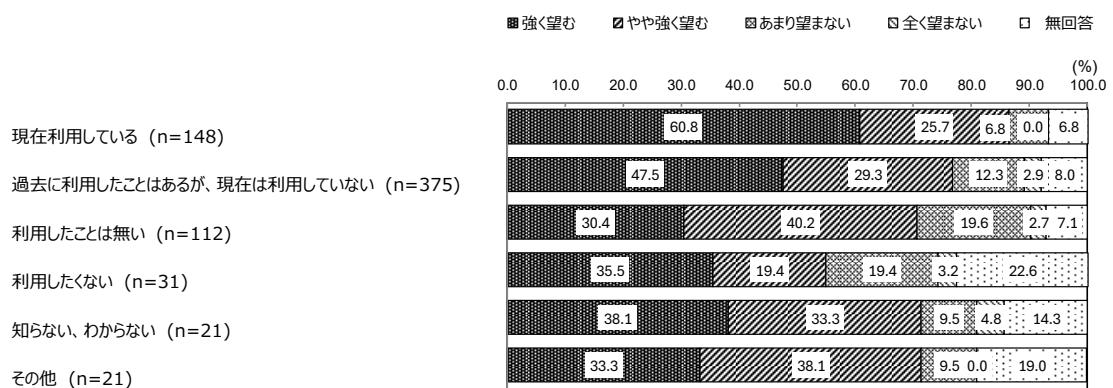
【Q9-7.在籍学校とは別に、公共の支援場所を増やしてほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、50.0%。



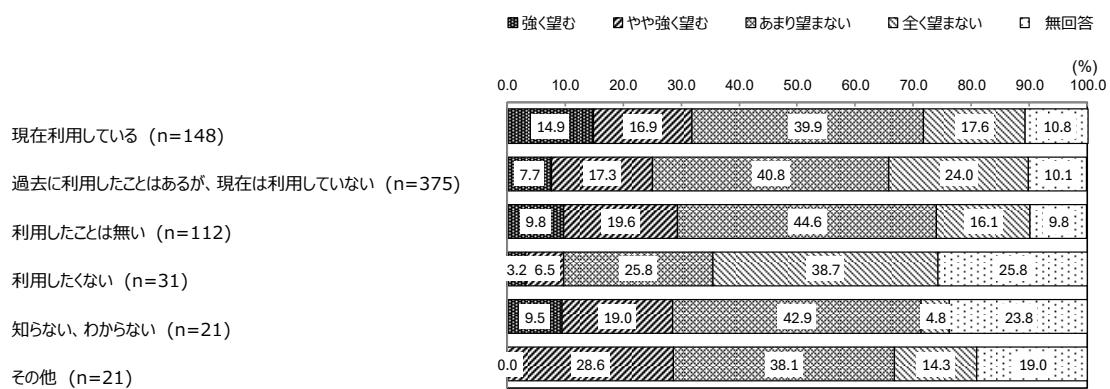
【Q9-8.学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)と在籍学校の連携をしてほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、60.8%。



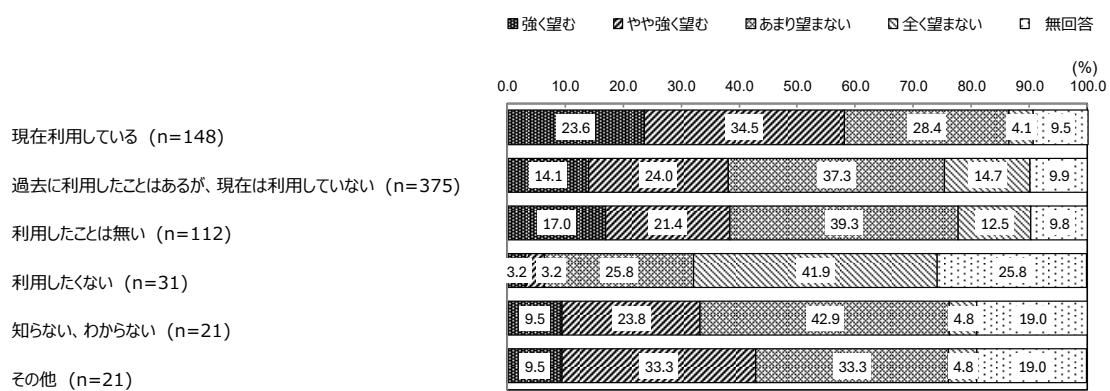
【Q9-9.スクールカウンセラー(SC)に相談したいが、方法がわからないので教えてほしい】

SCを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、14.9%。



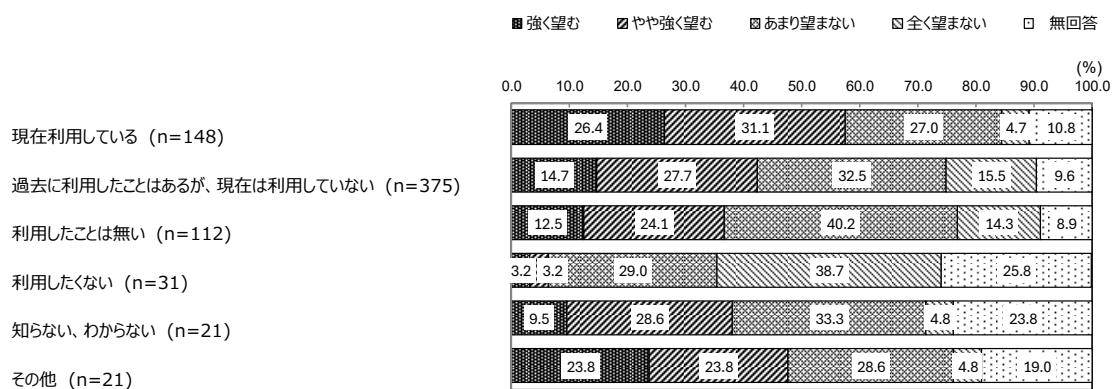
【Q9-10.スクールカウンセラー(SC)の相談時間を増やしてほしい】

SCを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、23.6%。



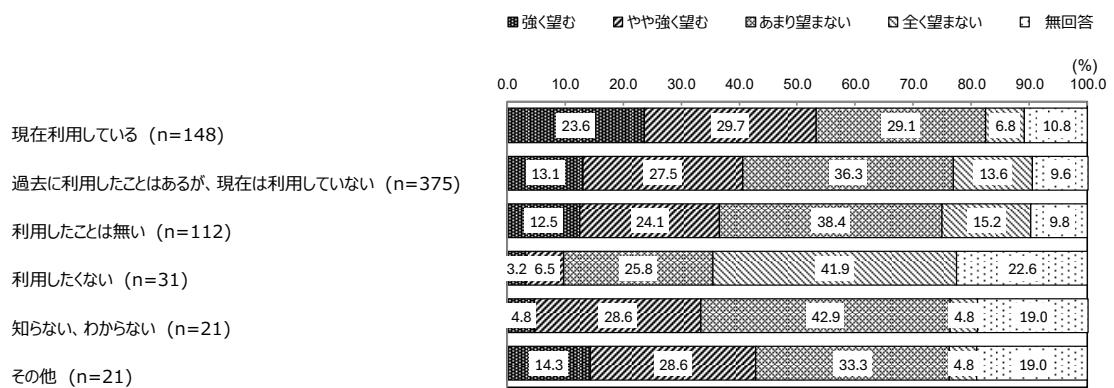
【Q9-11.スクールソーシャルワーカー(SSW)に繋いでもらいたいが、方法がわからないので教えてほしい】

SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、26.4%。



【Q9-12.スクールソーシャルワーカー(SSW)の対応時間を増やしてほしい】

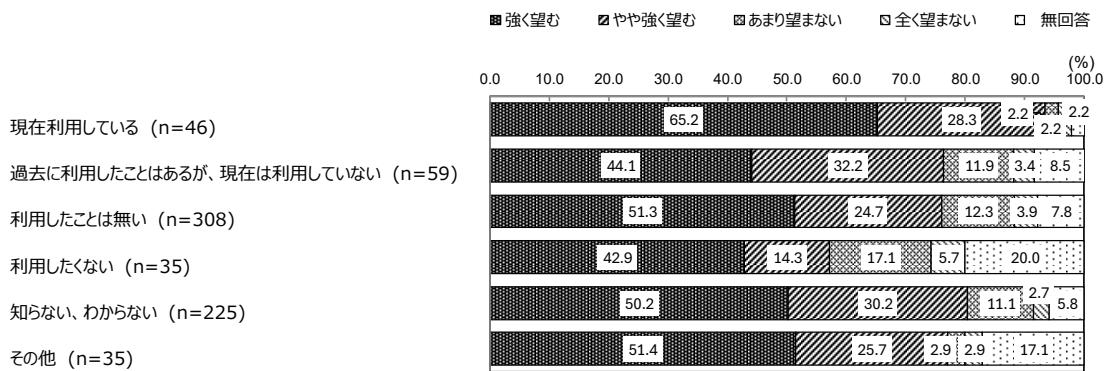
SC を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、23.6%。



Q8_1.SSW の利用 × Q9.望む支援

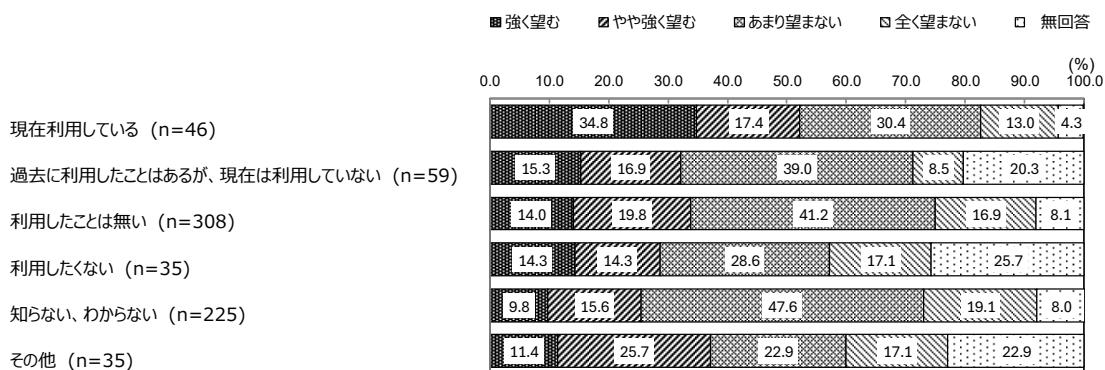
【Q9-1.在籍学校内に、教室以外の居場所をつくるほしい】

SSW を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、65.2%。



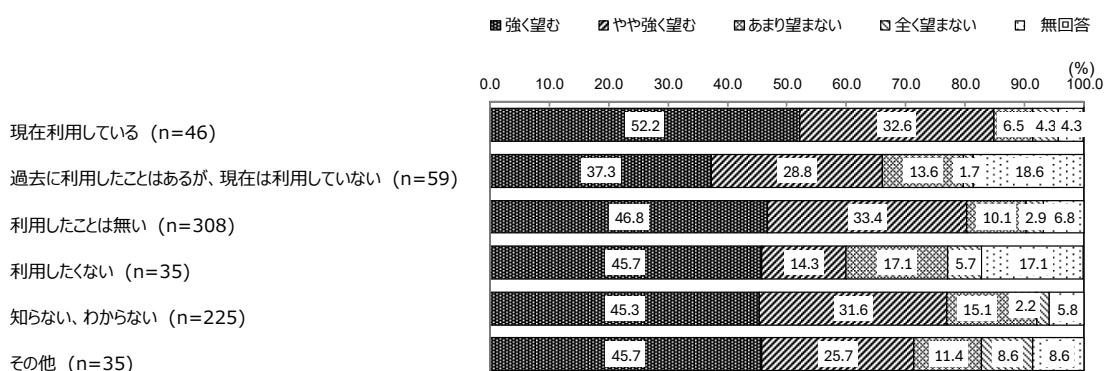
【Q9-2.登校時の付き添い等、登校支援をしてほしい】

SSW を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、34.8%。



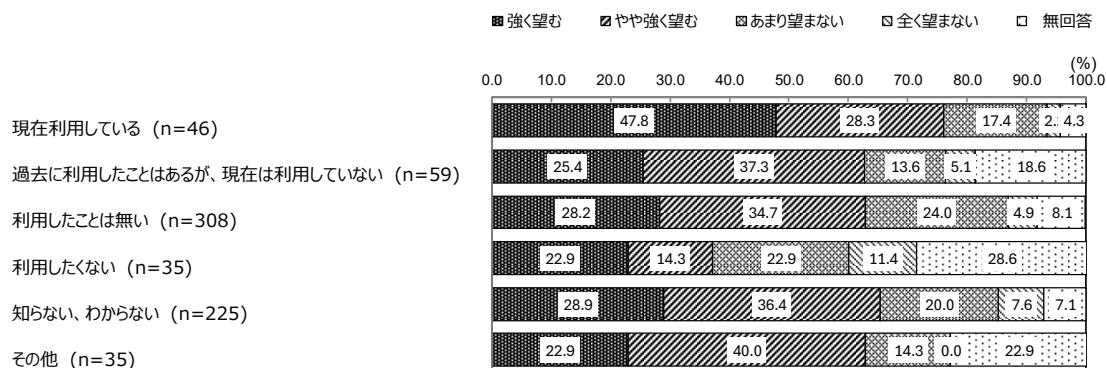
【Q9-3.オンライン授業の充実等、家庭にいても受けられる学習支援をしてほしい】

SSW を「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、52.2%。



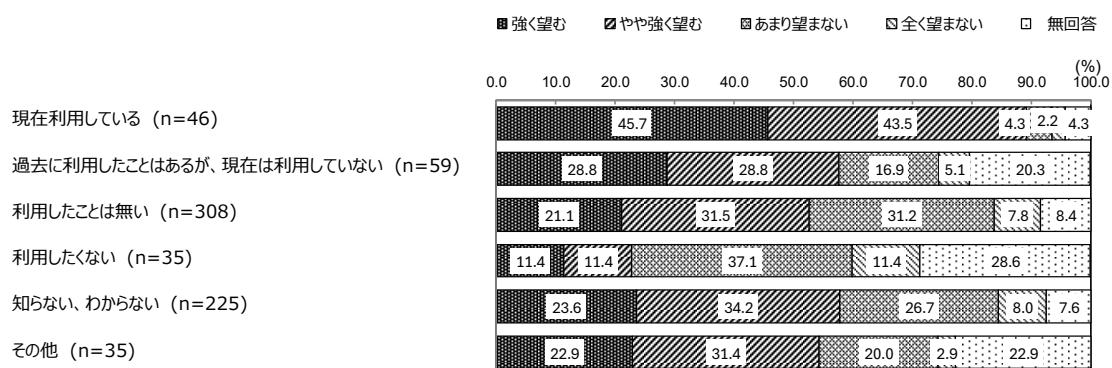
【Q9-4. 医療機関と繋がるための情報がほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、47.8%。



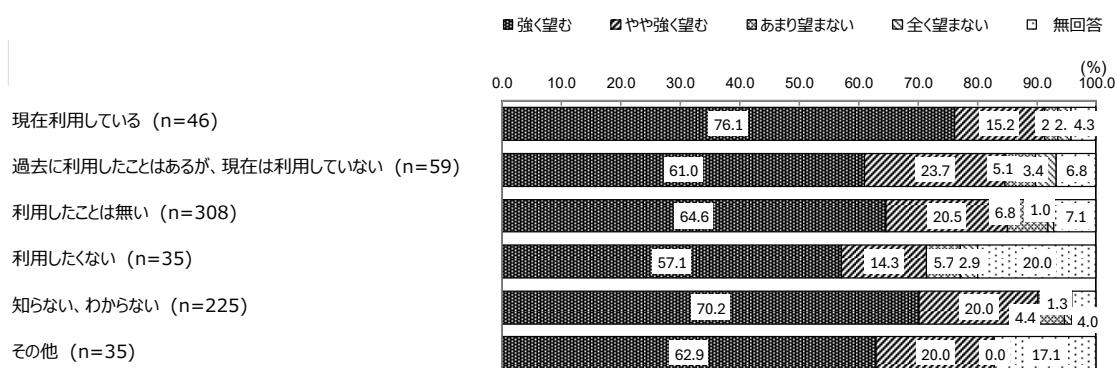
【Q9-5. 家庭環境や親子の関係についての相談窓口の情報がほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、45.7%。



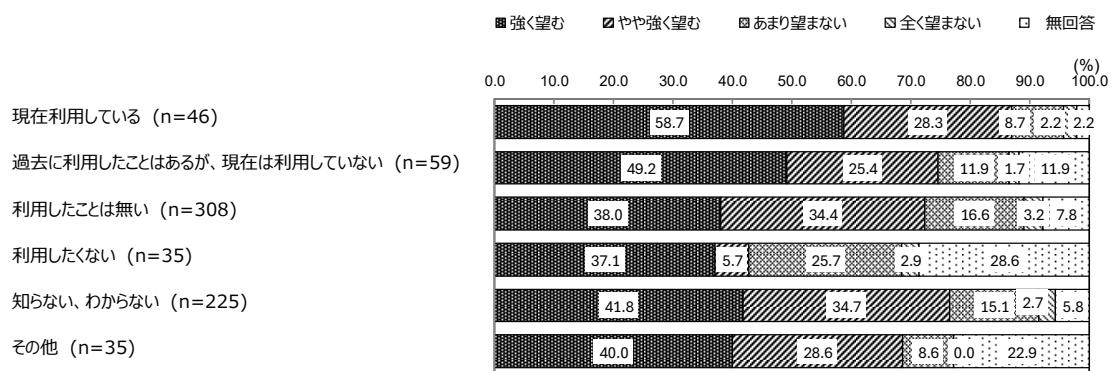
【Q9-6. 学校が安心できる場所になってほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、76.1%。



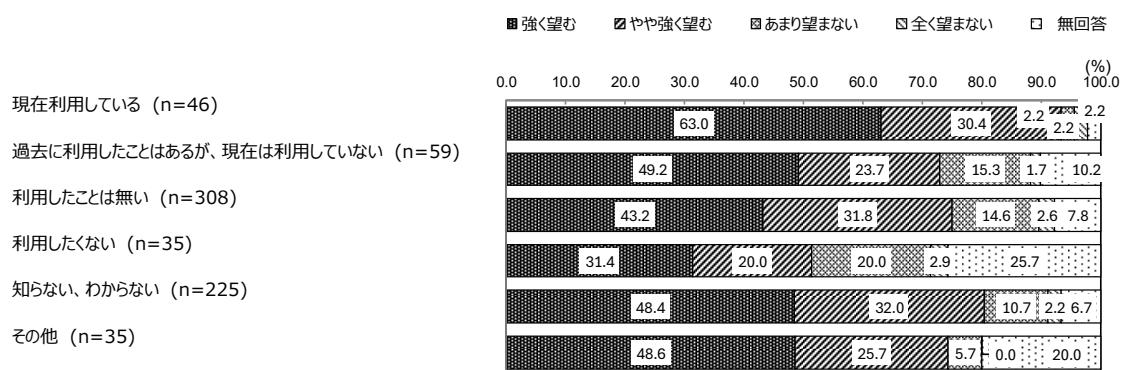
【Q9-7.在籍学校とは別に、公共の支援場所を増やしてほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、58.7%。



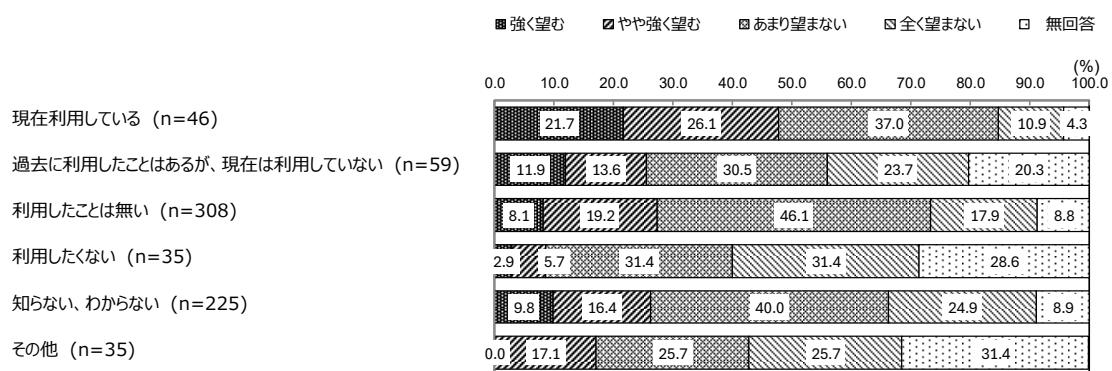
【Q9-8.学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)と在籍学校の連携をしてほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、63.0%。



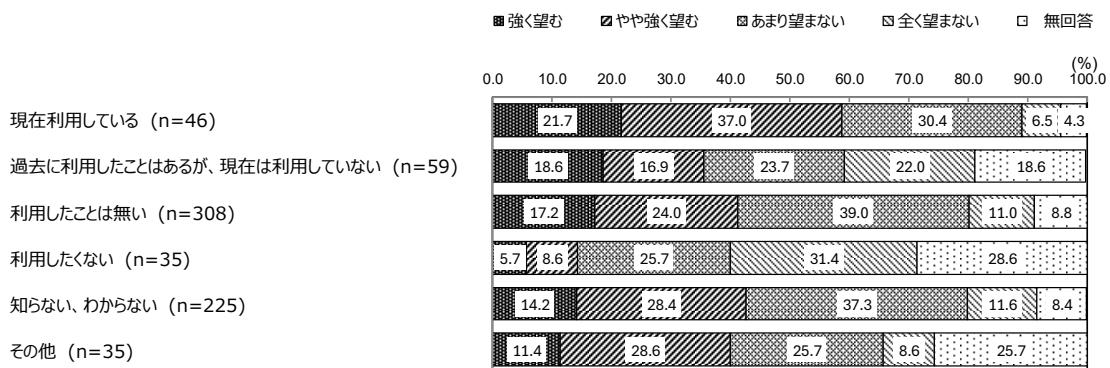
【Q9-9.スクールカウンセラー(SC)に相談したいが、方法がわからないので教えてほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、21.7%。



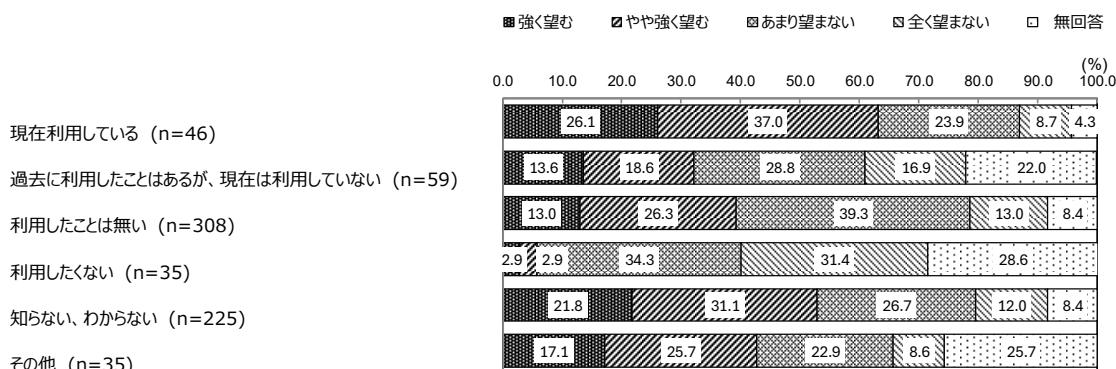
【Q9-10.スクールカウンセラー(SC)の相談時間を増やしてほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、21.7%。



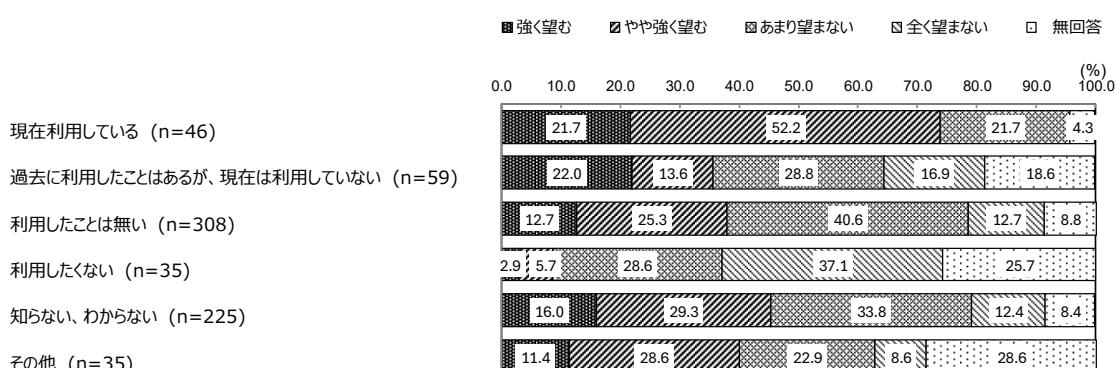
【Q9-11.スクールソーシャルワーカー(SSW)に繋いでもらいたいが、方法がわからないので教えてほしい】

SSWを「現在利用している」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、26.1%。



【Q9-12.スクールソーシャルワーカー(SSW)の対応時間を増やしてほしい】

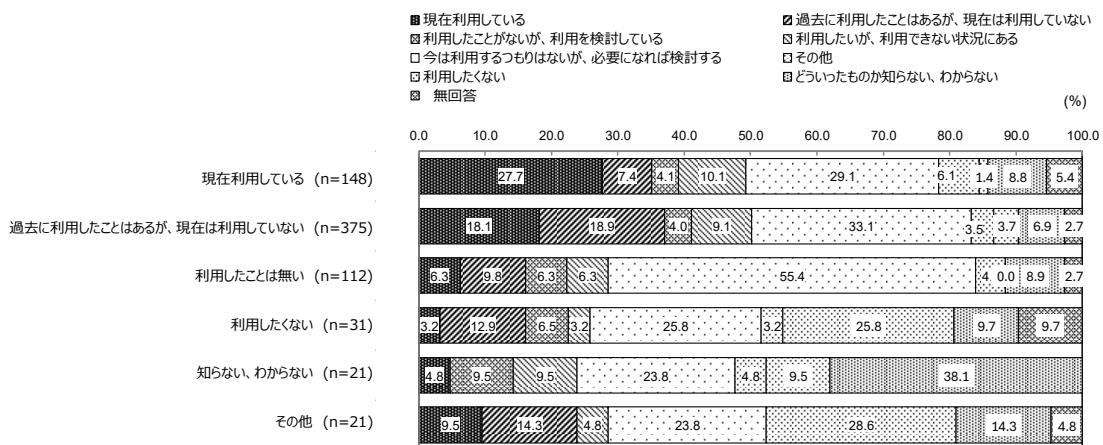
SSWを「過去に利用したことはあるが、現在は利用していない」層は、「強く望む」割合が他の層に比べ最も高く、22.0%。



Q8_1.SC の利用 × Q10.学校外支援の利用

SC を「現在利用している」層が、学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)を「現在利用している」割合が 27.7%と最も高い。

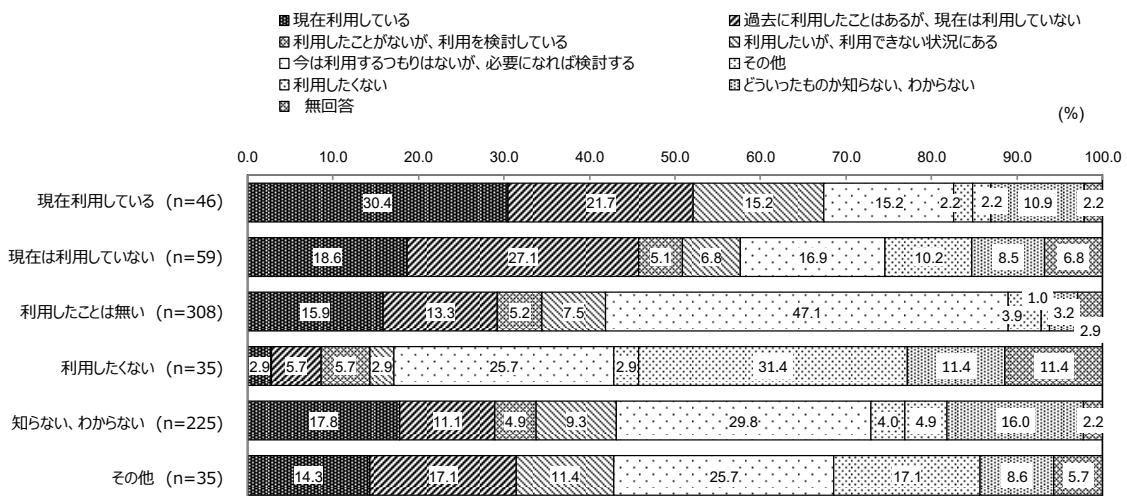
SC を「知らない、わからない」層は、学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)を「どういったものか知らない、わからない」割合が 38.1%と最も高い。



Q8_1.SSW の利用 × Q10.学校外支援の利用

SSW を「現在利用している」層が、学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)も「現在利用している」割合が 30.4%と最も高い。

SSW を「知らない、わからない」層は、学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)を「どういったものか知らない、わからない」割合が 16.0%と最も高い。

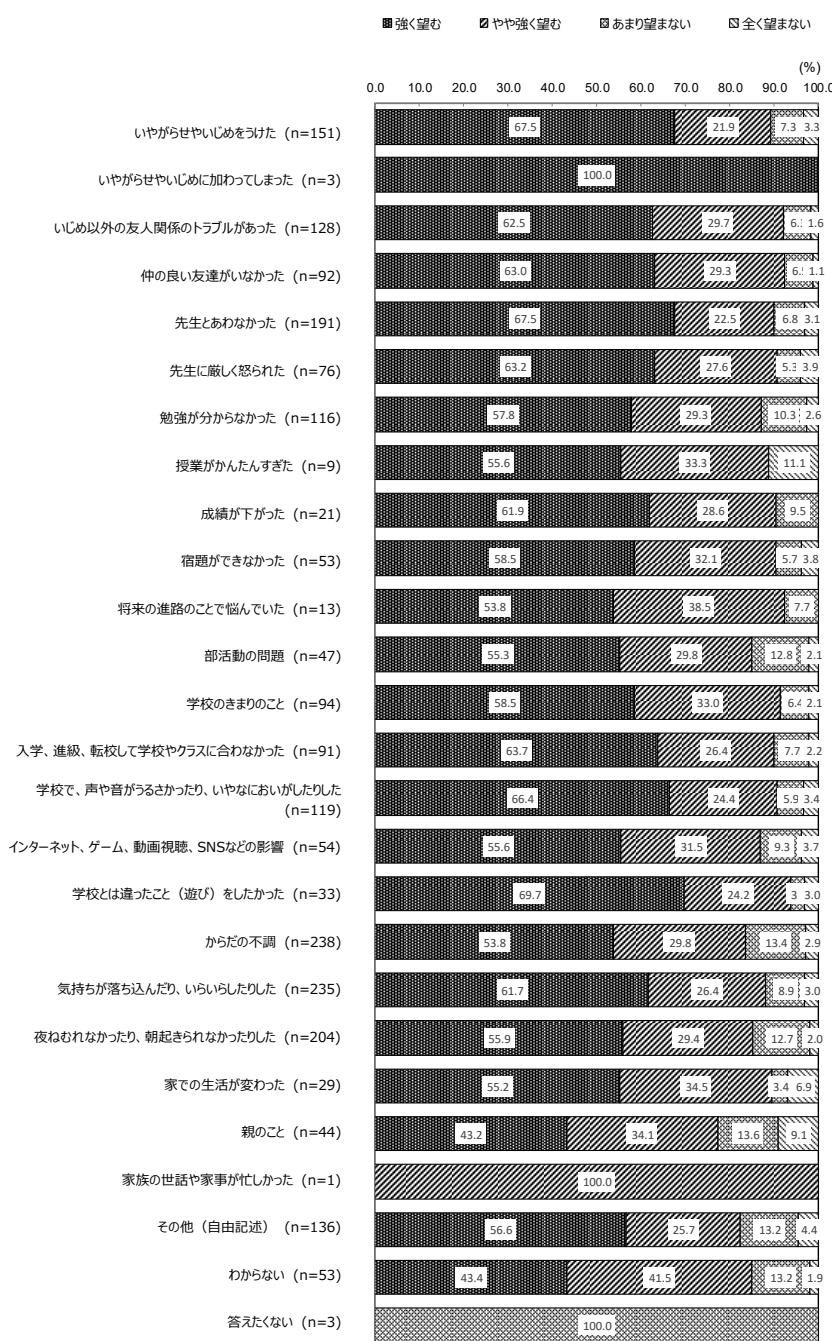


2. 長期欠席していた要因・きっかけ × 学校(教育委員会)に求める支援 クロス

Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9. 学校(教育委員会)に求める支援

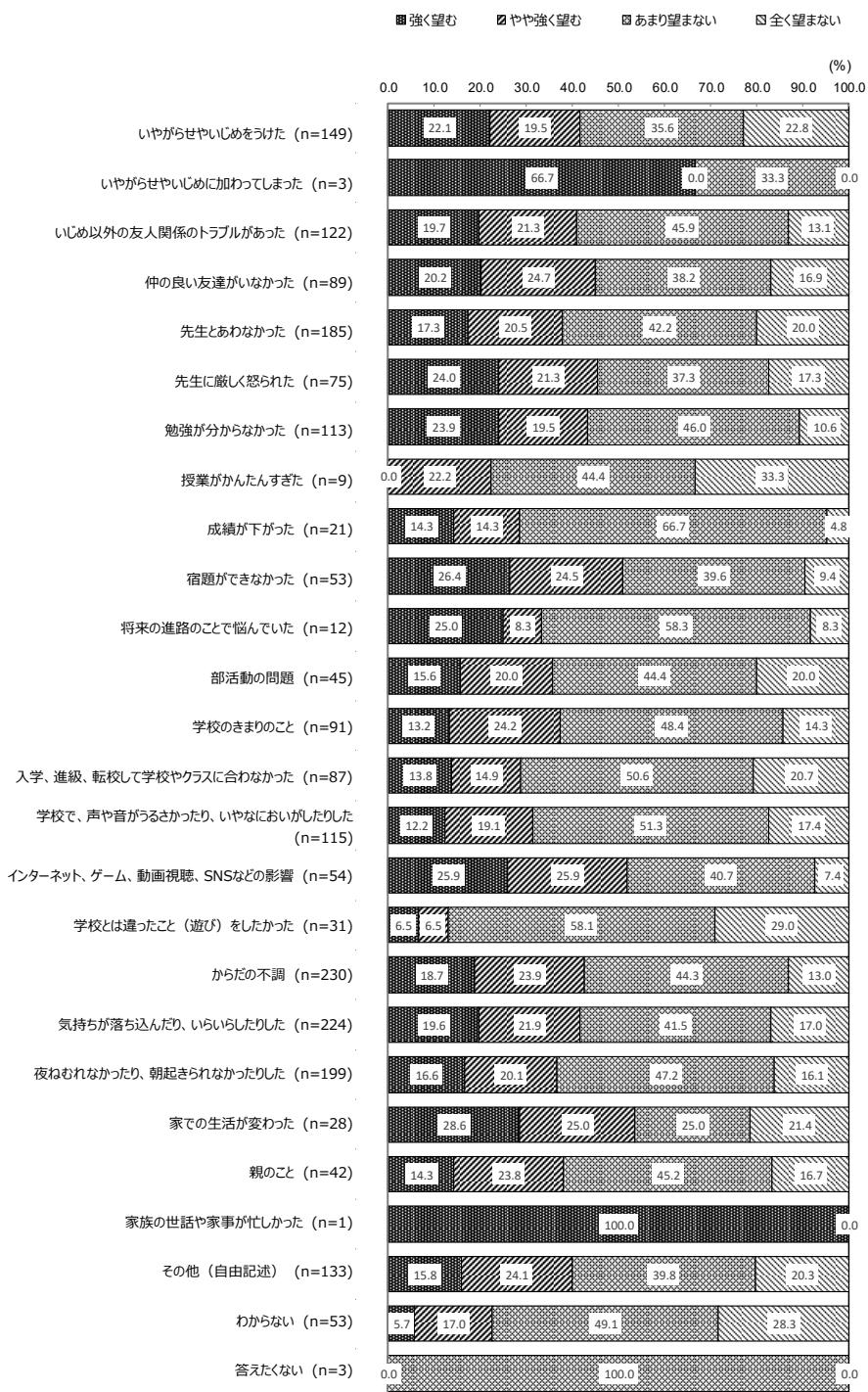
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-1.在籍学校内に、教室以外の居場所をつくってほしい】

「強く望む」割合は、「いやがらせやいじめをうけた」「先生とあわなかった」層で 67.5%、「学校で、声や音がうるさかったり、いやなにおいがしたりした」層で 66.4%。(n が少ない層を除く)



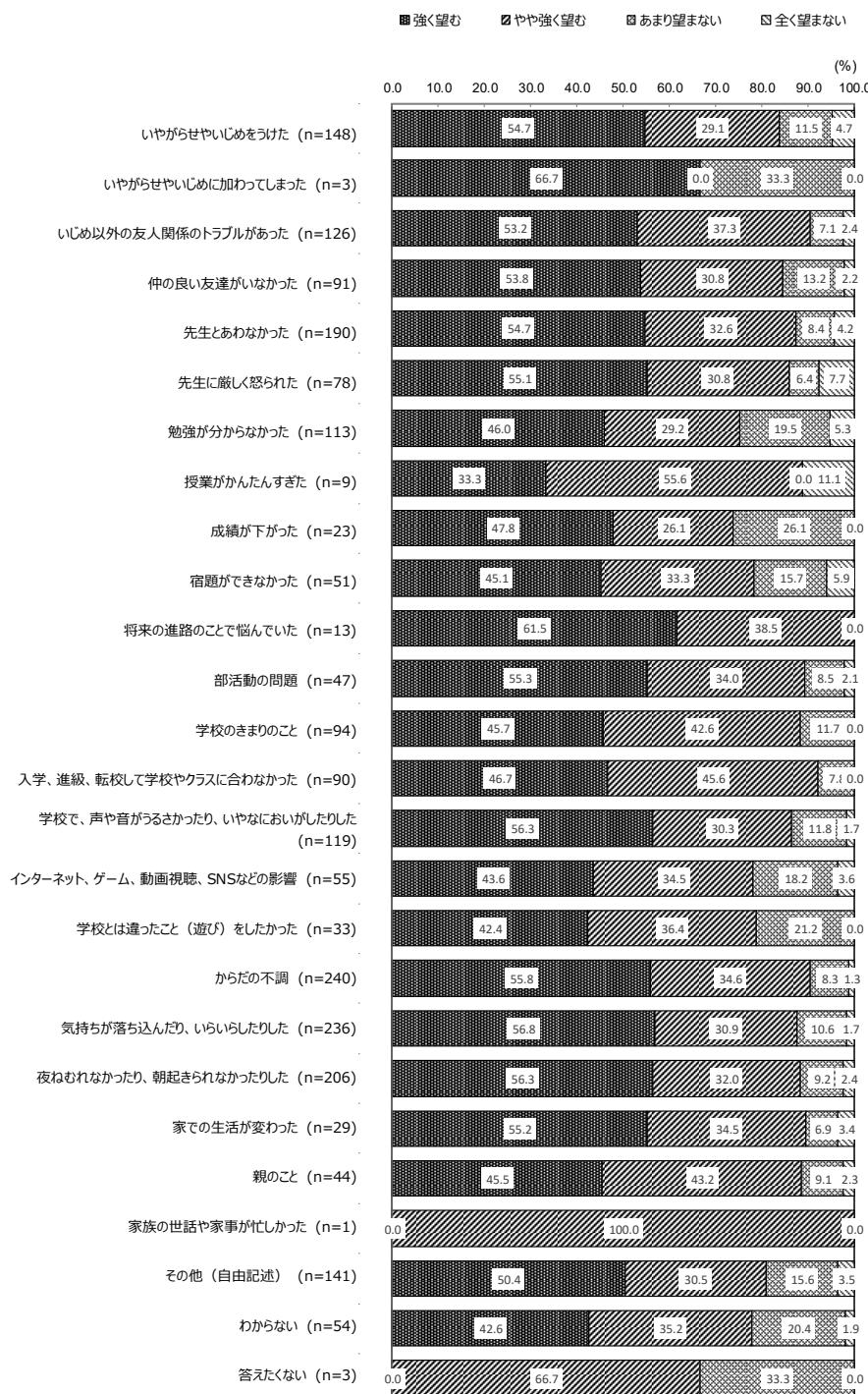
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-2.登校時の付き添い等、登校支援をしてほしい】

「強く望む」割合は、「宿題ができなかつた」層で 26.4%、「インターネット、ゲーム、動画視聴、SNSなどの影響」層で 25.9%。(n が少ない層を除く)



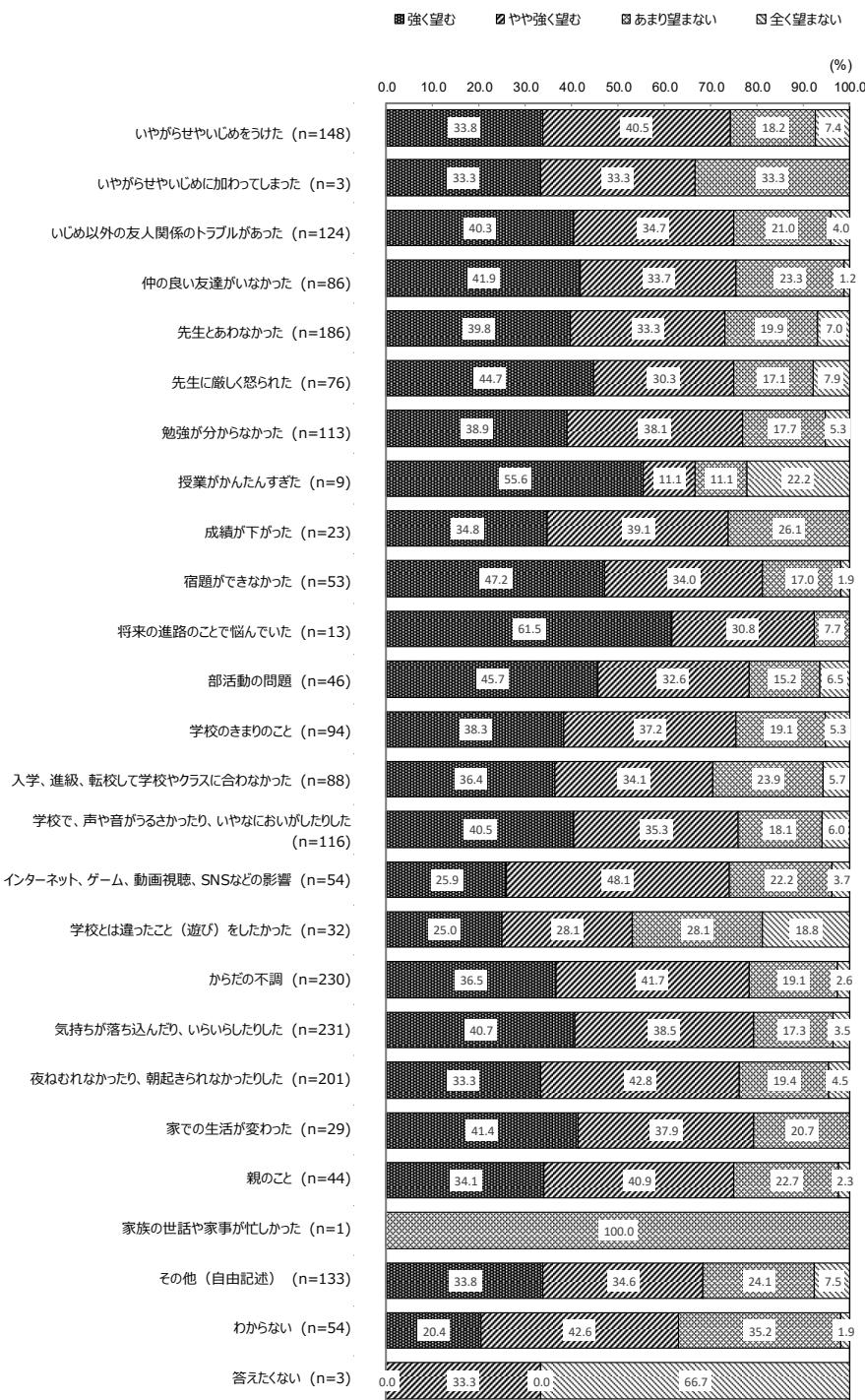
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-3.オンライン授業の充実等、家庭にいても受けられる学習支援をしてほしい】

「強く望む」割合は、「気持ちが落ち込んだり、いらいらしたりした」層で 56.8%、「からだの不調」層で 55.8%。(n が少ない層を除く)



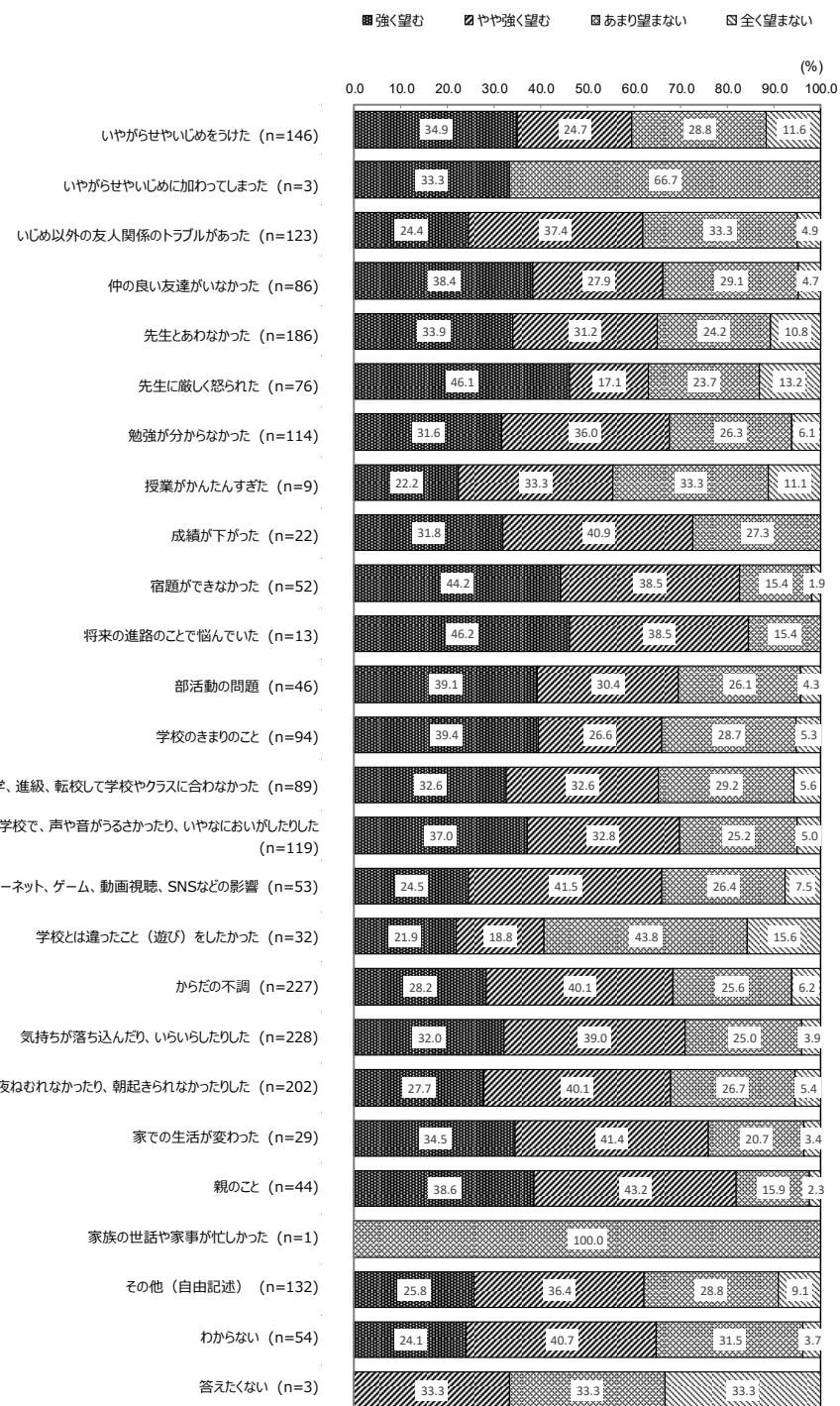
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-4.医療機関と繋がるための情報がほしい】

「強く望む」割合は、「宿題ができなかった」層で47.2%、「先生に厳しく怒られた」層で44.7%。(nが少ない層を除く)



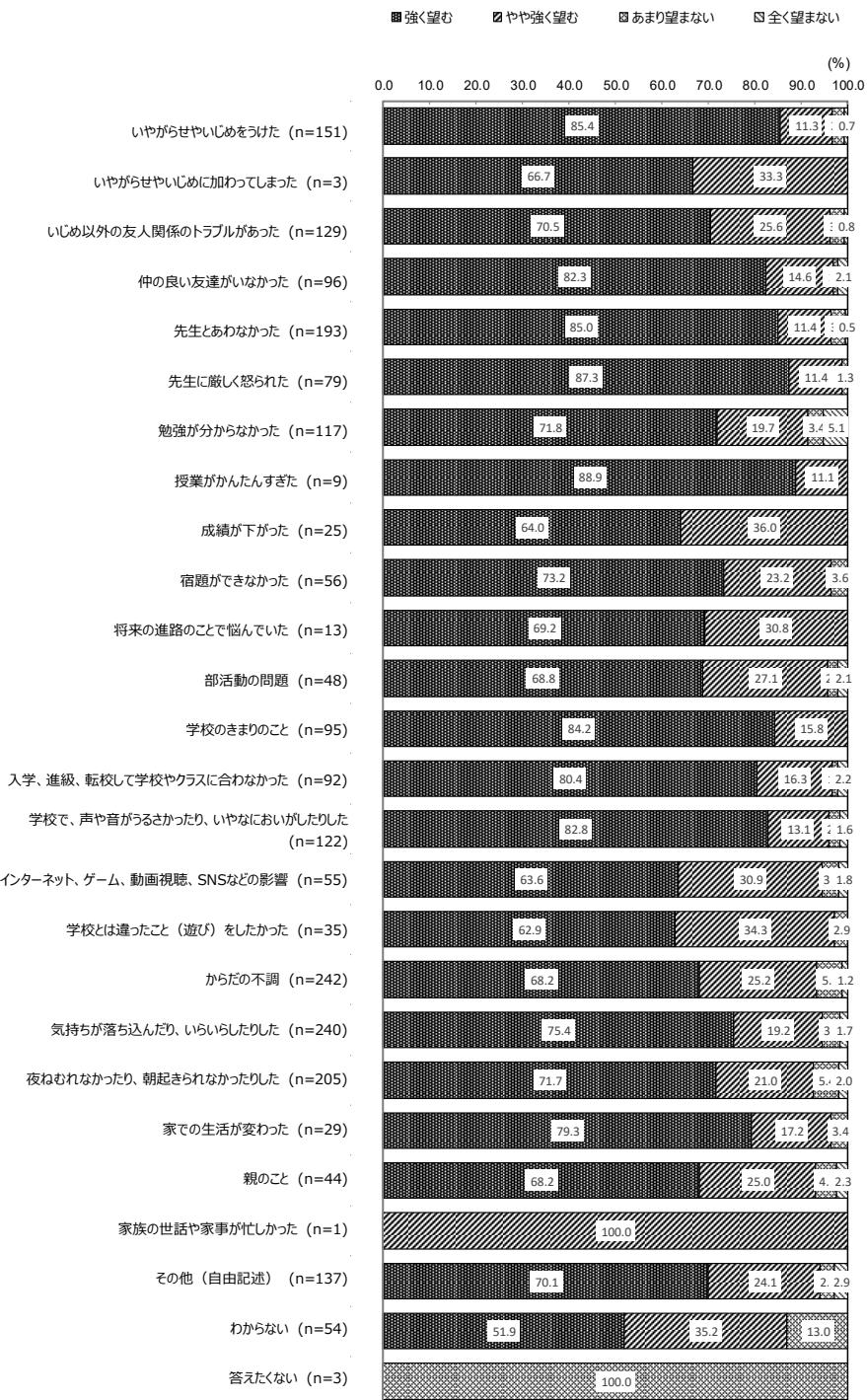
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-5.家庭環境や親子の関係についての相談窓口の情報がほしい】

「強く望む」割合は、「先生に厳しく怒られた」層で46.1%、「宿題ができなかった」層で44.2%。(nが少ない層を除く)



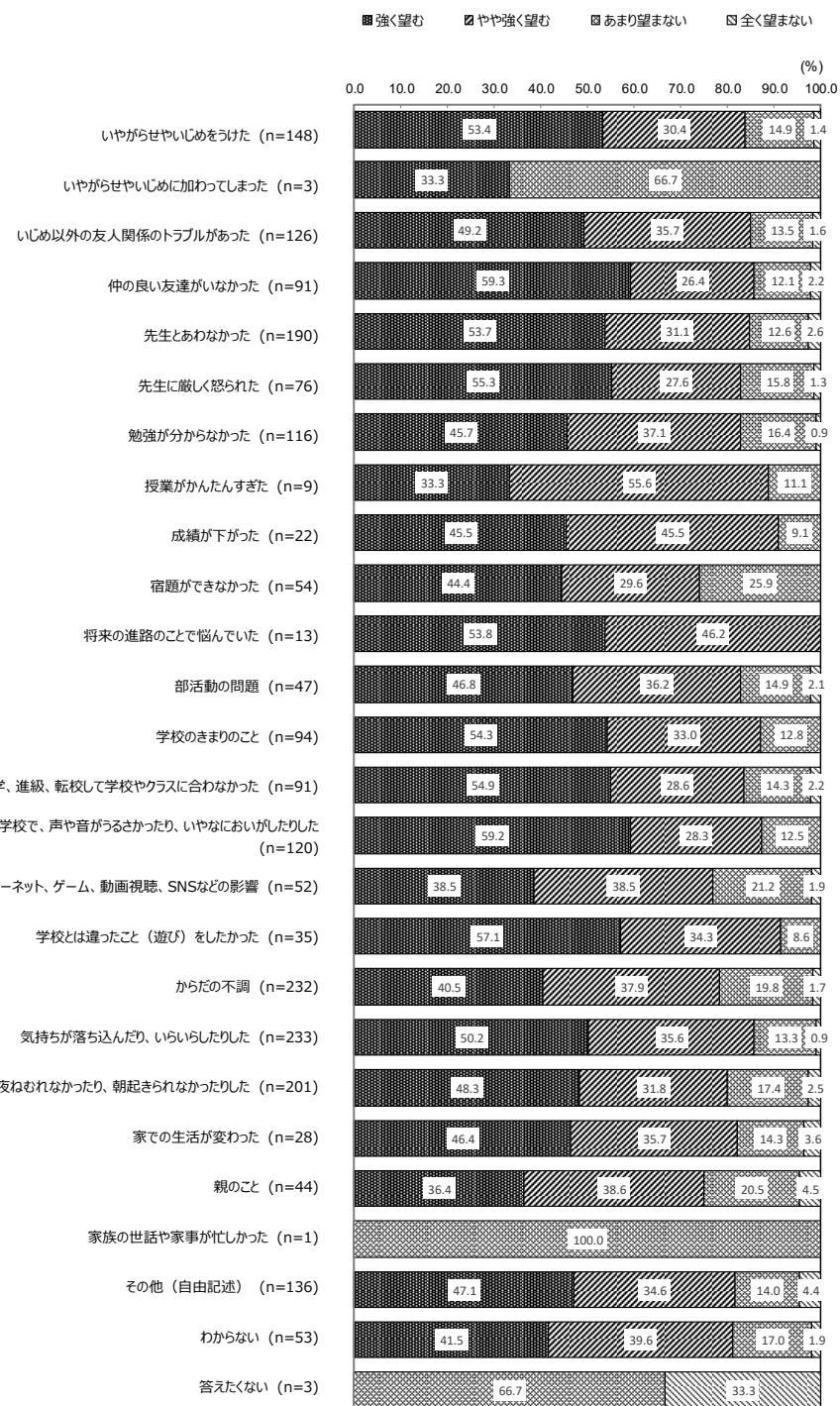
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-6.学校が安心できる場所になってほしい】

「強く望む」割合は、「先生に厳しく怒られた」層で最も高く、87.3%、「いやがらせやいじめをうけた」「先生とあわなかった」層でも85%を超えており、



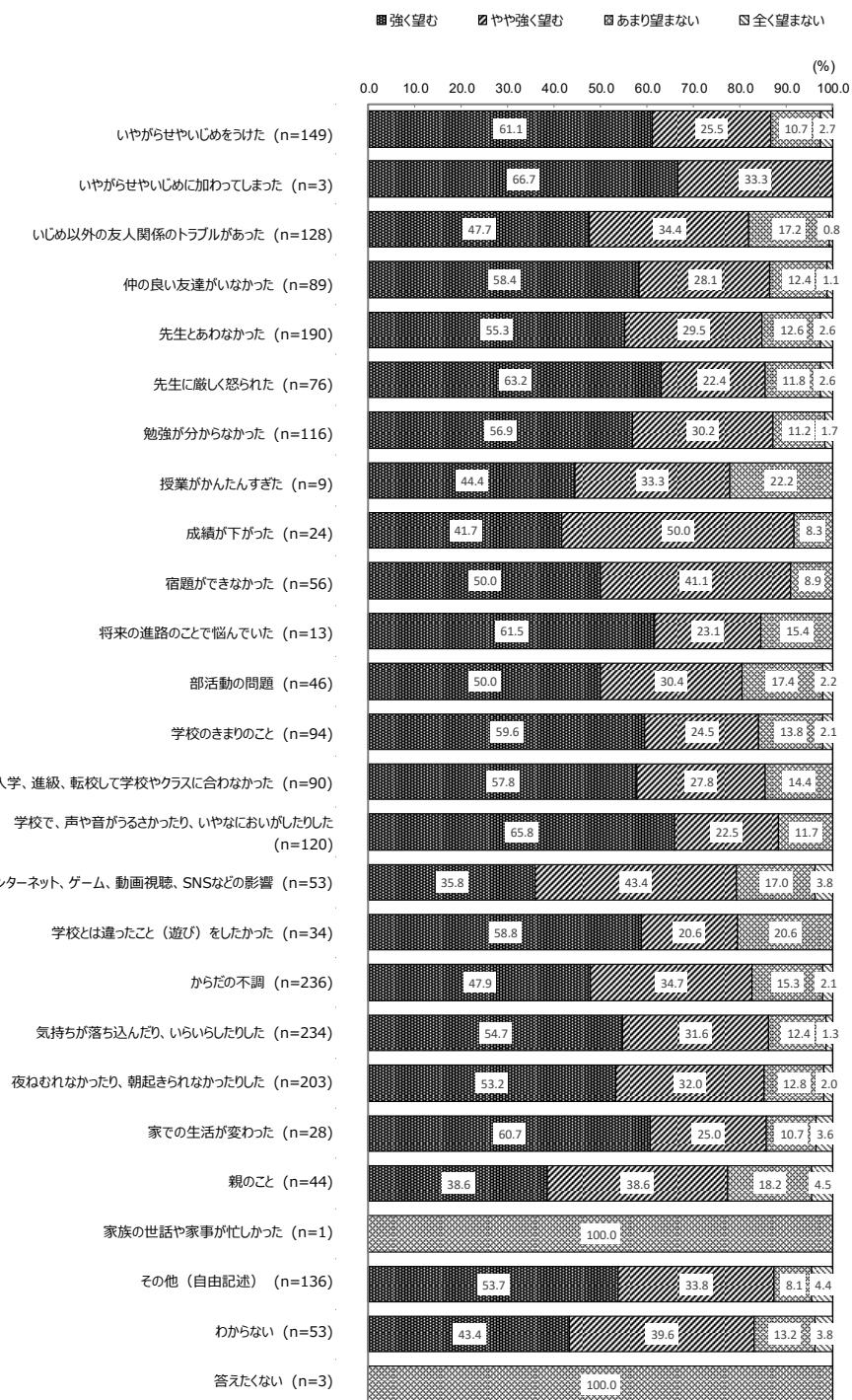
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-7.在籍学校とは別に、公共の支援場所を増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「仲の良い友達がいなかった」層で 59.3%、「学校で、声や音がうるさかったり、いやなにおいがしたりした」層で 59.2%。(n が少ない層を除く)



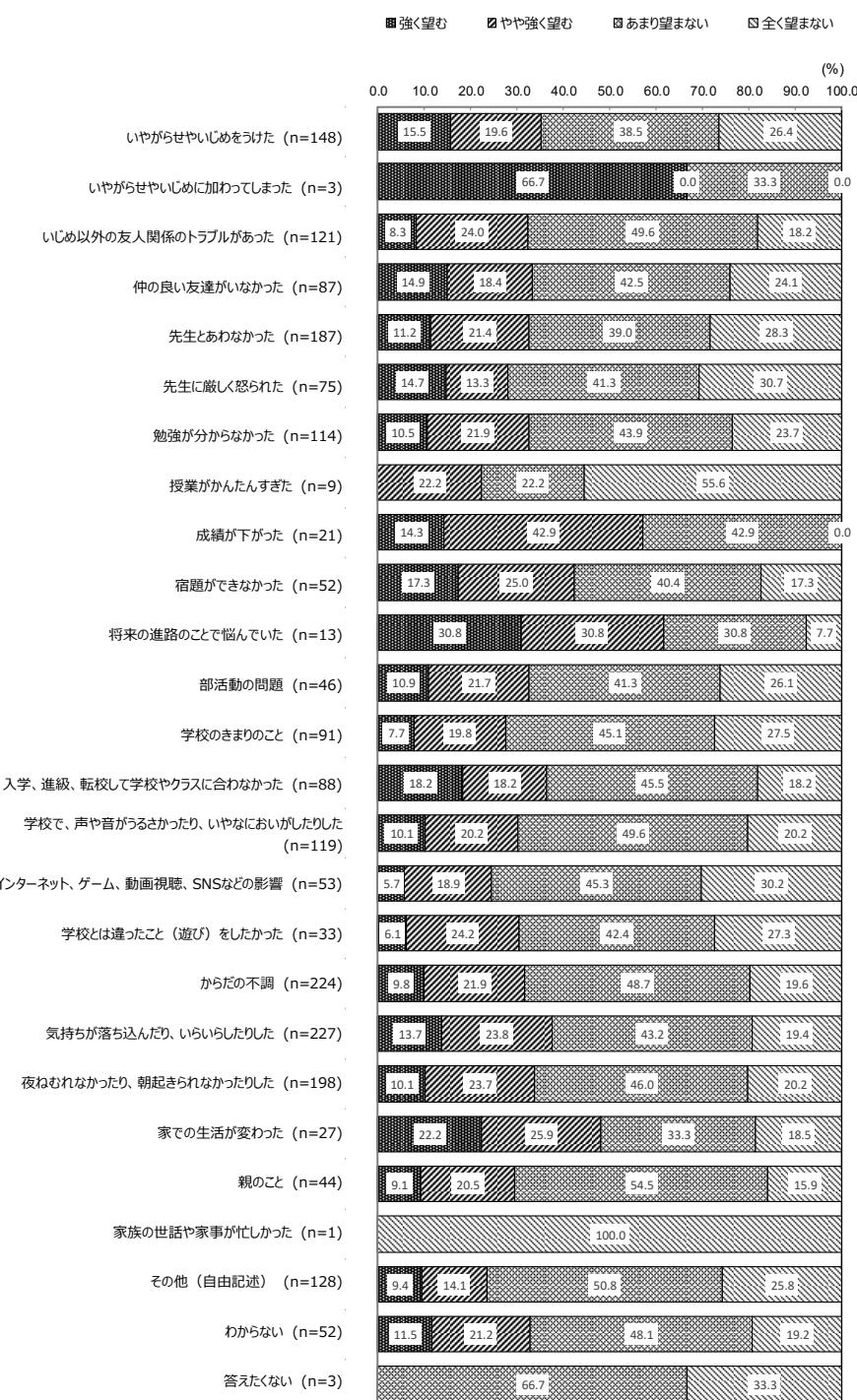
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-8.学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所など)と在籍学校の連携をしてほしい】

「強く望む」割合は、「学校で、声や音がうるさかったり、いやなにおいがしたりした」層で 65.8%、
「先生に厳しく怒られた」層で 63.2%。(n が少ない層を除く)



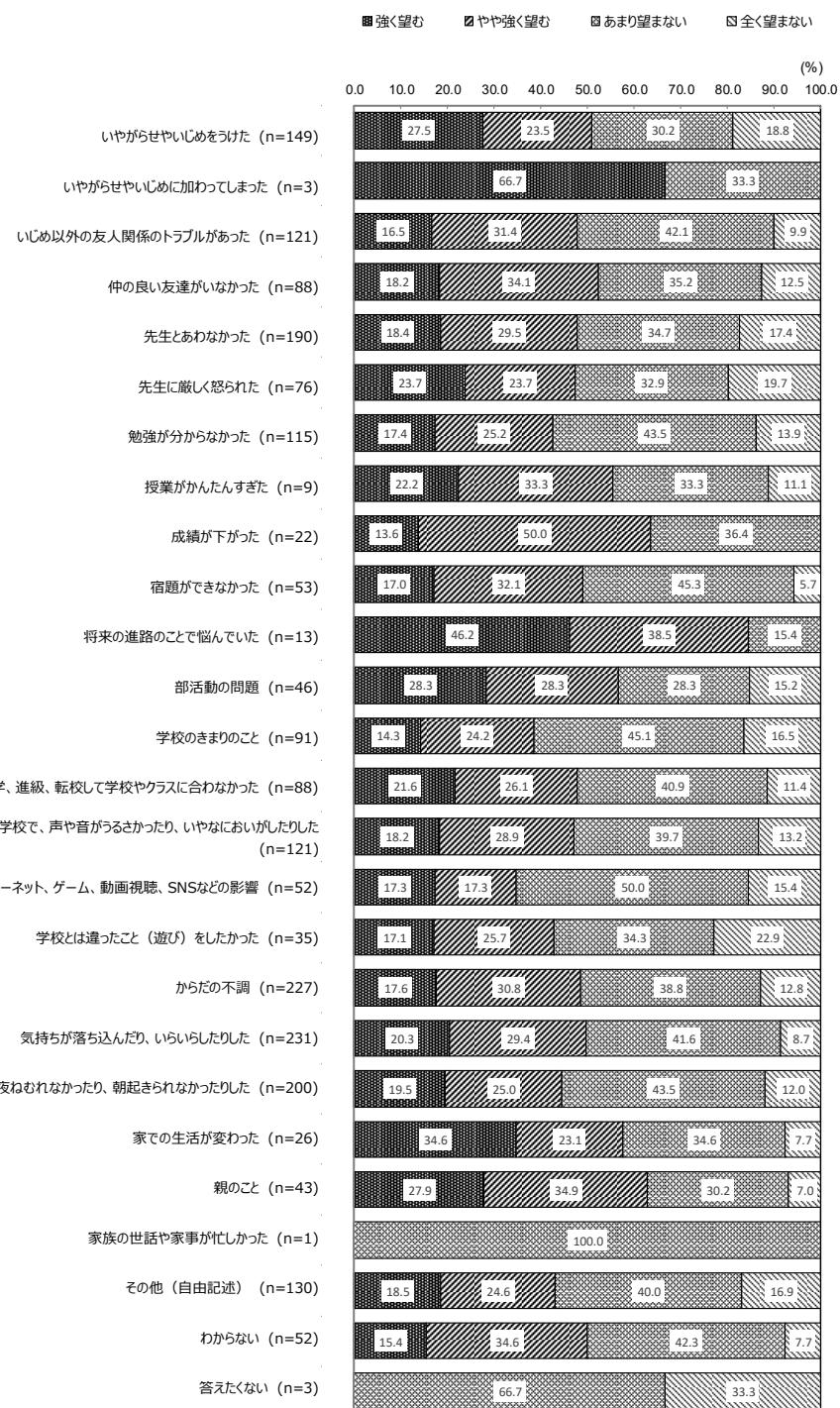
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-9.スクールカウンセラー(SC)に相談したいが、方法がわからないので教えてほしい】

「強く望む」割合は、「入学、進級、転校して学校やクラスに合わなかった」層で 18.2%、「宿題ができなかった」層で 17.3%。(n が少ない層を除く)



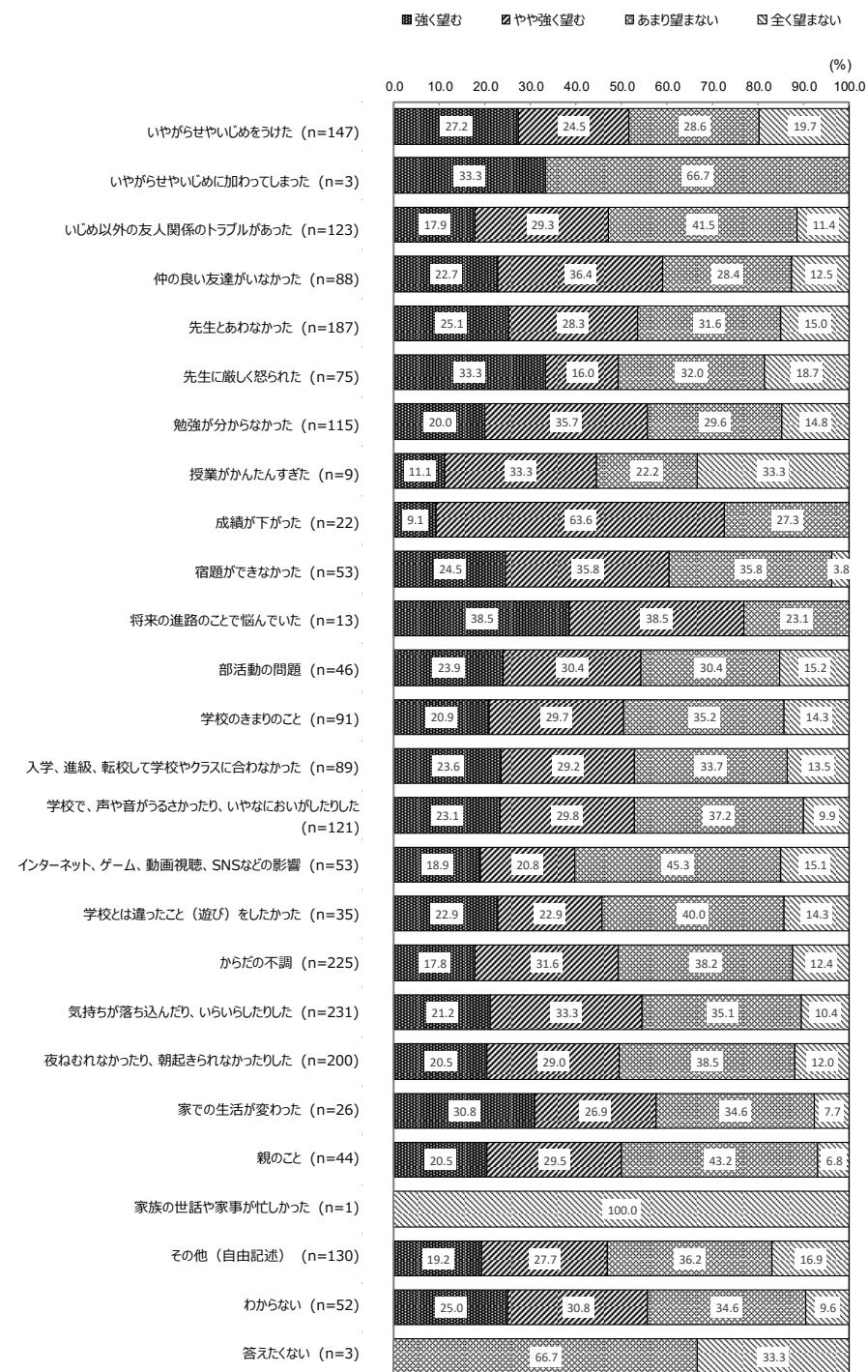
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-10.スクールカウンセラー(SC)の相談時間を増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「いやがらせやいじめをうけた」層で 27.5%、「先生に厳しく怒られた」層で 23.7%。(n が少ない層を除く)



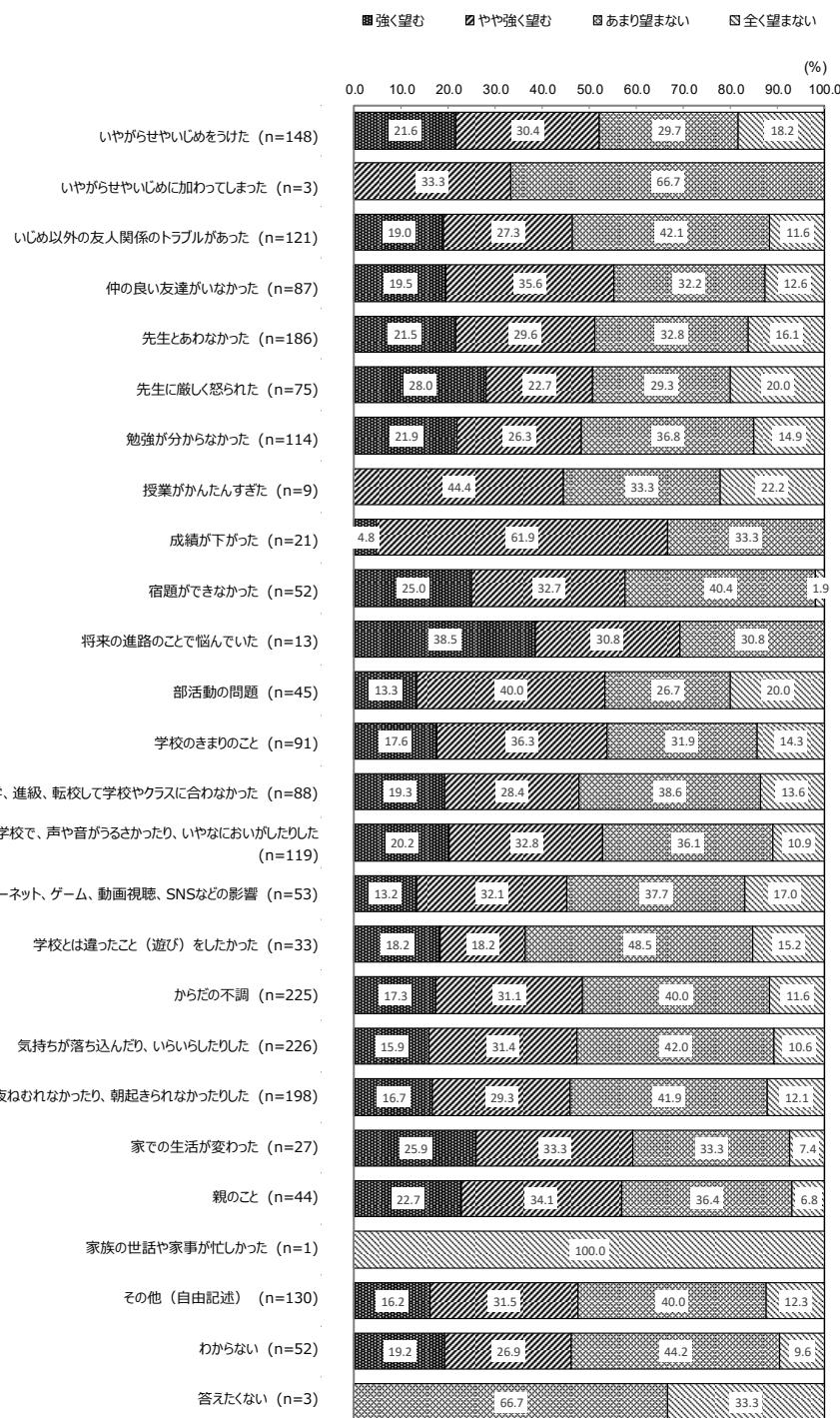
【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-11.スクールソーシャルワーカー(SSW)に繋いで
もらいたいが、方法がわからないので教えてほしい】

「強く望む」割合は、「先生に厳しく怒られた」層で 33.3%、「いやがらせやいじめをうけた」層で 27.2%。(n が少ない層を除く)



【Q5. 長期欠席していた要因・きっかけ × Q9-12.スクールソーシャルワーカー(SSW)の対応時間増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「先生に厳しく怒られた」層で28.0%、「宿題ができなかった」層で25.0%。(nが少ない層を除く)

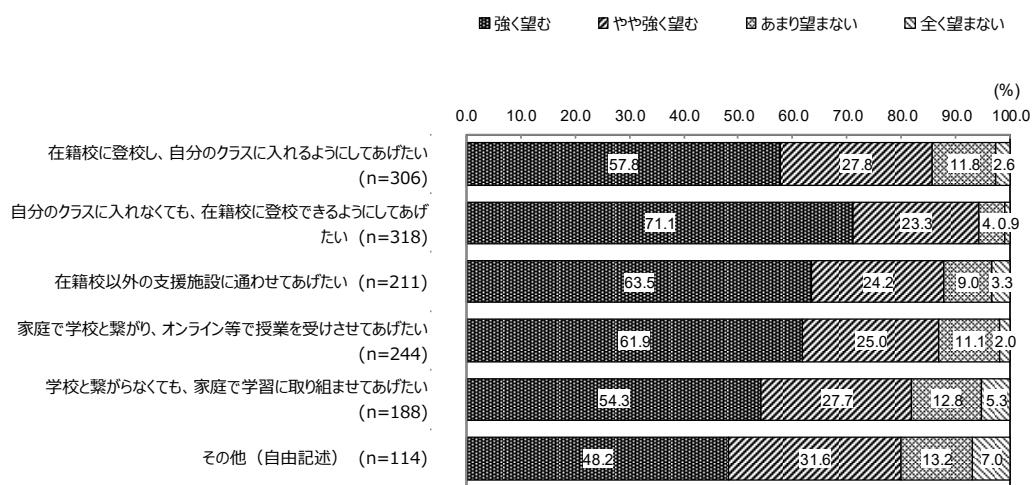


3. 保護者の思い×学校(教育委員会)に求める支援 クロス

Q6.保護者の思い × Q9.学校(教育委員会)に求める支援

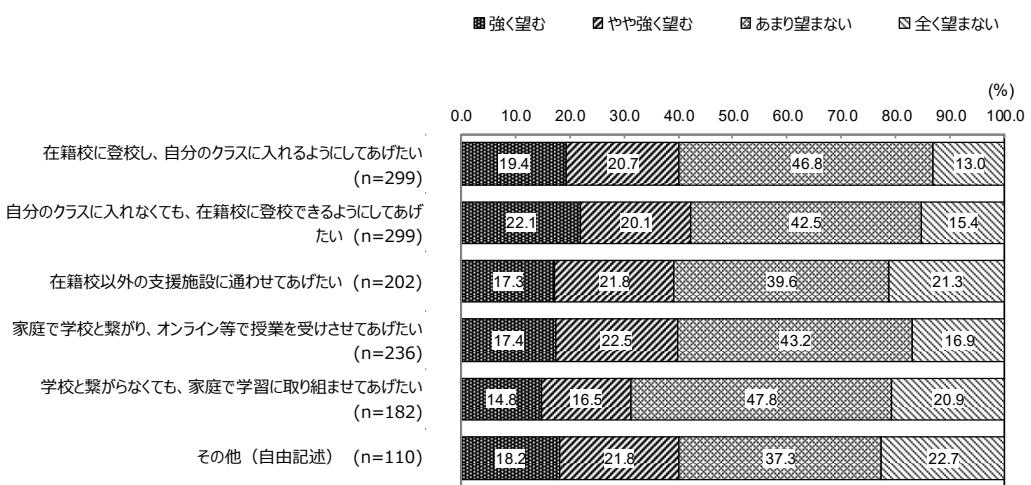
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか × Q9-1.在籍学校内に、教室以外の居場所をつくってほしい】

「強く望む」割合は、「自分のクラスに入れなくても、在籍校に登校できるようにしてあげたい」層で 71.1%。



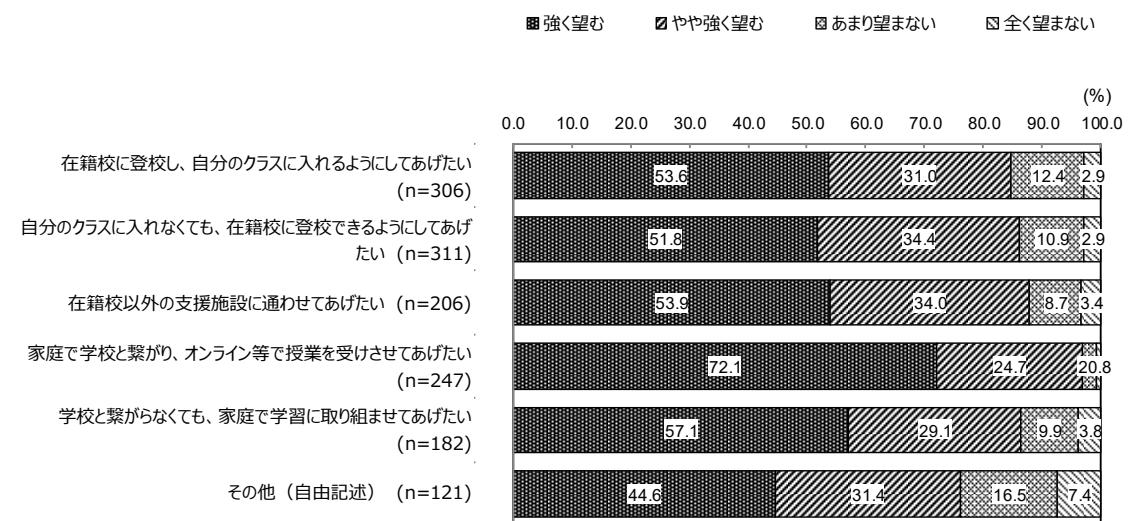
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-2.登校時の付き添い等、登校支援をしてほしい】

「強く望む」割合は、「自分のクラスに入れなくても、在籍校に登校できるようにしてあげたい」層で 22.1%。



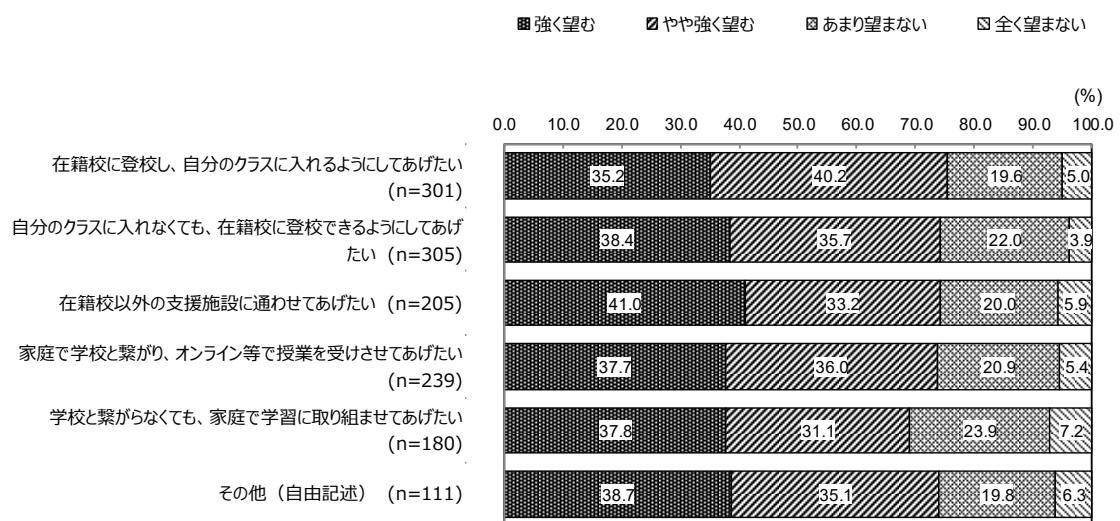
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-3.オンライン授業の充実等、家庭にいても受けられる学習支援をしてほしい】

「強く望む」割合は、「家庭で学校と繋がり、オンライン等で授業を受けさせてあげたい」層で72.1%。



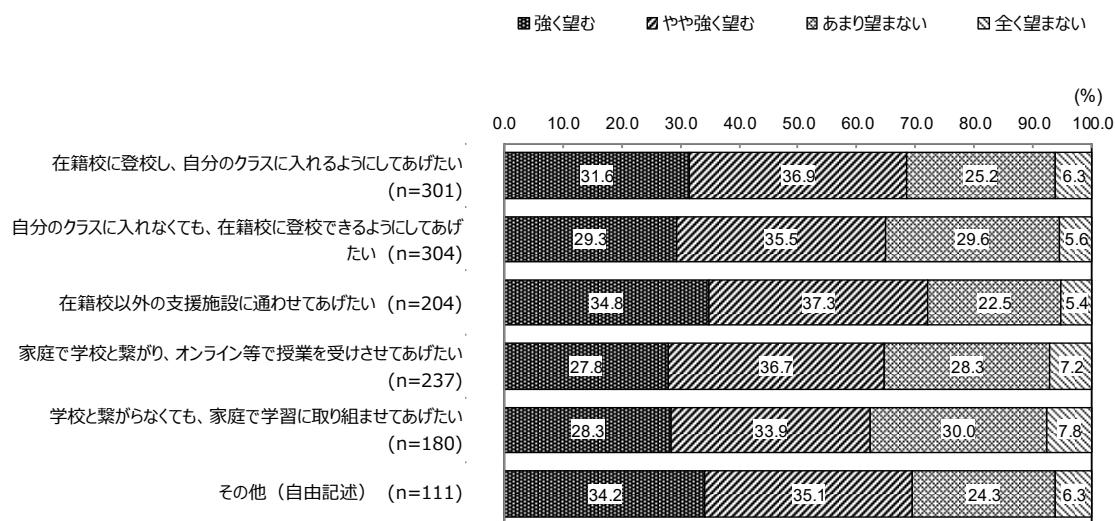
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-4.医療機関と繋がるための情報がほしい】

「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で41.0%。



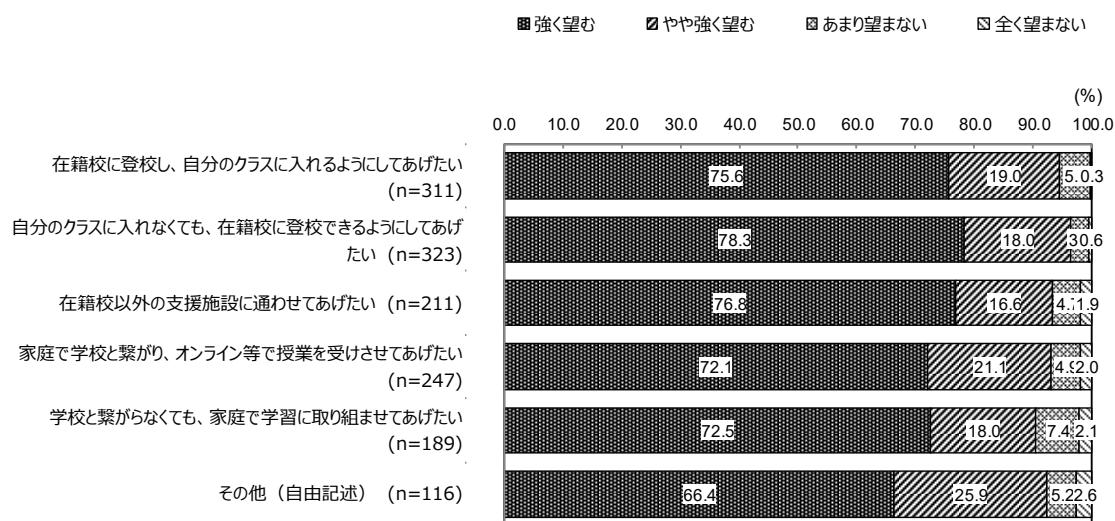
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-5.家庭環境や親子の関係についての相談窓口の情報がほしい】

「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で 34.8%。



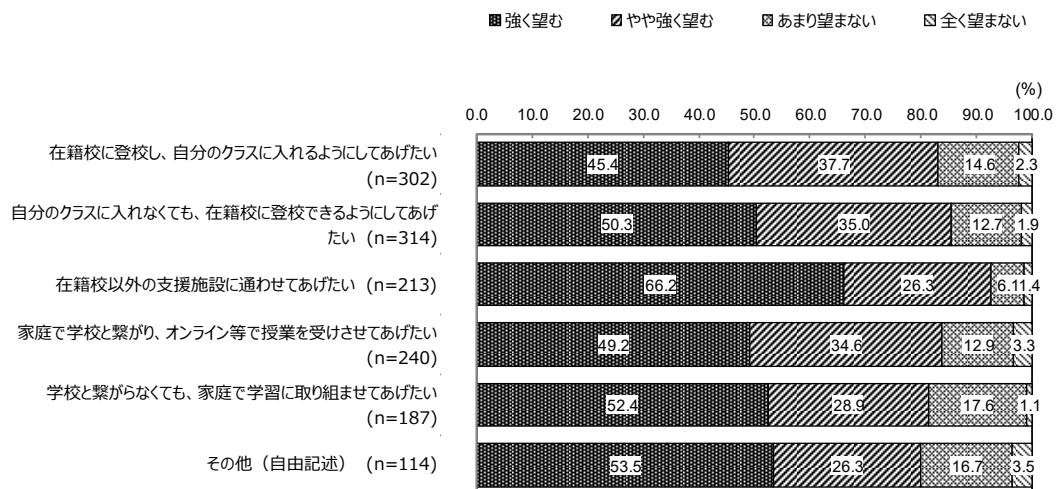
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-6.学校が安心できる場所になってほしい】

「強く望む」割合は、「自分のクラスに入れなくても、在籍校に登校できるようにしてあげたい」層で 78.3%。



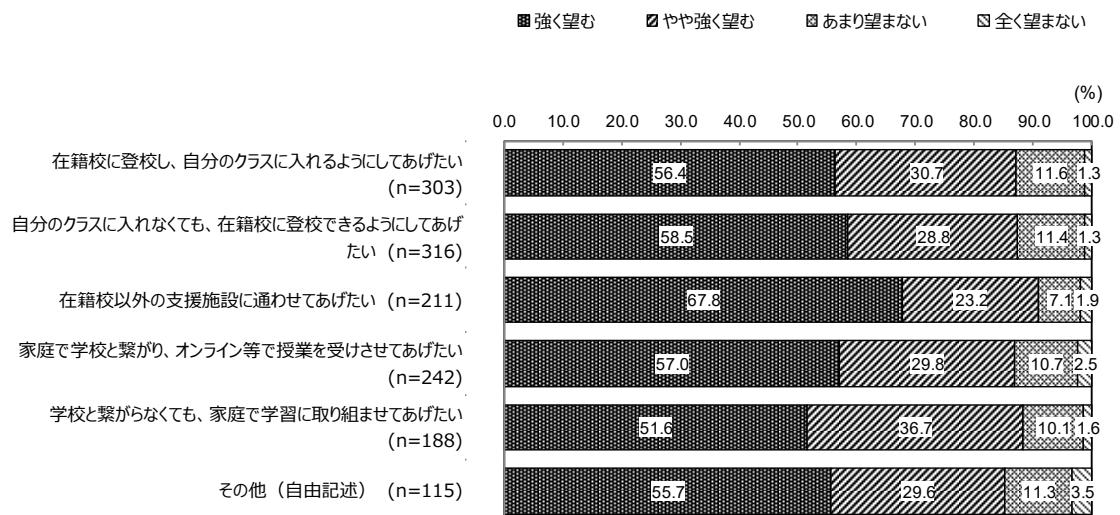
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-7.在籍学校とは別に、公共の支援場所を増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で 66.2%。



【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
Q9-8.学校外支援(教育支援センター、フリースクール、フリースペース・居場所などと在籍学校の連携をしてほしい】

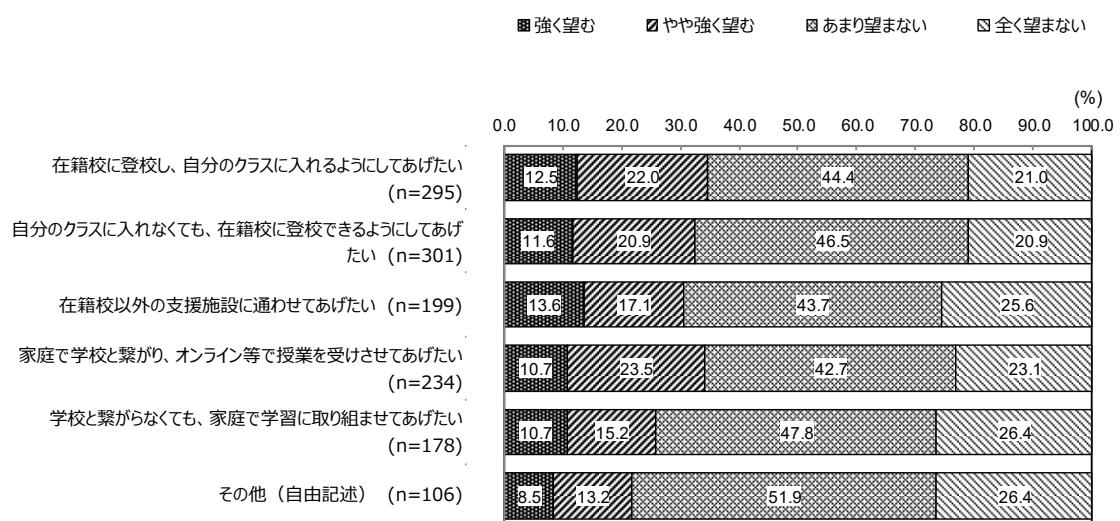
「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で 67.8%。



【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×

Q9-9.スクールカウンセラー(SC)に相談したいが、方法がわからないので教えてほしい】

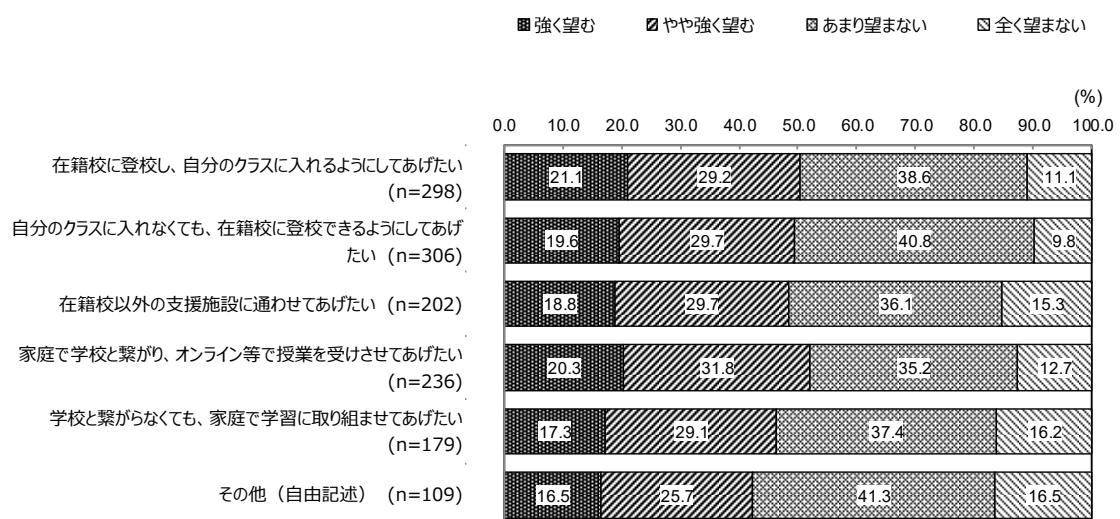
「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で 13.6%。



【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×

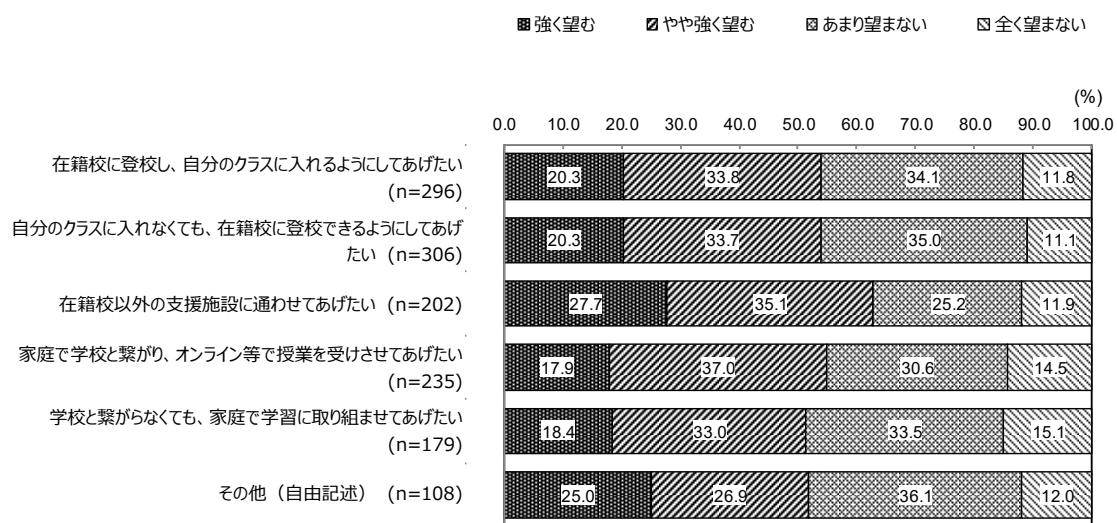
Q9-10.スクールカウンセラー(SC)の相談時間を増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「在籍校に登校し、自分のクラスに入れるようにしてあげたい」層で 21.1%。



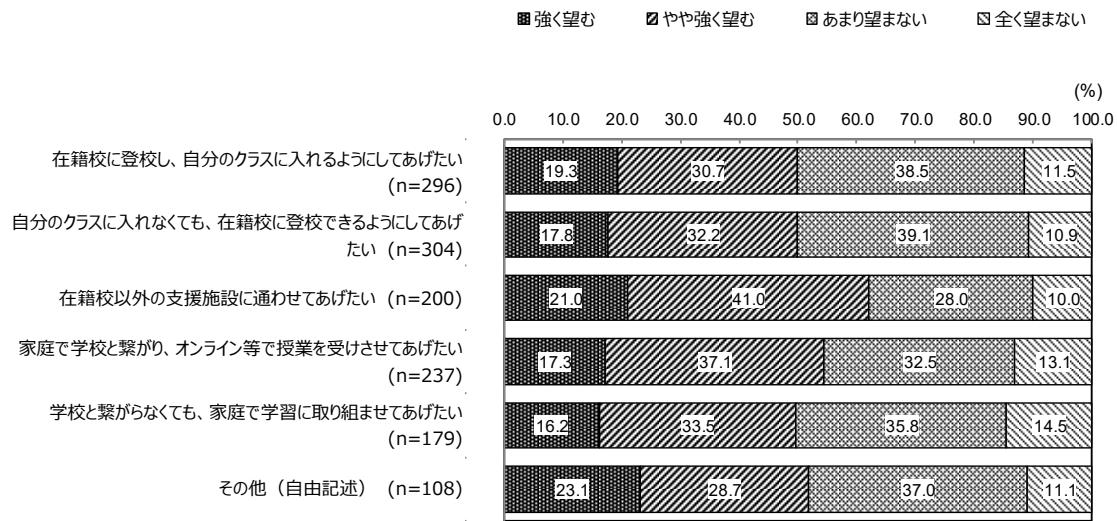
【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
 Q9-11.スクールソーシャルワーカー(SSW)に繋いでもらいたいが、方法がわからないので教えてほしい】

「強く望む」割合は、「在籍校以外の支援施設に通わせてあげたい」層で 27.7%。



【Q6.長期欠席をしていた際、お子さんの状況に対して保護者としてどのように感じていたか ×
 Q9-12.スクールソーシャルワーカー(SSW)の対応時間を増やしてほしい】

「強く望む」割合は、「その他」層で 23.1%。



4. 雇用形態の変化別クロス

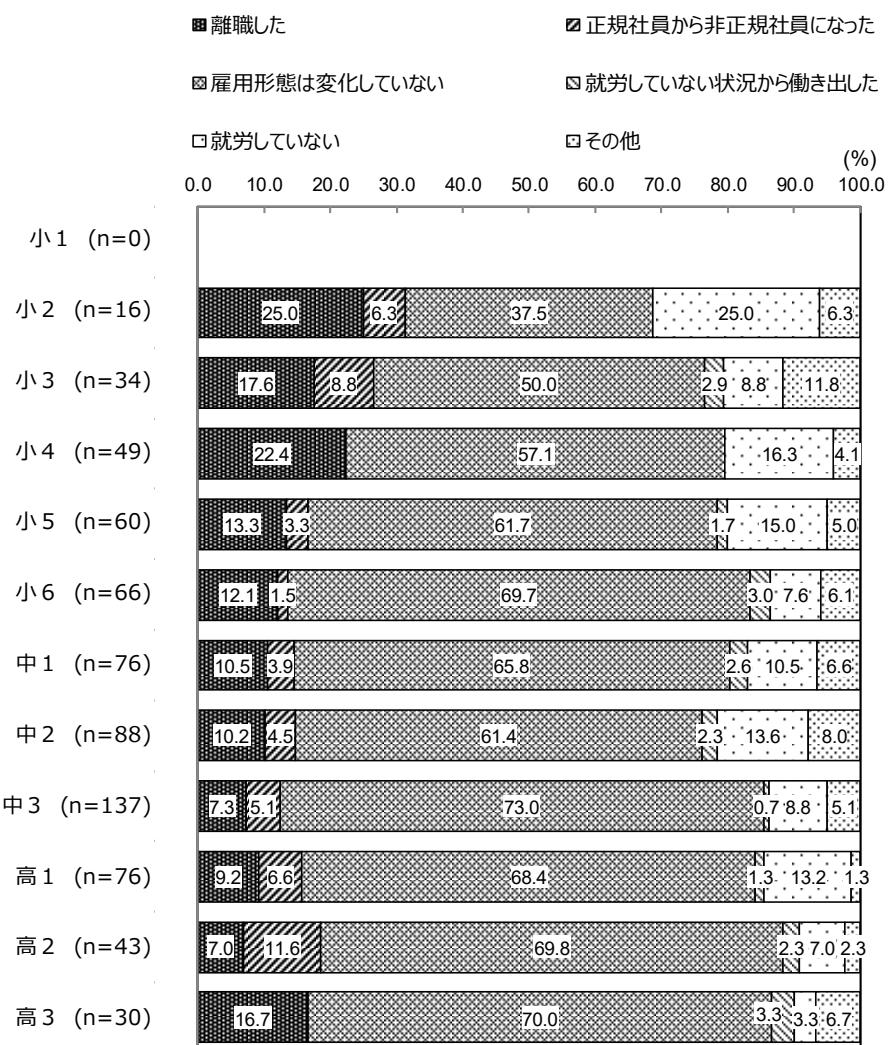
Q21.雇用形態の変化 × Q1.家族構成

主にケアを担っていた人が「離職した」家庭と「就労していない」家庭は、父親が同居している割合が高い。

		全 体	問1.お子さんからみた家族構成（同居の家族）をお答えください。（複数回答可）					
			父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他
雇用形態	全 体	771	530	725	84	124	506	21
		100.0	68.7	94.0	10.9	16.1	65.6	2.7
	離職した	72	56	68	6	8	48	-
		100.0	77.8	94.4	8.3	11.1	66.7	-
	正規社員から非正規社員になった	32	16	29	-	3	16	2
		100.0	50.0	90.6	-	9.4	50.0	6.3
	雇用形態は変化していない	430	293	406	48	75	296	10
		100.0	68.1	94.4	11.2	17.4	68.8	2.3
就労していない状況から働き出した	就労していない	10	6	10	-	-	6	-
		100.0	60.0	100.0	-	-	60.0	-
就労していない	その他	75	58	73	12	13	54	2
		100.0	77.3	97.3	16.0	17.3	72.0	2.7
その他	その他	37	23	37	2	3	25	2
		100.0	62.2	100.0	5.4	8.1	67.6	5.4

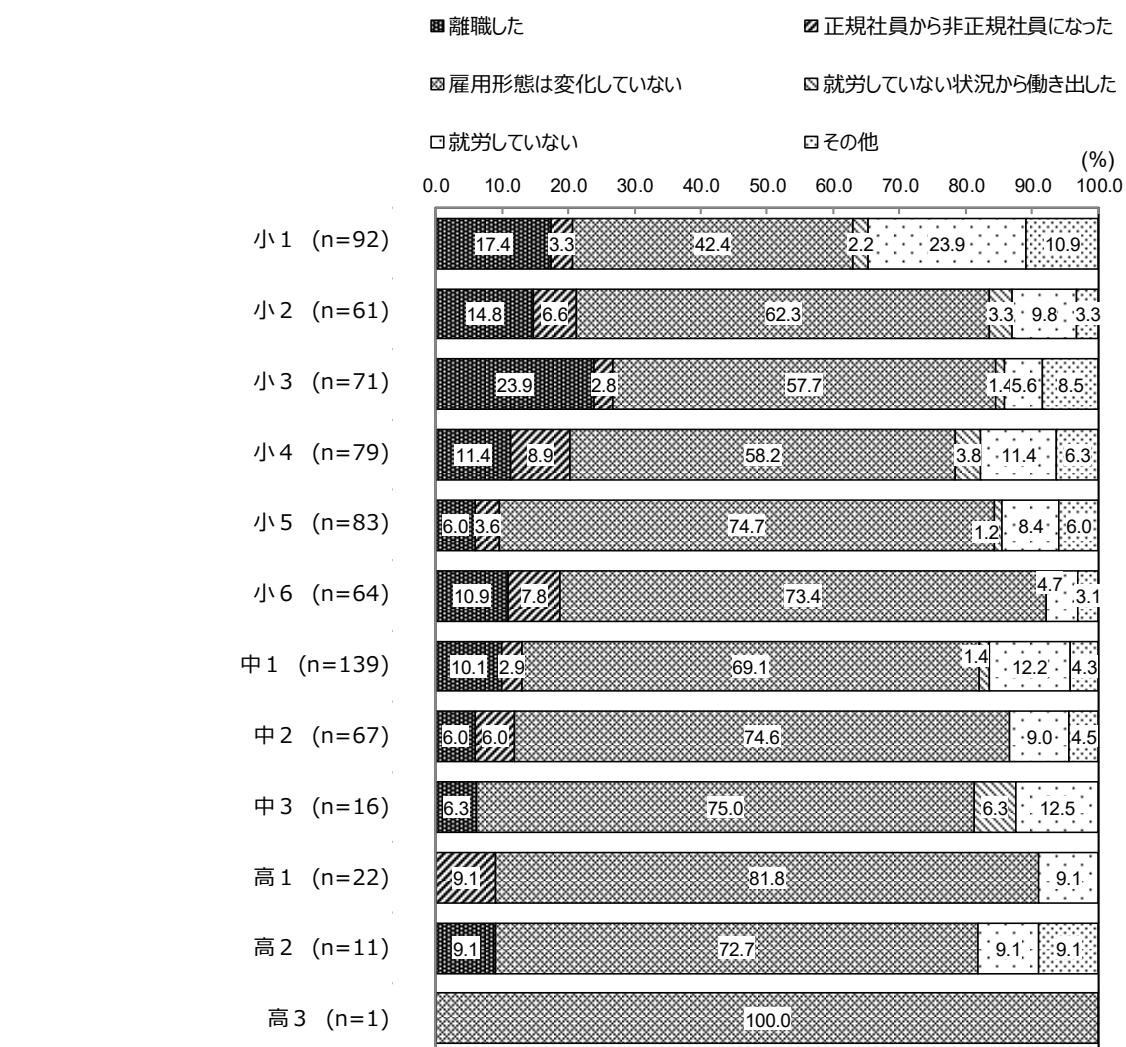
Q21.雇用形態の変化 × Q4-1.現在の学年

現在子どもが小2の家庭で、離職した割合が25.0%と最も高い。(母数が少ないため参考値)



Q21.雇用形態の変化 × Q4-2.傾向がみられた学年

子どもが長期欠席の傾向が見られたのが小3の家庭で、離職した割合が 23.9%と最も高い。
(母数が少ないため参考値)

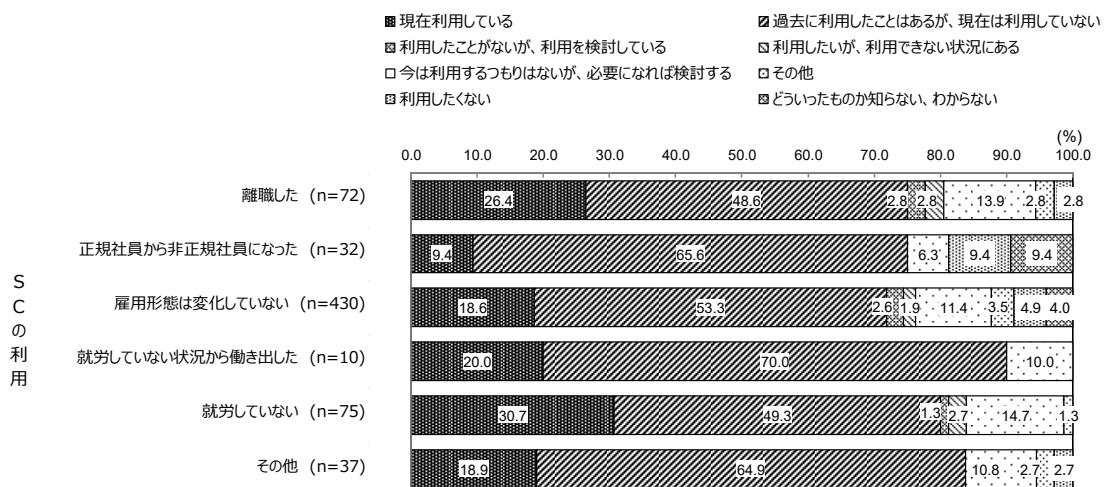


Q21.雇用形態の変化 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ

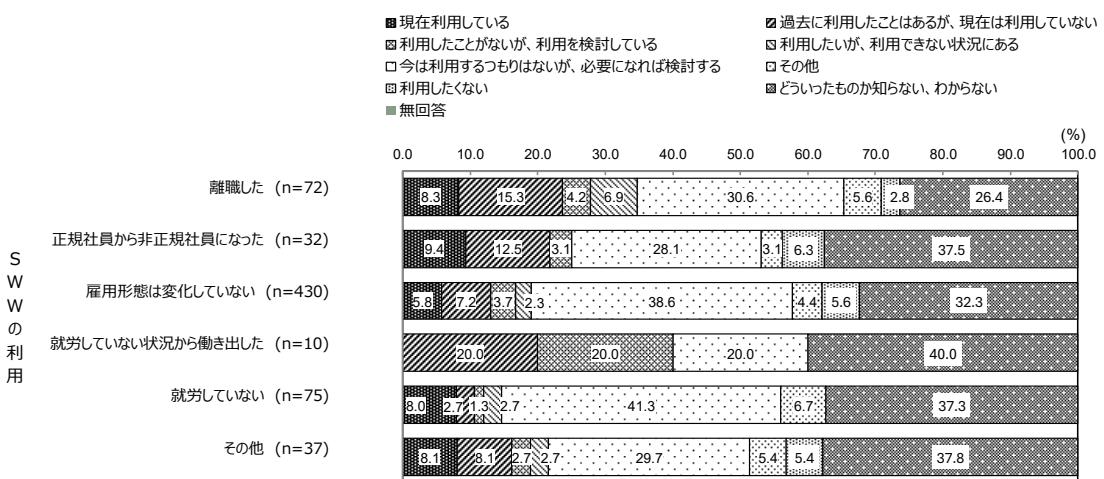
「離職した」層のお子さんの長期欠席の原因・きっかけは、「学校で、声や音がうるさかったり、いやなにおいがしたりした」「からだの不調」「気持ちが落ち込んだり、いろいろしたりした」の割合がほかの層に比べ高い傾向にある。

Q21.雇用形態の変化 × Q8.SC・SSW の利用状況

SC の利用率は、「就労していない」家庭で 30.7%、「離職した」家庭で 26.4%と高い。

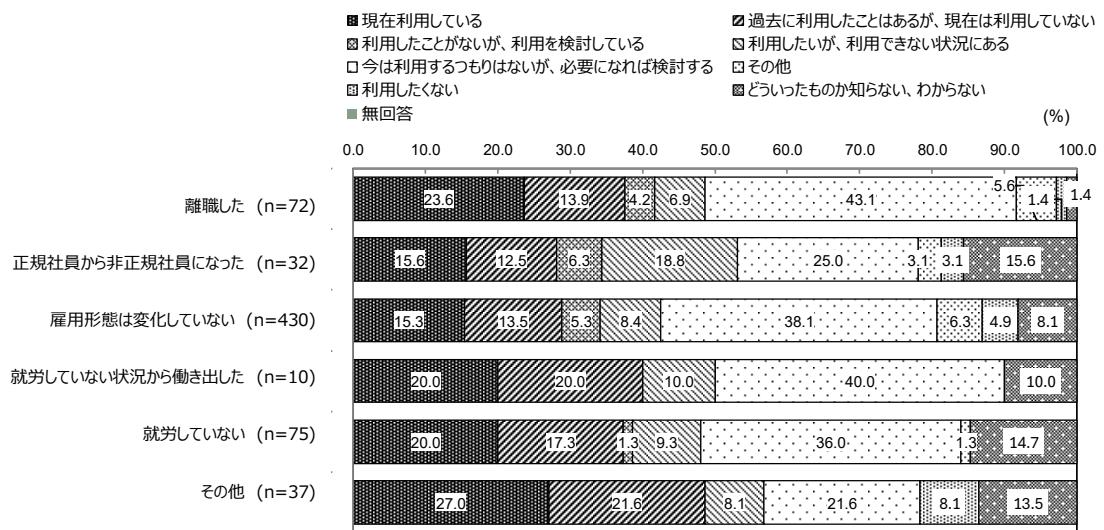


SSW の利用率は、「正規社員から非正規社員になった」家庭で 9.4%と高い。



Q21.雇用形態の変化 × Q10.学校外支援の利用状況

「離職した」家庭で学校外支援を「現在利用している」割合が 23.6%。



Q21.雇用形態の変化 × Q17.不安や悩み事

「正規社員から非正規社員になった」「離職した」層で、「自分の仕事との両立に対する悩み」の割合が他の層に比べ高い。

		問17.お子さんを支える中で感じた不安や悩み事、精神的・身体的な負担についてお答えください。（複数回答可）											
		お子さんの周囲の人との関わり方にについて （保護者）	がお子さんについて将来に對する不安を感じていてい（～る保護者）	お子さんについて学習の遅れや家庭での学習対応の難	お子さんへの接し方やサポートのあり方につい	お子さんの生活リズムの乱れや体力の低下につ	学校や担任とのやり取りや調整	や学校以外の支援機関（病院、診療所含む）との調整	へ学校以外の支援機関（フリースクール等含む）	自分自身の自由な時間が確保できない	自分の仕事との両立に対する悩み		
		全 体	771	387	480	441	376	419	374	223	167	212	382
			100.0	50.2	62.3	57.2	48.8	54.3	48.5	28.9	21.7	27.5	49.5
雇用形態	離職した	72	45	51	54	43	42	45	36	29	34	57	
		100.0	62.5	70.8	75.0	59.7	58.3	62.5	50.0	40.3	47.2	79.2	
	正規社員から非正規社員になった	32	20	24	17	16	20	15	9	10	15	28	
		100.0	62.5	75.0	53.1	50.0	62.5	46.9	28.1	31.3	46.9	87.5	
	雇用形態は変化していない	430	246	312	281	239	274	226	134	93	104	241	
		100.0	57.2	72.6	65.3	55.6	63.7	52.6	31.2	21.6	24.2	56.0	
	就労していない状況から働き出した	10	5	5	7	5	8	5	1	1	6	4	
		100.0	50.0	50.0	70.0	50.0	80.0	50.0	10.0	10.0	60.0	40.0	
雇用形態	就労していない	75	42	54	50	41	47	50	25	21	34	18	
		100.0	56.0	72.0	66.7	54.7	62.7	66.7	33.3	28.0	45.3	24.0	
	その他	37	23	28	26	25	23	28	14	11	16	27	
		100.0	62.2	75.7	70.3	67.6	62.2	75.7	37.8	29.7	43.2	73.0	
		全 体	116	398	189	136	405	148	192	269	62	8	107
			15.0	51.6	24.5	17.6	52.5	19.2	24.9	34.9	8.0	1.0	13.9
雇用形態	離職した	20	43	21	22	46	28	31	38	8	1	-	
		27.8	59.7	29.2	30.6	63.9	38.9	43.1	52.8	11.1	1.4	-	
	正規社員から非正規社員になった	6	15	11	9	13	13	11	12	2	1	-	
		18.8	46.9	34.4	28.1	40.6	40.6	34.4	37.5	6.3	3.1	-	
	雇用形態は変化していない	60	269	116	77	267	69	110	169	34	3	-	
		14.0	62.6	27.0	17.9	62.1	16.0	25.6	39.3	7.9	0.7	-	
	就労していない状況から働き出した	2	5	4	2	7	2	1	3	1	1	-	
		20.0	50.0	40.0	20.0	70.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	-	
雇用形態	就労していない	18	43	22	17	46	23	24	28	8	1	-	
		24.0	57.3	29.3	22.7	61.3	30.7	32.0	37.3	10.7	1.3	-	
雇用形態	その他	9	20	13	8	20	12	12	15	8	1	-	
		24.3	54.1	35.1	21.6	54.1	32.4	32.4	40.5	21.6	2.7	-	
		全 体	無回答										

Q21.雇用形態の変化 × Q23.働き方の変化

「正規社員から非正規社員になった」家庭は、多くの項目で平均よりも高い選択率となっている。

Q21.雇用形態の変化 × Q24.ケアと仕事の両立に望むもの

「正規社員から非正規社員になった」家庭は、「柔軟な勤務時間」の選択率が 84.4%、「お子さんのケアと仕事の両立に関する社内制度の整備」の選択率が 53.1%となっている。

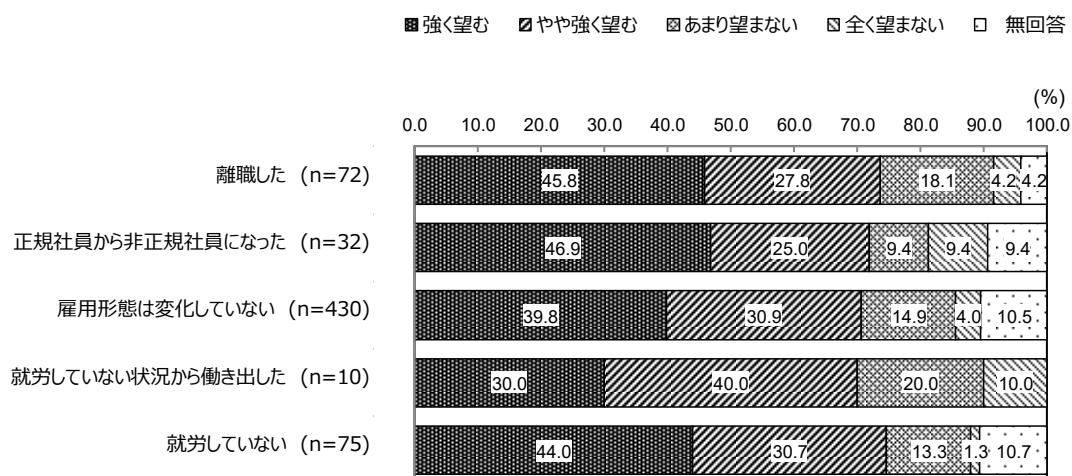
「離職した」、「就労していない状況から働きだした」、「就労していない」家庭では、「お子さんのケアに理解がある職場風土」の選択率が高い。

		問24.勤務先において、お子さんのケアと仕事を両立させるために何を求めますか。（複数回答可）											
		どへ登校支援・時間通院に対応にあわせた出退勤調整など	柔軟な勤務時間	テレワーク・在宅勤務の選択肢の拡充	精神内的情報交換・支援の窓口整備	場同じ設置みを抱える職員同士の情報交換・支援の窓口整備	のお子さんとのケアと仕事の両立に関する制度	・お支援情報のケアと仕事の両立に関する制度	～お子さんとのケアと仕事の両立に関する制度	～お子さんとのケアと仕事の両立に関する制度	その他	特に求めるものはない	無回答
全 体		771 100.0	442 57.3	186 24.1	111 14.4	109 14.1	249 32.3	209 27.1	333 43.2	26 3.4	95 12.3	131 17.0	
雇用形態	離職した	72 100.0	54 75.0	33 45.8	9 12.5	11 15.3	35 48.6	28 38.9	39 54.2	5 6.9	5 6.9	- -	
	正規社員から非正規社員になった	32 100.0	27 84.4	12 37.5	7 21.9	6 18.8	17 53.1	12 37.5	15 46.9	- -	2 6.3	2 6.3	
	雇用形態は変化していない	430 100.0	283 65.8	95 22.1	70 16.3	67 15.6	140 32.6	121 28.1	212 49.3	15 3.5	71 16.5	9 2.1	
	就労していない状況から働き出した	10 100.0	5 50.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	- -	
	就労していない	75 100.0	51 68.0	40 53.3	15 20.0	15 20.0	36 48.0	33 44.0	42 56.0	1 1.3	10 13.3	3 4.0	
	その他	37 100.0	22 59.5	5 13.5	8 21.6	8 21.6	16 43.2	12 32.4	19 51.4	4 10.8	6 16.2	2 5.4	

Q21.雇用形態の変化 × Q26.行政に求める支援

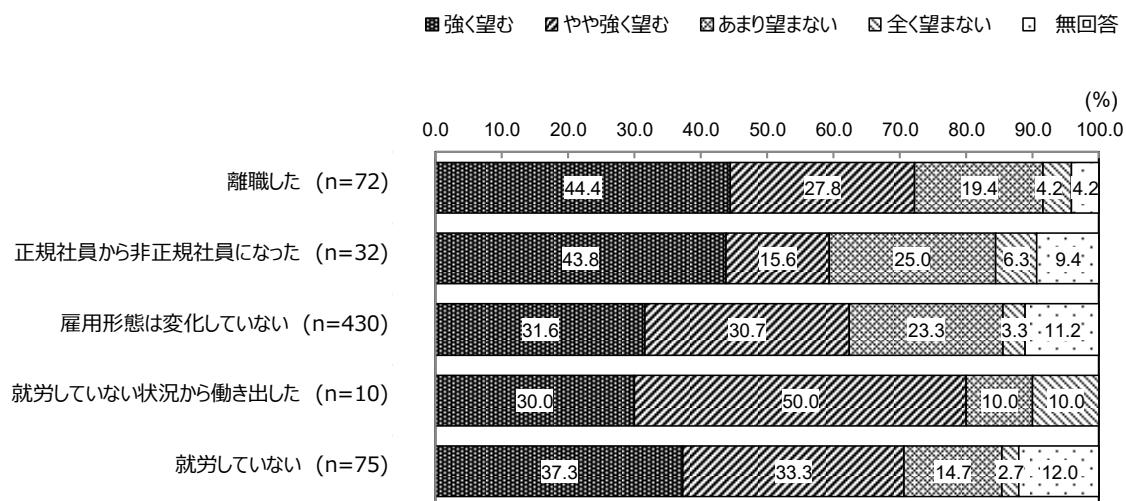
【Q26-1.お子さんに対するカウンセリングなどの心理的支援の充実】

「お子さんに対するカウンセリングなどの心理的支援の充実」を「強く望む」割合は、「正規職員から非正規職員になった」層で46.9%、「離職した」層で45.8%。



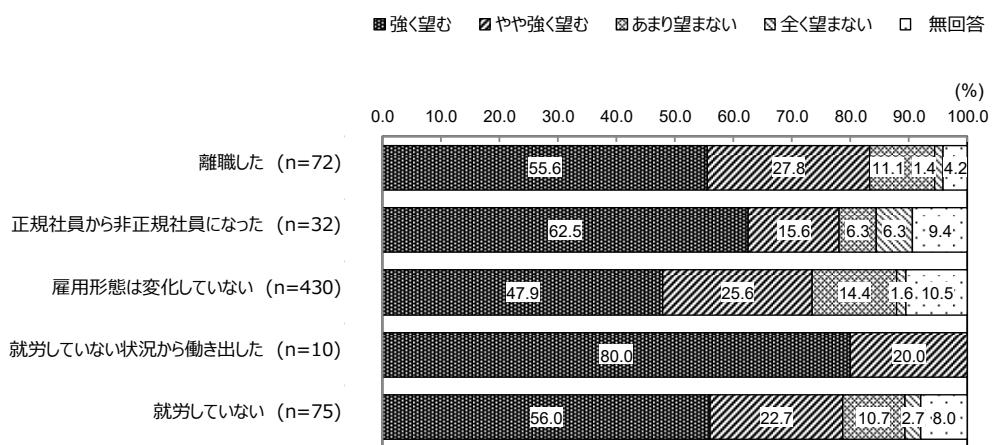
【Q26-2.関係機関とつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)の充実】

「関係機関とつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)の充実」を「強く望む」割合は、「離職した」層で44.4%、「正規職員から非正規職員になった」層で43.8%。



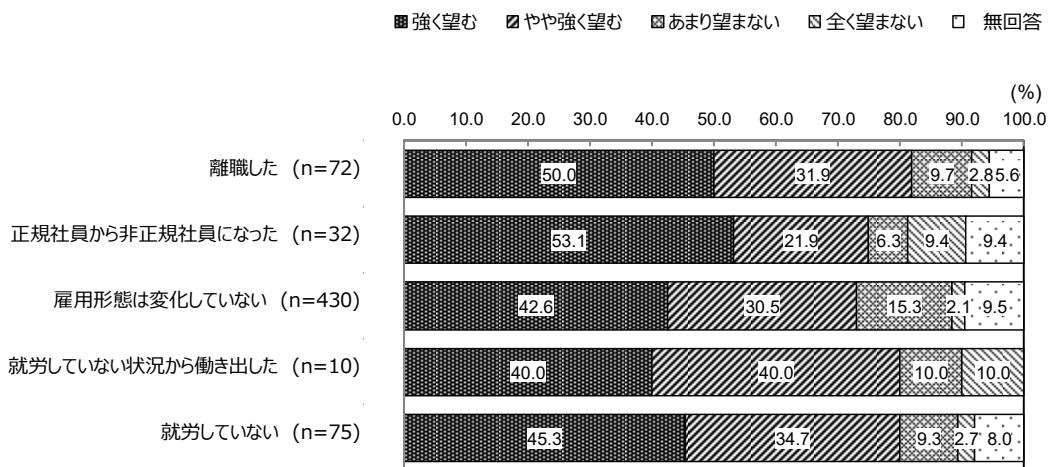
【Q26-3.学校内での教室以外の居場所(スペシャルサポートルーム・校内教育支援センターなど)の充実】

「学校内での教室以外の居場所(スペシャルサポートルーム・校内教育支援センターなど)の充実」を「強く望む」割合は、「就労していない状況から動き出した」層で 80.0%。



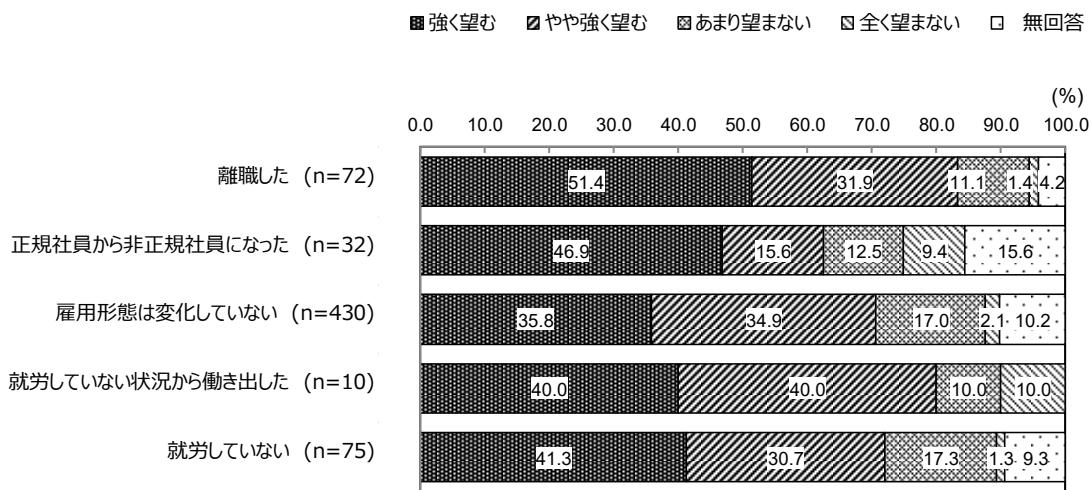
【Q26-4.学校外での公的な学習支援・居場所(教育支援センター、学びの多様化学校等)の充実】

「学校外での公的な学習支援・居場所(教育支援センター、学びの多様化学校等)の充実」を「強く望む」割合は、「正規職員から非正規職員になった」層で 53.1%、「離職した」層で 50.0%。



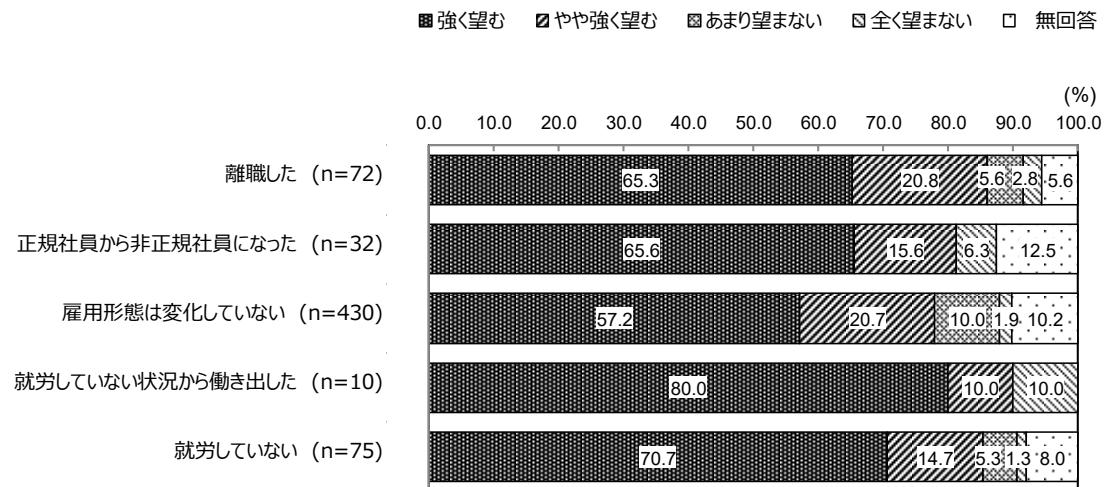
【Q26-5.学校外での民間の居場所(フリースクール、フリースペース、居場所等)の充実】

「学校外での民間の居場所(フリースクール、フリースペース、居場所等)の充実」を「強く望む」割合は、「離職した」層で 51.4%。



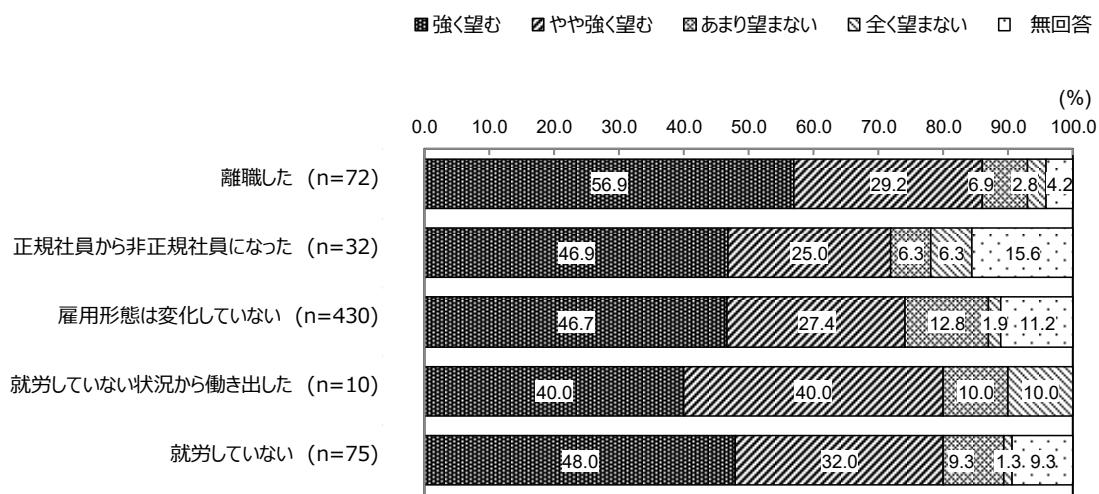
【Q26-6.学校外支援(教育支援センター、フリースクール等)に通った場合でも、進学において不利にならないこと】

「学校外支援(教育支援センター、フリースクール等)に通った場合でも、進学において不利にならないこと」を「強く望む」割合は、「就労していない状況から働き出した」層で 80.0%。



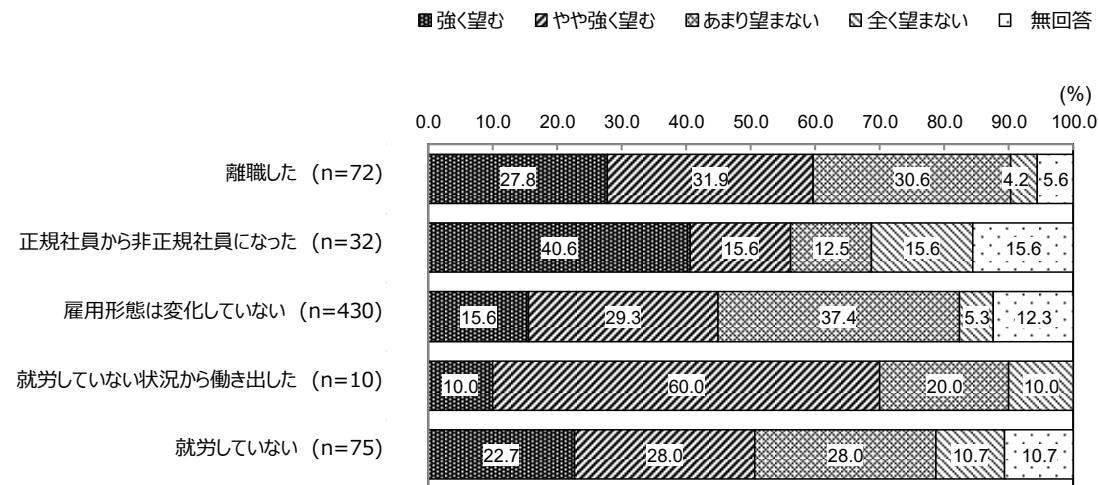
【Q26-7.学習支援(オンライン授業の提供など)の充実】

「学習支援(オンライン授業の提供など)の充実」を「強く望む」割合は「離職した」層で 56.9%。



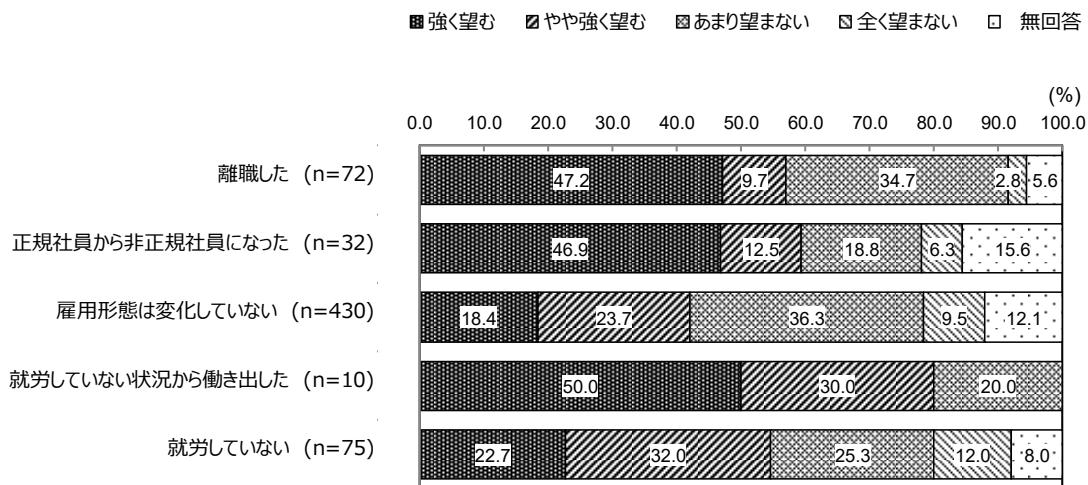
【Q26-8.親の会など同じ悩みを抱える人たちの交流の場】

「親の会など同じ悩みを抱える人たちの交流の場」を「強く望む」割合は、「正規職員から非正規職員になった」層で 40.6%。



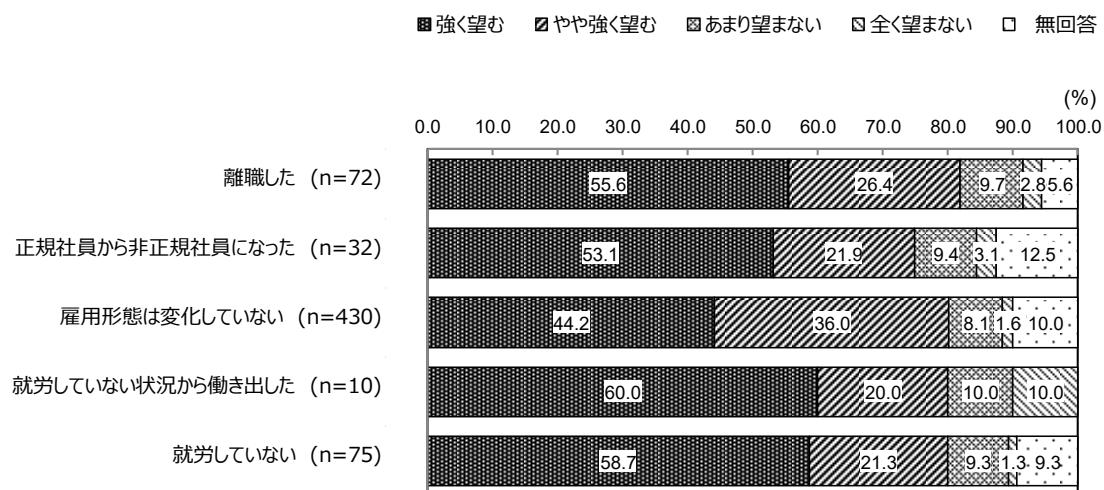
【Q26-9.お子さんのケアを一時的に代わってくれる等、自分が休める時間の確保】

「自分が休める時間の確保」を「強く望む」割合は、「就労していない状況から働き出した」層で50.0%。(n 数が少ないとこには留意)



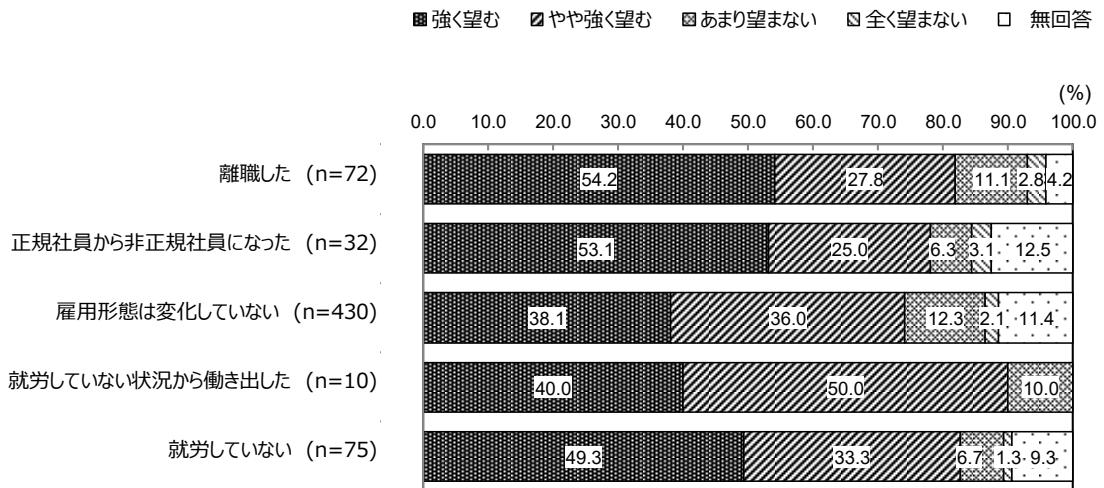
【Q26-10.長期欠席や不登校の支援に関する情報提供】

「長期欠席や不登校の支援に関する情報提供」を「強く望む」割合は、「就労していない状況から働き出した」層で60.0%。(n 数が少ないとこには留意)



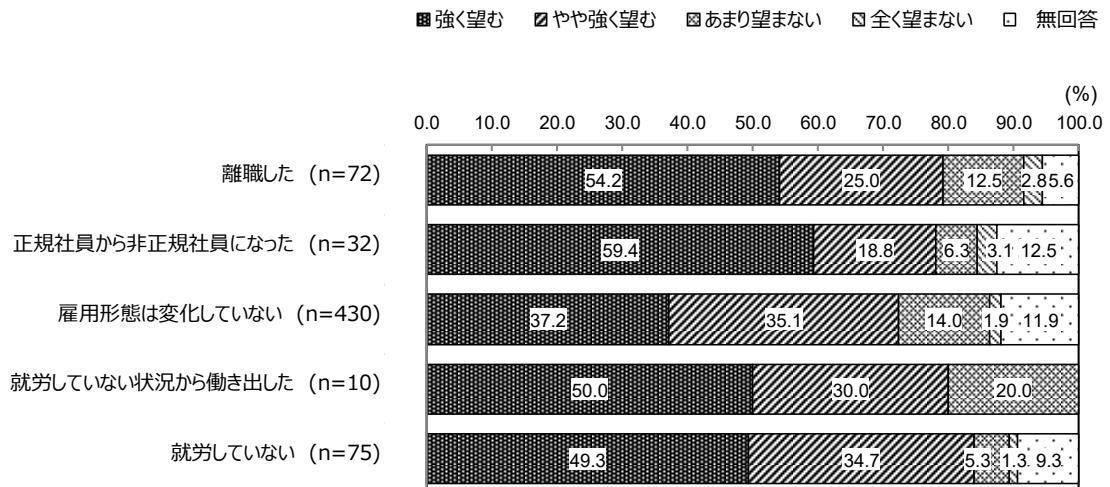
【Q26-11.企業への意識や理解の促進】

「企業への意識や理解の促進」を「強く望む」割合は、「離職した」層で 54.2%、「正規職員から非正規職員になった」層で 53.1%。



【Q26-12.企業への職場環境整備の支援】

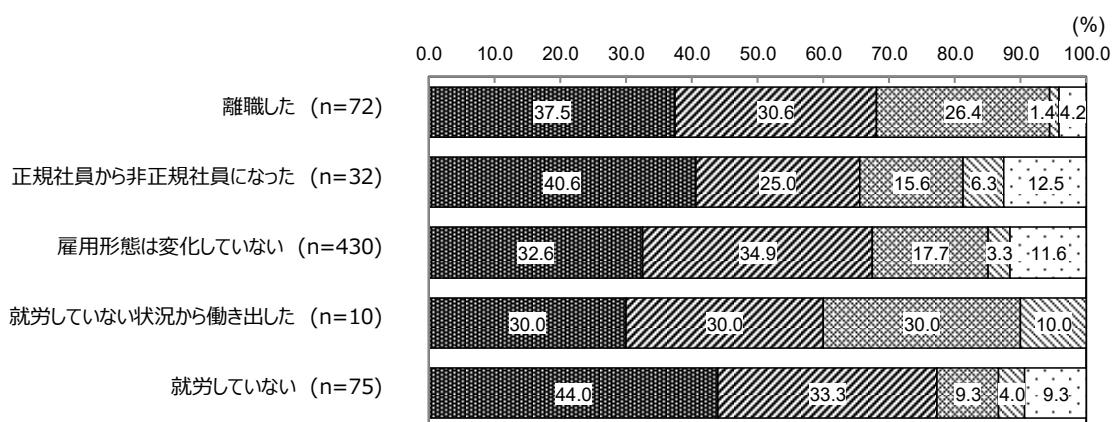
「企業への職場環境整備の支援」を「強く望む」割合は、「正規職員から非正規職員になった」層で 59.4%、「離職した」層で 54.2%。



【Q26-13.医療機関と繋がるための支援】

「医療機関と繋がるための支援」を「強く望む」割合は、「就労していない」層で44.0%。

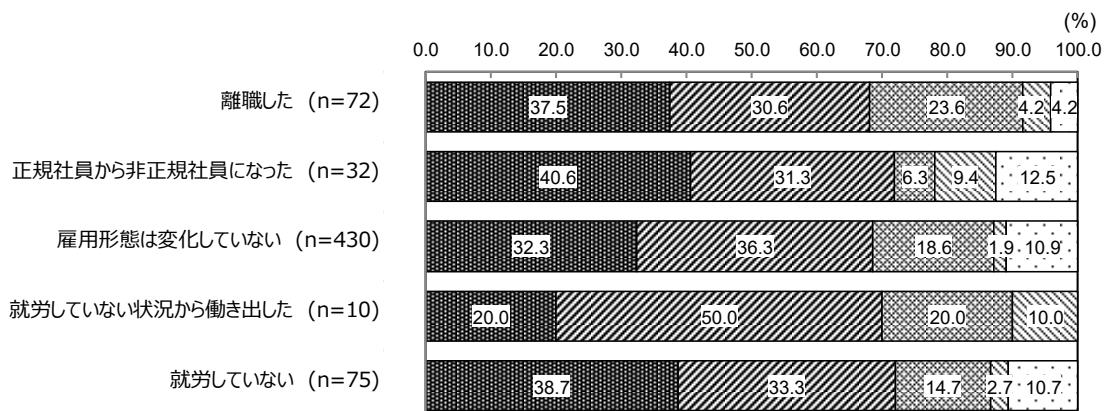
■強く望む □やや強く望む ▨あまり望まない □全く望まない □無回答



【Q26-14.家庭や家族の課題について相談できる福祉機関と繋がるための支援】

「家庭や家族の課題について相談できる福祉機関と繋がるための支援」を「強く望む」割合は、「正規職員から非正規職員になった」層で40.6%。

■強く望む □やや強く望む ▨あまり望まない □全く望まない □無回答



5. 働き方の変化別クロス

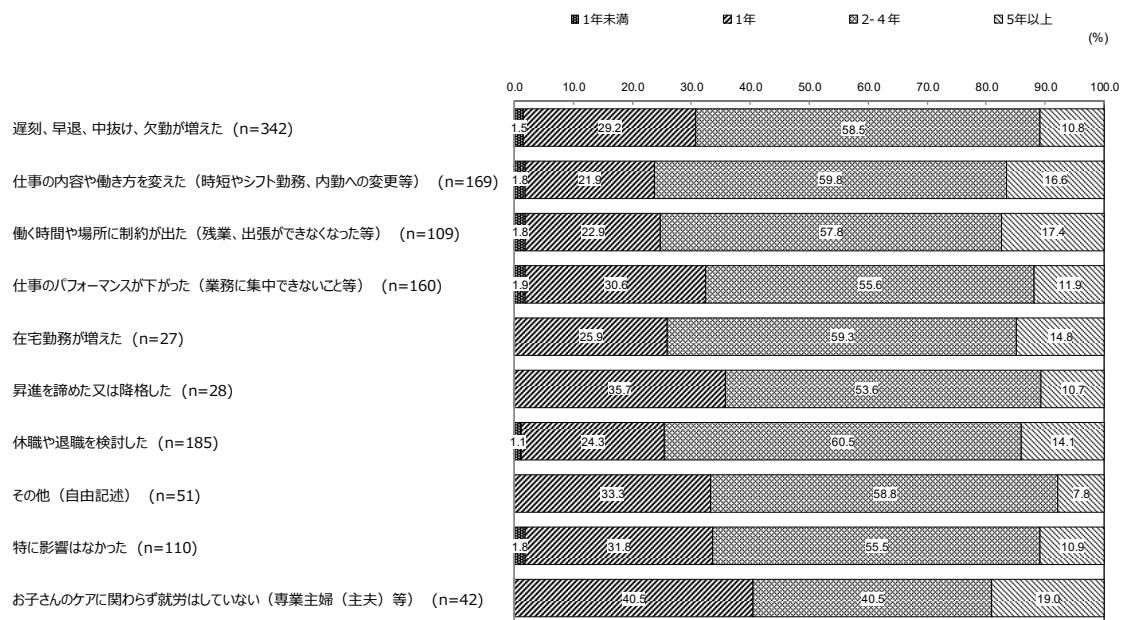
Q23. 働き方の変化 × Q1.家族構成

「仕事のパフォーマンスが下がった（業務に集中できること等）」、「休職や退職を検討した」家庭は、兄弟姉妹がいる割合が他の層に比べ高い。

		全 体	問1.お子さんからみた家族構成（同居の家族）をお答えください。（複数回答可）					
			父 親	母 親	祖 父	祖 母	兄 弟 姉妹	そ の 他
雇用形態	全 体	771 100.0	530 68.7	725 94.0	84 10.9	124 16.1	506 65.6	21 2.7
	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた	333 100.0	236 70.9	321 96.4	34 10.2	49 14.7	233 70.0	6 1.8
	仕事の内容や働き方を変えた（時短やシフト勤務、内勤への変更等）	156 100.0	103 66.0	147 94.2	13 8.3	23 14.7	103 66.0	4 2.6
	働く時間や場所に制約が出た（残業、出張ができなくなった等）	103 100.0	70 68.0	99 96.1	6 5.8	12 11.7	69 67.0	0 0.0
	仕事のパフォーマンスが下がった（業務に集中できること等）	158 100.0	110 69.6	154 97.5	11 7.0	15 9.5	117 74.1	1 0.6
	在宅勤務が増えた	26 100.0	18 69.2	25 96.2	2 7.7	3 11.5	12 46.2	0 0.0
	昇進を諦めた又は降格した	28 100.0	17 60.7	26 92.9	0 0.0	1 3.6	18 64.3	0 0.0
	休職や退職を検討した	167 100.0	117 70.1	164 98.2	13 7.8	19 11.4	121 72.5	1 0.6
	その他	50 100.0	34 68.0	50 100.0	3 6.0	7 14.0	30 60.0	1 2.0
	特に影響はなかった	107 100.0	72 67.3	101 94.4	12 11.2	18 16.8	72 67.3	2 1.9
	お子さんのケアに関わらず就労はしていない（専業主婦（主夫）等）	48 100.0	38 79.2	46 95.8	8 16.7	9 18.8	37 77.1	2 4.2

Q23. 働き方の変化 × Q4.長期欠席歴

「働く時間や場所に制約が出た」家庭で長期欠席歴(現在の学年と、長期欠席の兆候が見られはじめた学年の差分)が5年を超えるお子さんの割合が 17.4%、「仕事の内容や働き方を変えた」家庭で長期欠席歴が5年を超えるお子さんの割合が 16.6%と高い傾向にある。



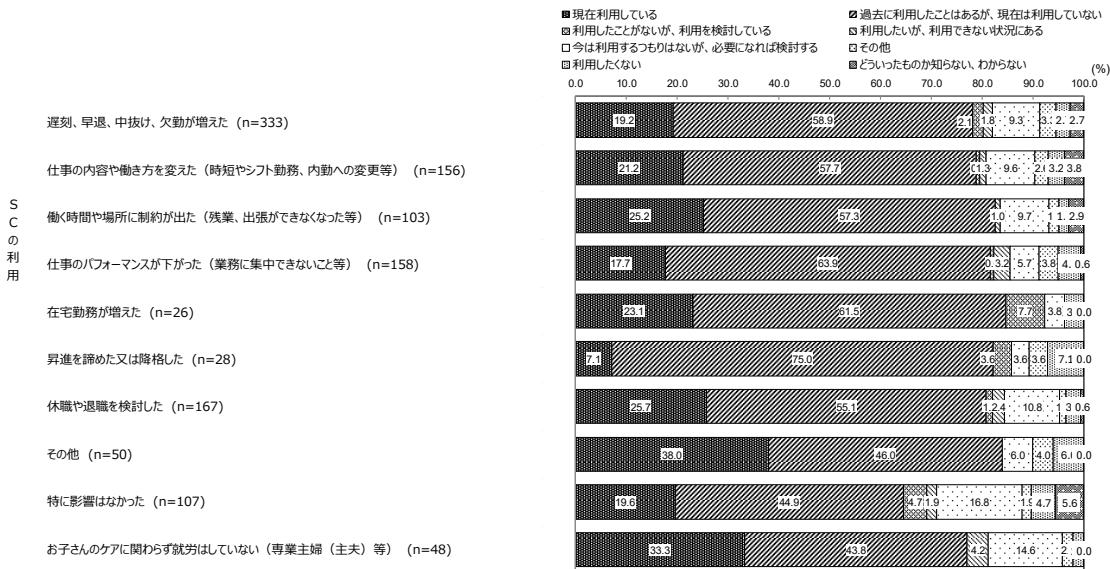
Q23. 働き方の変化 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ

「仕事のパフォーマンスが下がった(業務に集中できないこと等)」層は、「気持ちが落ち込んだり、いろいろしたりした」、「夜ねむれなかったり、朝起きられなかったりした」の選択割合が高い。

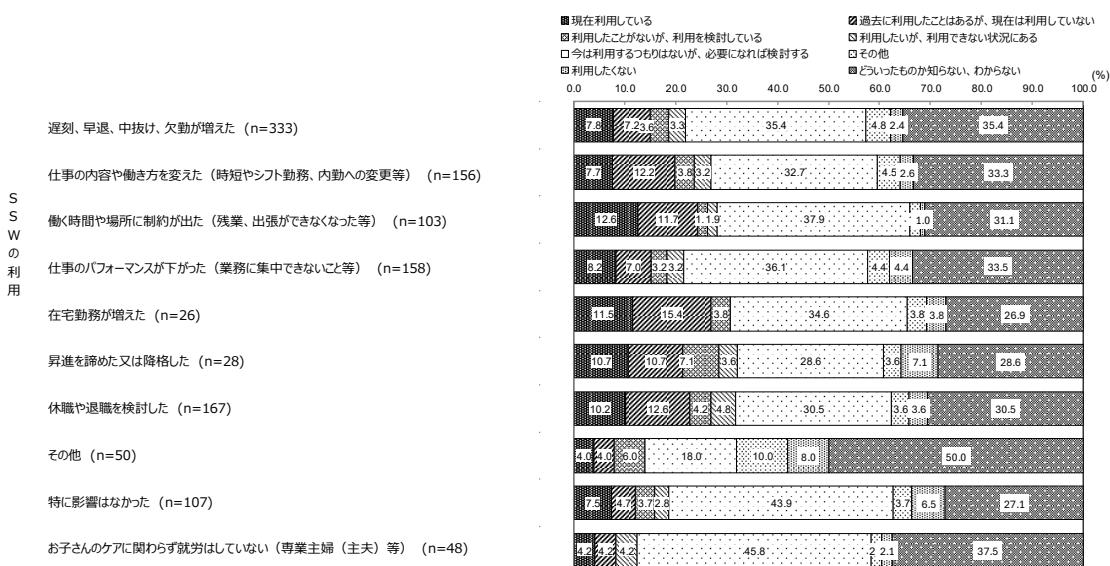
		問5-1.お子さん(1人目)が学校を長期欠席していた要因・きっかけは何ですか。(複数回答可)														学校のきまりのこと		
		いやがらせやいじめをうけた	いやがらせやいじめをうけた	たいじめ以外の友人関係のトラブルがあつた	仲の良い友達がいなかつた	先生とあわなかつた	先生に厳しく怒られた	勉強が分からなくなかつた	授業がかんたんすぎた	成績が下がった	宿題ができなかつた	将来の進路のことでの悩んでいた	部活動の問題	学校のきまりのこと				
全 体		844	158	3	141	106	212	84	127	9	29	62	13	49	105			
		100.0	18.7	0.4	16.7	12.6	25.1	10.0	15.0	1.1	3.4	7.3	1.5	5.8	12.4			
雇用形態	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた	364	81	3	80	49	105	37	65	5	17	30	8	23	41			
	100.0	22.3	0.8	22.0	13.5	28.8	10.2	17.9	1.4	4.7	8.2	2.2	6.3	11.3				
	仕事の内容や働き方を変えた(時短やシフト勤務、内勤への変更等)	176	32	1	31	21	48	21	24	4	7	15	1	13	27			
	100.0	18.2	0.6	17.6	11.9	27.3	11.9	13.6	2.3	4.0	8.5	0.6	7.4	15.3				
	働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができないなど)	112	22	0	20	13	35	12	21	3	4	10	1	6	21			
	100.0	19.6	0.0	17.9	11.6	31.3	10.7	18.8	2.7	3.6	8.9	0.9	5.4	18.8				
	仕事のパフォーマンスが下がった(業務に集中できないこと等)	171	42	0	36	30	55	12	38	3	11	20	4	15	26			
	100.0	24.6	0.0	21.1	17.5	32.2	7.0	22.2	1.8	6.4	11.7	2.3	8.8	15.2				
	在宅勤務が増えた	29	2	1	3	2	5	4	4	2	2	2	1	1	8			
	100.0	6.9	3.4	10.3	6.9	17.2	13.8	13.8	6.9	6.9	6.9	3.4	3.4	27.6				
	昇進を諦めた又は降格した	30	6	0	6	5	10	4	11	0	5	5	2	3	8			
	100.0	20.0	0.0	20.0	16.7	33.3	13.3	36.7	0.0	16.7	16.7	6.7	10.0	26.7				
	休職や退職を検討した	193	42	1	39	34	53	20	39	3	9	14	5	12	30			
	100.0	21.8	0.5	20.2	17.6	27.5	10.4	20.2	1.6	4.7	7.3	2.6	6.2	15.5				
	その他	193	42	1	39	34	53	20	39	3	9	14	5	12	30			
	特に影響はなかった	54	10	0	11	5	13	5	8	2	0	2	1	1	7			
	お子さんのケアに関わらず就労はしていない(専業主婦(主夫)等)	49	10	0	3	5	15	10	2	1	0	2	1	3	10			
	100.0	20.4	0.0	6.1	10.2	30.6	20.4	4.1	2.0	0.0	4.1	2.0	6.1	20.4				
		問5-2.お子さん(1人目)が学校を長期欠席していた要因・きっかけは何ですか。(複数回答可)														わからぬ		
		か入った進級、転校して学校やクラスに合わな	お学校がで、声や音がうるさかったり、いやな匂いがした	など、タブレット、スマートフォン、イヤホン、イヤム、動画視聴、SNS	学校とは違ったこと(遊び)をしたかった	からだの不調	気持ちが落ち込んだり、いらいらしたりした	した夜ねむれなかつたり、朝起きられなかつたりした	家の生活が変わった	親のこと	家族の世話や家事が忙しかつた	その他(自由記述)			答えたたくない			
全 体		95	129	56	38	274	261	222	31	48	3	155	62	4				
		11.3	15.3	6.6	4.5	32.5	30.9	26.3	3.7	5.7	0.4	18.4	7.3	0.5				
雇用形態	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた	48	69	32	19	128	145	118	19	16	2	70	23	2				
	13.2	19.0	8.8	5.2	35.2	39.8	32.4	5.2	4.4	0.5	19.2	6.3	0.5					
	仕事の内容や働き方を変えた(時短やシフト勤務、内勤への変更等)	29	41	12	13	60	64	51	11	12	0	33	15	1				
	16.5	23.3	6.8	7.4	34.1	36.4	29.0	6.3	6.8	0.0	18.8	8.5	0.6					
	働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができないなど)	19	26	11	10	41	50	38	4	7	0	22	9	0				
	17.0	23.2	9.8	8.9	36.6	44.6	33.9	3.6	6.3	0.0	19.6	8.0	0.0					
	仕事のパフォーマンスが下がった(業務に集中できないこと等)	30	32	14	8	66	82	72	10	14	0	31	11	1				
	17.5	18.7	8.2	4.7	38.6	48.0	42.1	5.8	8.2	0.0	18.1	6.4	0.6					
	在宅勤務が増えた	31.0	24.1	6.9	10.3	24.1	34.5	24.1	10.3	3.4	0.0	20.7	13.0	0.0				
	4	4	5	4	5	15	13	3	2	0	5	2	0					
	昇進を諦めた又は降格した	13.3	13.3	16.7	13.3	16.7	50.0	30.0	10.0	6.7	0.0	16.7	6.7	0.0				
	休職や退職を検討した	38	49	12	14	74	83	67	13	13	0	35	18	1				
	その他の	19.7	25.4	6.2	7.3	38.3	43.0	34.7	6.7	6.7	0.0	18.1	9.3	0.5				
	6	9	3	4	20	15	13	1	1	0	14	6	1					
	特に影響はなかった	11.1	16.7	5.6	7.4	37.0	27.8	24.1	1.9	1.9	0.0	25.9	11.1	1.9				
	8.2	12.2	2.0	0.0	34.7	34.7	22.4	2.0	8.2	0.0	14.3	6.1	0.0					
	お子さんのケアに関わらず就労はしていない(専業主婦(主夫)等)	8.2	12.2	2.0	0.0	34.7	34.7	22.4	2.0	8.2	0.0	14.3	6.1	0.0				

Q23. 働き方の変化 × Q8.SC・SSW の利用状況

SC を現在利用している割合は、その他を除くと、「お子さんのケアに関わらず就労はしていない」家庭で 33.3%、「休職や退職を検討した」家庭で 25.7%、「働く時間や場所に制約が出た」家庭で 25.2%の順に多い。

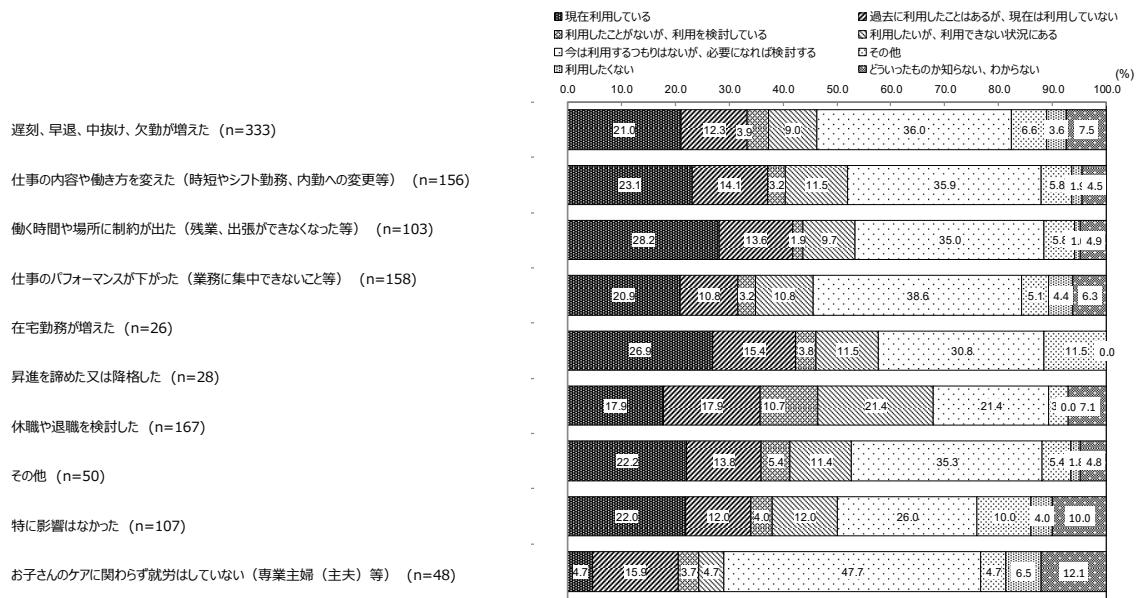


SSW を現在利用している割合は、「働く時間や場所に制約が出た」家庭で 12.6%、「在宅勤務が増えた」家庭で 11.5%、「昇進を諦めた又は降格した」家庭で 10.7%の順に多い。



Q23. 働き方の変化 × Q10.学校外支援の利用状況

「働く時間や場所に制約が出た」家庭で学校外支援を「現在利用している」割合が 28.2%と高い。



Q23. 働き方の変化 × Q17. 不安や悩み事

働き方に何らかの影響が出ている家庭は、「特に影響はなかった」家庭に比べ、将来に対する不安、学習対応、生活リズムの乱れや体力の低下、自分の仕事との両立に対する悩み等の選択割合が高い。

Q23. 働き方の変化 × Q24. ケアと仕事の両立に望むもの

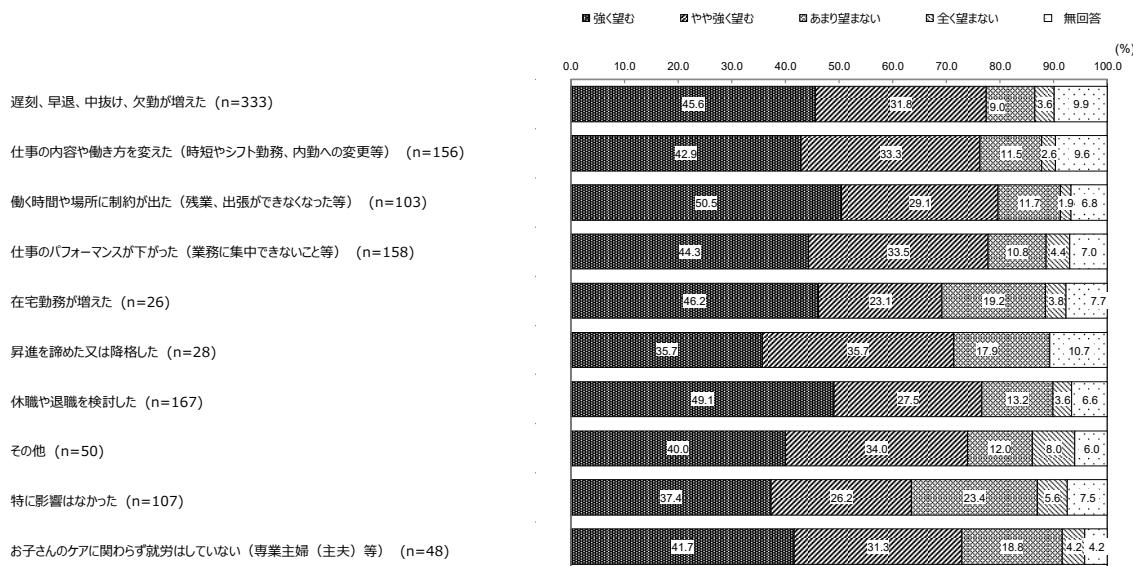
働き方に何らかの影響が出ている家庭は、「特に影響はなかった」家庭に比べ、「柔軟な勤務時間」の選択割合が高い。

		問24.勤務先において、お子さんのケアと仕事を両立させるために何を求めますか。（複数回答可）											
		全 体	出・退勤登校などの調整支援など時間院に対応にあわせた	テレワーク・在宅勤務の選択肢の拡充	～精神的負担を軽減するための相談窓口整備	同じ悩みを抱える職員同士の情報交換	社員制度の整備	お内規のケアと仕事の両立に関する周知に関する	制度支援情報の積極的な両立に関する	お子さん上の司の理解も含む）の職場風土	～お子さんとの理解がある職場風土	その他の	特に求めるものはない
		全 体	771 100.0	442 57.3	186 24.1	111 14.4	109 14.1	249 32.3	209 27.1	333 43.2	26 3.4	95 12.3	
雇用形態	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた	333 100.0	276 82.9	107 32.1	67 20.1	66 19.8	156 46.8	122 36.6	189 56.8	15 4.5	19 5.7		
	仕事の内容や働き方を変えた（時短やシフト勤務、内勤への変更等）	156 100.0	111 71.2	50 32.1	29 18.6	28 17.9	69 44.2	63 40.4	87 55.8	6 3.8	18 11.5		
	働く時間や場所に制約が出た（残業、出張ができないようになった等）	103 100.0	76 73.8	40 38.8	27 26.2	21 20.4	61 59.2	47 45.6	65 63.1	5 4.9	7 6.8		
	仕事のパフォーマンスが下がった（業務に集中できないこと等）	158 100.0	124 78.5	53 33.5	50 31.6	38 24.1	85 53.8	73 46.2	94 59.5	9 5.7	13 8.2		
	在宅勤務が増えた	26 100.0	16 61.5	13 50.0	9 34.6	7 26.9	10 38.5	10 38.5	11 42.3	3 11.5	4 15.4		
	昇進を諦めた又は降格した	28 100.0	23 82.1	14 50.0	10 35.7	4 14.3	17 60.7	15 53.6	15 53.6	0 0.0	1 3.6		
	休職や退職を検討した	167 100.0	135 80.4	64 38.3	43 25.7	37 22.2	94 56.3	74 44.3	105 62.0	9 5.4	5 3.0		
	その他	50 100.0	30 60.0	16 32.0	10 20.0	10 20.0	21 42.0	18 36.0	27 54.0	4 8.0	12 24.0		
	特に影響はなかった	107 100.0	51 47.7	15 14.0	10 9.3	10 9.3	22 20.6	11 10.3	42 39.3	3 2.8	38 35.5		
	お子さんのケアに関わらず就労はしていない（専業主婦（主夫）等）	48 100.0	29 60.4	24 50.0	9 18.8	11 22.9	22 45.8	23 47.9	26 54.2	1 2.1	7 14.6		

Q23. 働き方の変化 × Q26.行政に求める支援

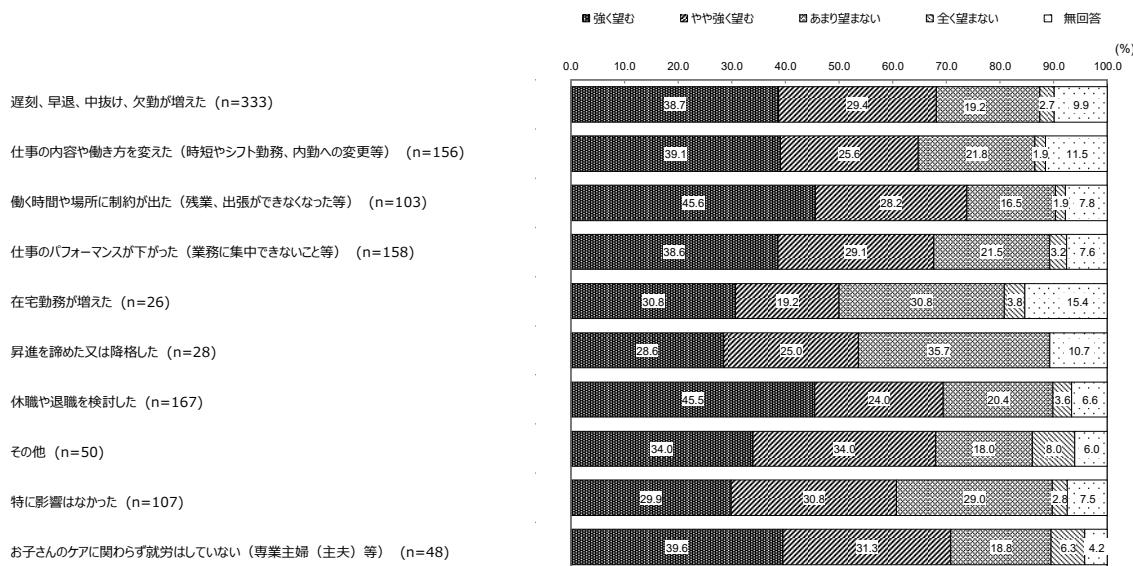
【Q26-1.お子さんに対するカウンセリングなどの心理的支援の充実】

「お子さんに対するカウンセリングなどの心理的支援の充実」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 50.5%。



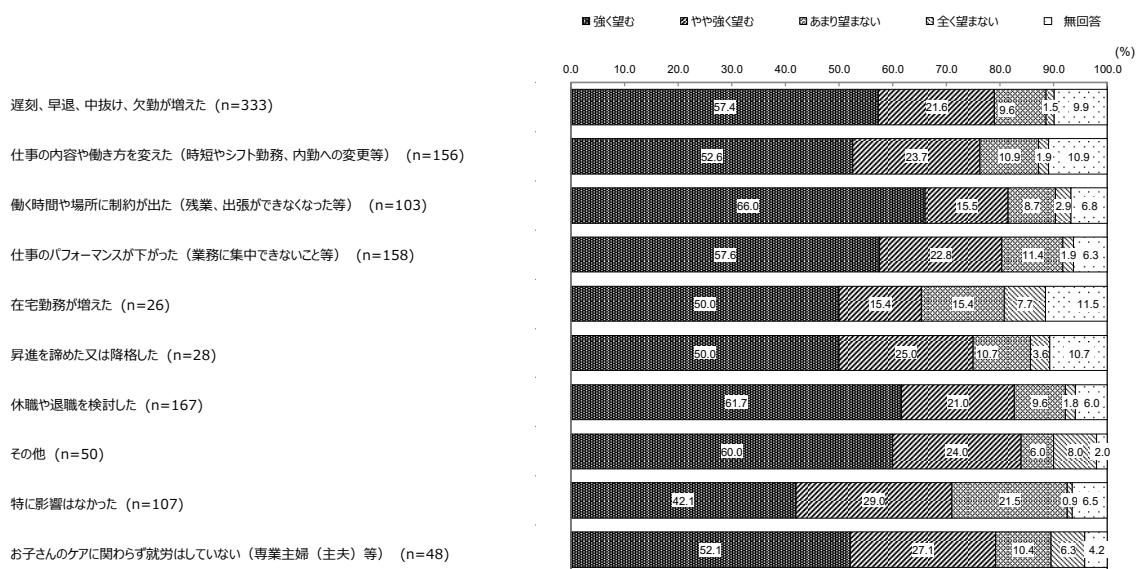
【Q26-2.関係機関とつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)の充実】

「関係機関とつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)の充実」を「強く望む」割合は、「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 45.6%、「休職や退職を検討した」層で 45.5%。



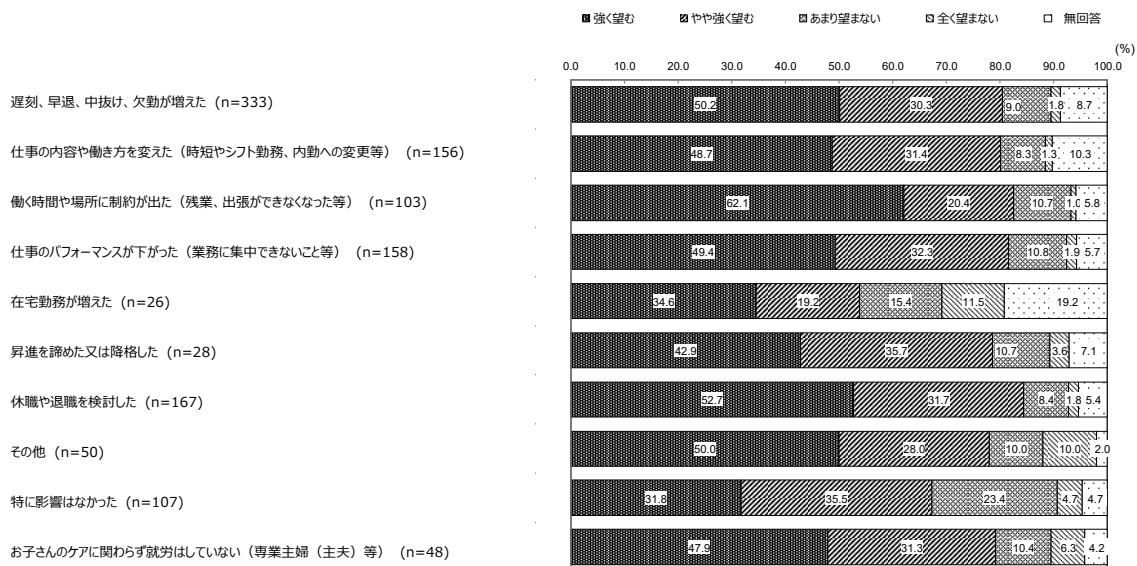
【Q26-3.学校内での教室以外の居場所(スペシャルサポートルーム・校内教育支援センターなど)の充実】

「学校内での教室以外の居場所(スペシャルサポートルーム・校内教育支援センターなど)の充実」を「強く望む」割合は、「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」「休職や退職を検討した」層で高くなっている。



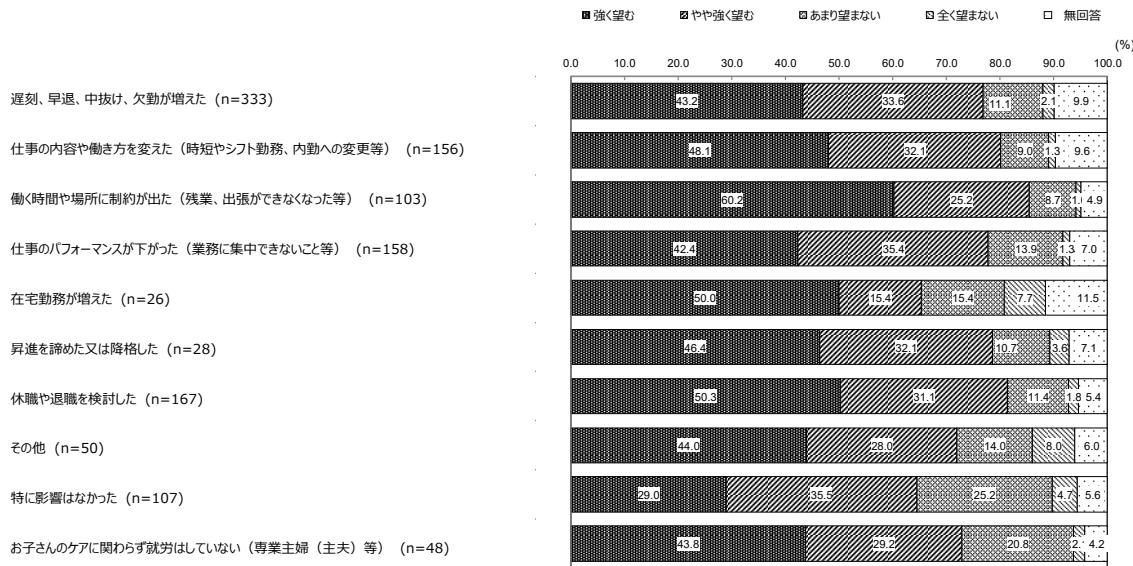
【Q26-4.学校外での公的な学習支援・居場所(教育支援センター、学びの多様化学校等)の充実】

「学校外での公的な学習支援・居場所(教育支援センター、学びの多様化学校等)の充実」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 62.1%。



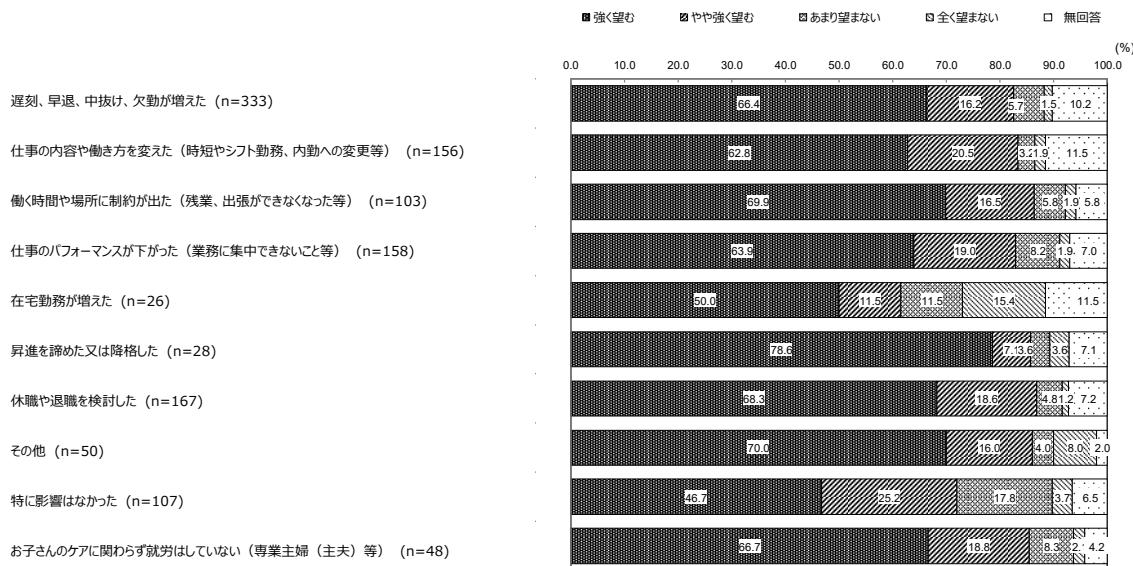
【Q26-5.学校外での民間の居場所(フリースクール、フリースペース、居場所等)の充実】

「学校外での民間の居場所(フリースクール、フリースペース、居場所等)の充実」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 60.2%。



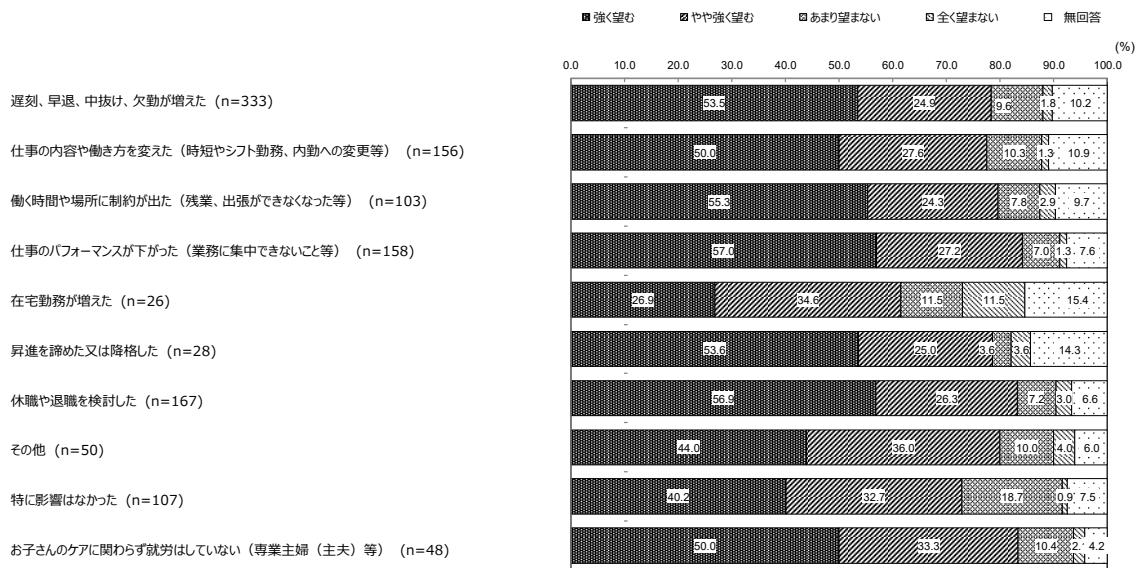
【Q26-6.学校外支援(教育支援センター、フリースクール等)に通った場合でも、進学において不利にならないこと】

「学校外支援(教育支援センター、フリースクール等)に通った場合でも、進学において不利にならないこと」を「強く望む」割合は「特に影響はなかった」家庭以外で 50%を超えていいる。



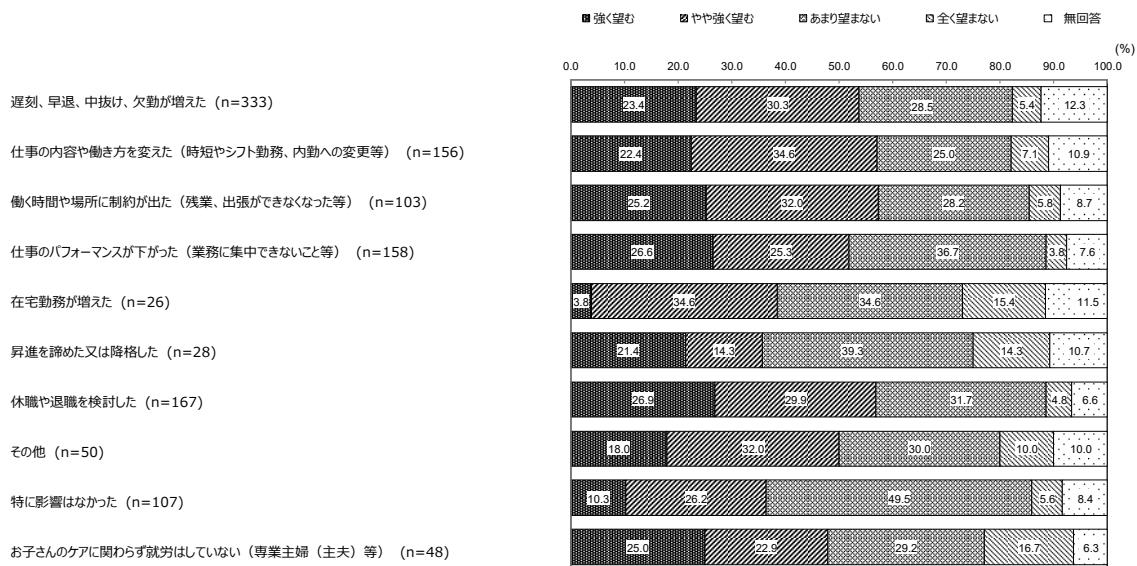
【Q26-7.学習支援(オンライン授業の提供など)の充実】

「学習支援(オンライン授業の提供など)の充実」を「強く望む」割合は、「在宅勤務が増えた」「特に影響はなかった」「その他」を選択した家庭以外で 50%を超えており、参考値(n 数の少ない層は参考値)



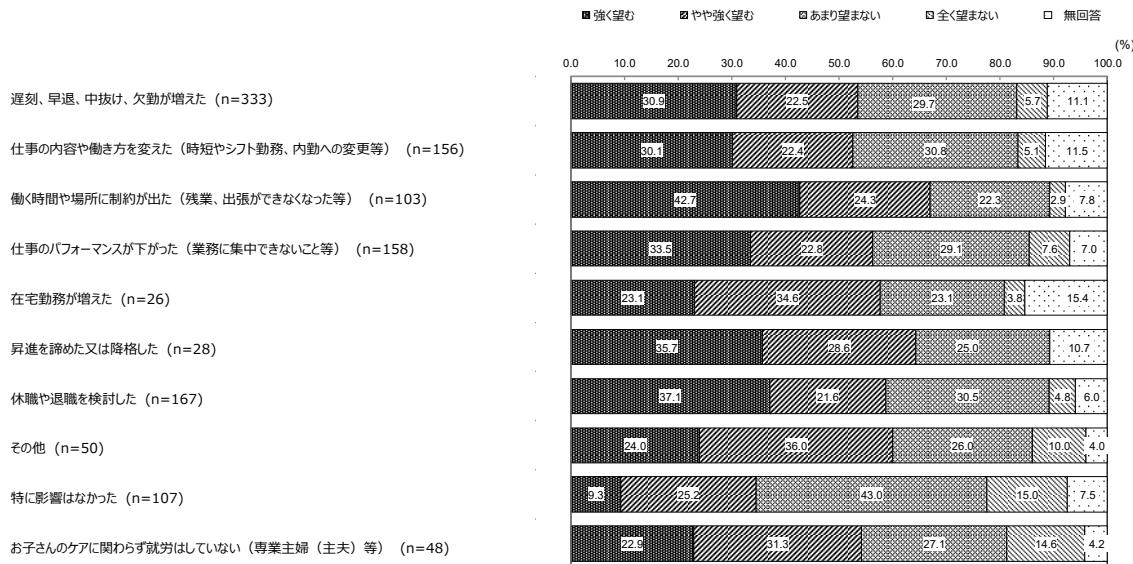
【Q26-8.親の会など同じ悩みを抱える人たちの交流の場】

「親の会など同じ悩みを抱える人たちの交流の場」を「強く望む」割合は、「特に影響はなかった」層、「在宅勤務が増えた」層でそれぞれ 10.3%、3.8%にとどまる。



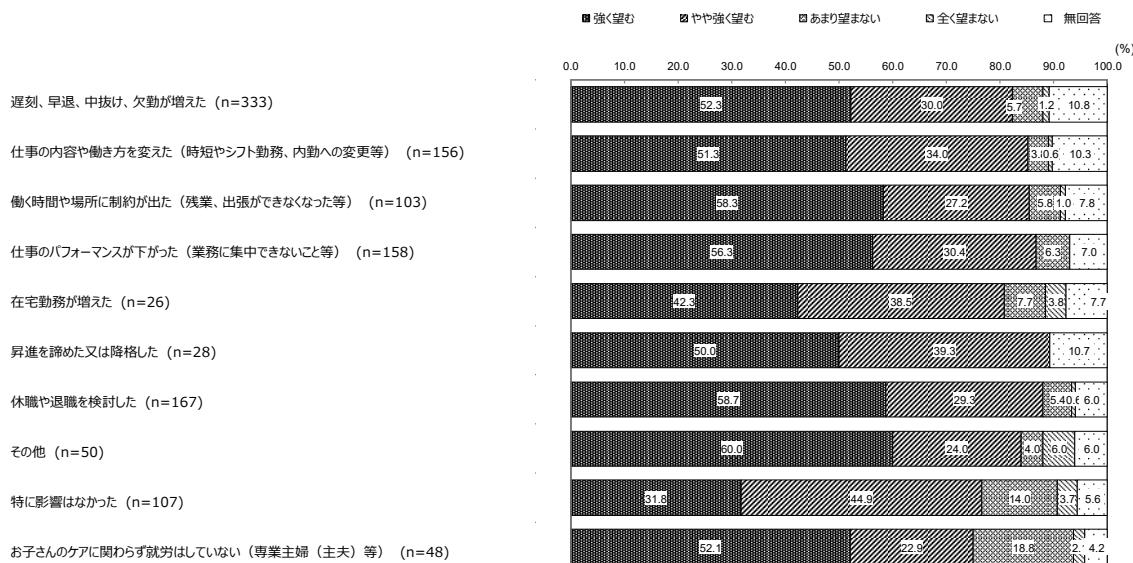
【Q26-9.お子さんのケアを一時的に代わってくれる等、自分が休める時間の確保】

「自分が休める時間の確保」を「強く望む」割合は、「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で42.7%。



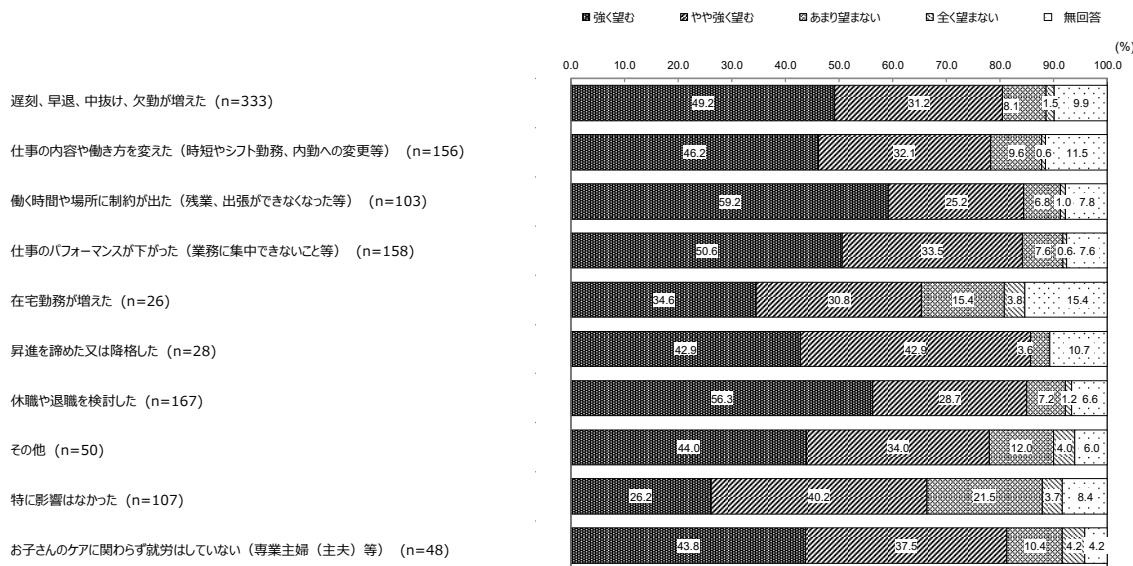
【Q26-10.長期欠席や不登校の支援に関する情報提供】

「長期欠席や不登校の支援に関する情報提供」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で58.3%、「休職や退職を検討した」層で58.7%。



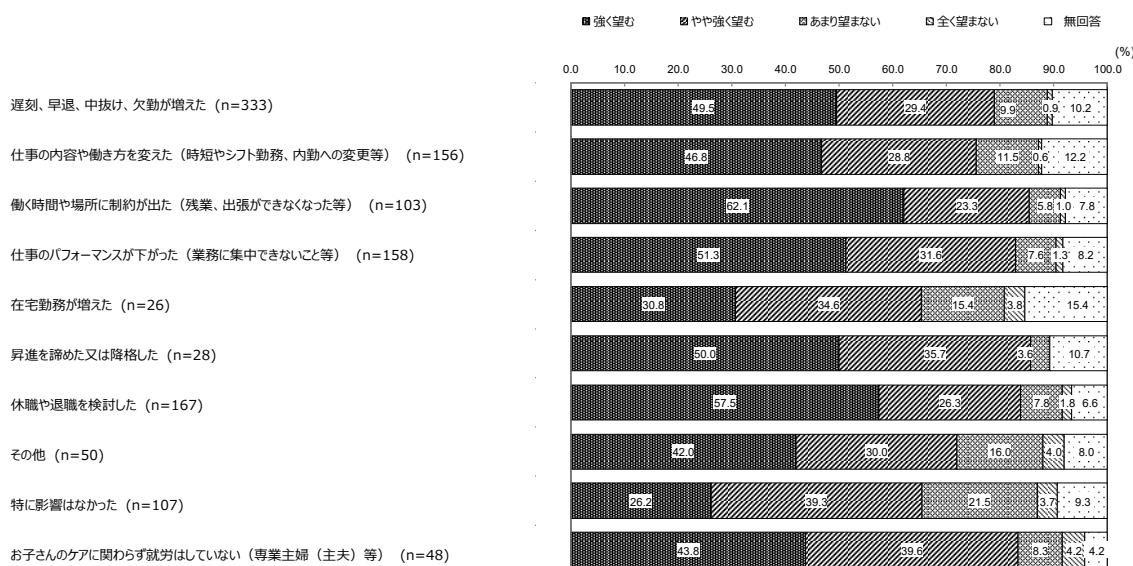
【Q26-11.企業への意識や理解の促進】

「企業への意識や理解の促進」を「強く望む」割合は、「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 59.2%、「休職や退職を検討した」層で 56.3%。



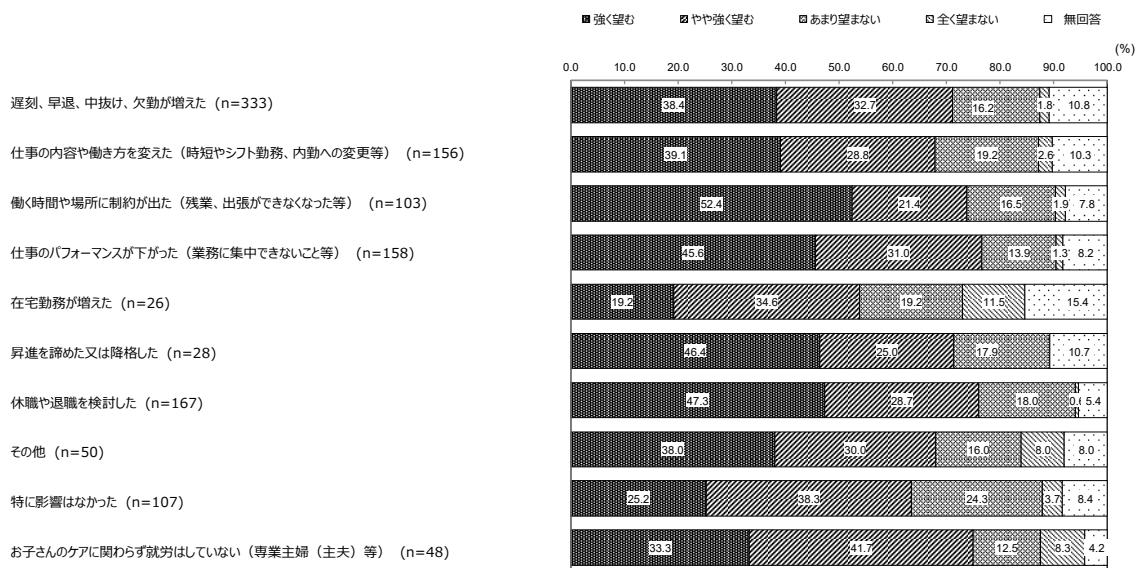
【Q26-12.企業への職場環境整備の支援】

「企業への職場環境整備の支援」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 62.1%、「休職や退職を検討した」層で 57.5%。



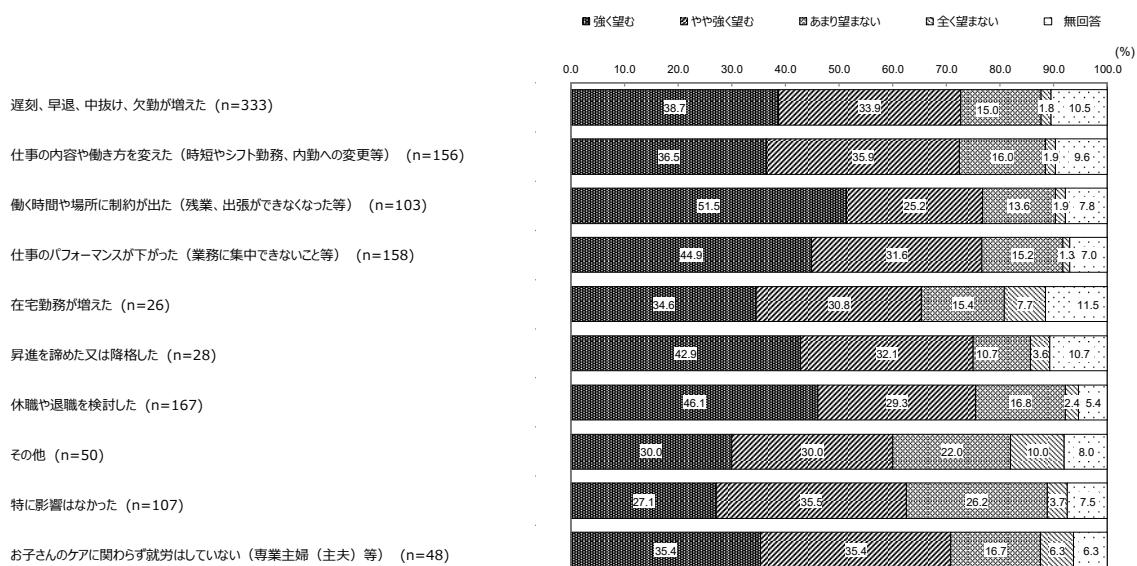
【Q26-13.医療機関と繋がるための支援】

「医療機関と繋がるための支援」を「強く望む」割合は、「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 52.4%。



【Q26-14.家庭や家族の課題について相談できる福祉機関と繋がるための支援】

「家庭や家族の課題について相談できる福祉機関と繋がるための支援」を「強く望む」割合は「働く時間や場所に制約が出た(残業、出張ができなくなった等)」層で 51.5%。



6. 雇用形態の変化の理由別クロス

※Q22.雇用形態の変化 は、Q21 で「自社内で正規社員から非正規社員(パート・アルバイト含む)になった」「正規社員から非正規社員(パート・アルバイト含む)への転職をした」「正規社員を辞めお子さんのケアに専念した」「非正規社員(パート・アルバイト含む)を辞めお子さんのケアに専念した」「正規社員から正規社員への転職をした」と回答した人が対象のため、最大母数が 113 人。(お子さんの人数合算の設問では、128 人)

Q22.雇用形態の変化の理由 × Q1.家族構成

「自分の心身の健康状態が悪化したため」を選択した家庭で父親が同居の割合が 65.9%と、他の層に比べ低い傾向にある。

		問1.お子さんからみた家族構成（同居の家族）をお答えください。（複数回答可）						
		全 体	父 親	母 親	祖 父	祖 母	兄 弟 姐 妹	
全 体		113	78	106	6	12	70	3
		100.0	69.0	93.8	5.3	10.6	61.9	2.7
雇用形態	業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため	69	53	65	4	5	48	0
		100.0	76.8	94.2	5.8	7.2	69.6	0.0
	風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため（例 上司等に相談したが理解を得られなかった、相談できる雰囲気ではなかった）	20	17	19	1	1	18	0
		100.0	85.0	95.0	5.0	5.0	90.0	0.0
	お子さんのケアに利用できる会社の制度が無かった、知らなかつたため	26	21	25	1	2	22	2
		100.0	80.8	96.2	3.8	7.7	84.6	7.7
	お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかつたため	5	4	5	0	0	2	0
		100.0	80.0	100.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	自分の心身の健康状態が悪化したため	44	29	42	1	2	30	0
		100.0	65.9	95.5	2.3	4.5	68.2	0.0
学校外施設（教育支援センター、フリースクールなど）を利用したかったが利用ができず、家でお子さんの面倒をみることになったため		11	8	11	0	1	9	0
		100.0	72.7	100.0	0.0	9.1	81.8	0.0
家族や親族から理解・協力が得られなかつたため		7	7	7	0	1	7	1
		100.0	100.0	100.0	0.0	14.3	100.0	14.3
自身の希望としてお子さんのケアに専念したかったため		39	27	36	1	4	26	0
		100.0	69.2	92.3	2.6	10.3	66.7	0.0
その他		15	8	14	0	2	5	0
		100.0	53.3	93.3	0.0	13.3	33.3	0.0

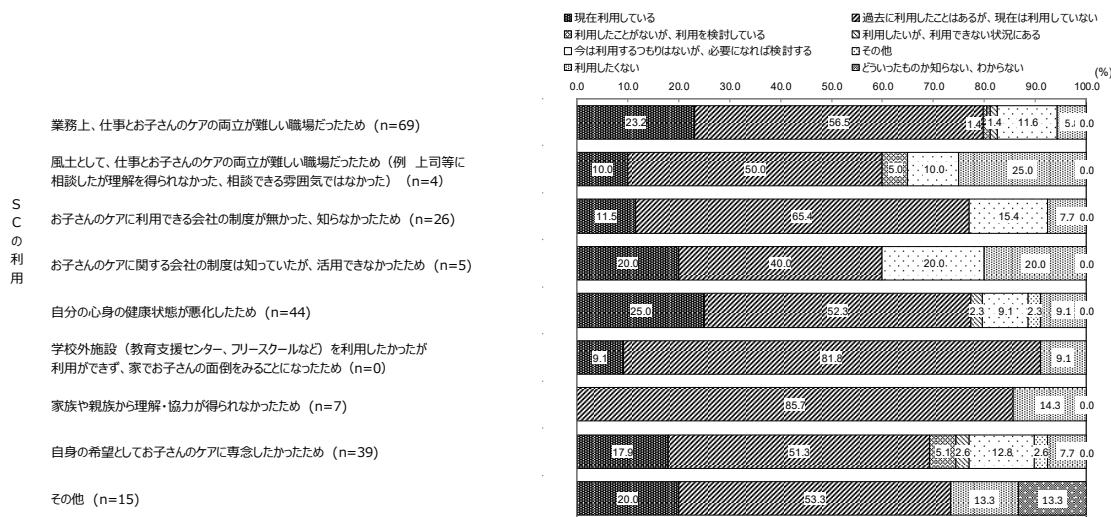
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q5.長期欠席の原因・きっかけ

「昇進を諦めた又は降格した」、「休職や退職を検討した」を選択した層で、「気持ちが落ち込んだり、いらっしゃしたりした」の割合が高い。

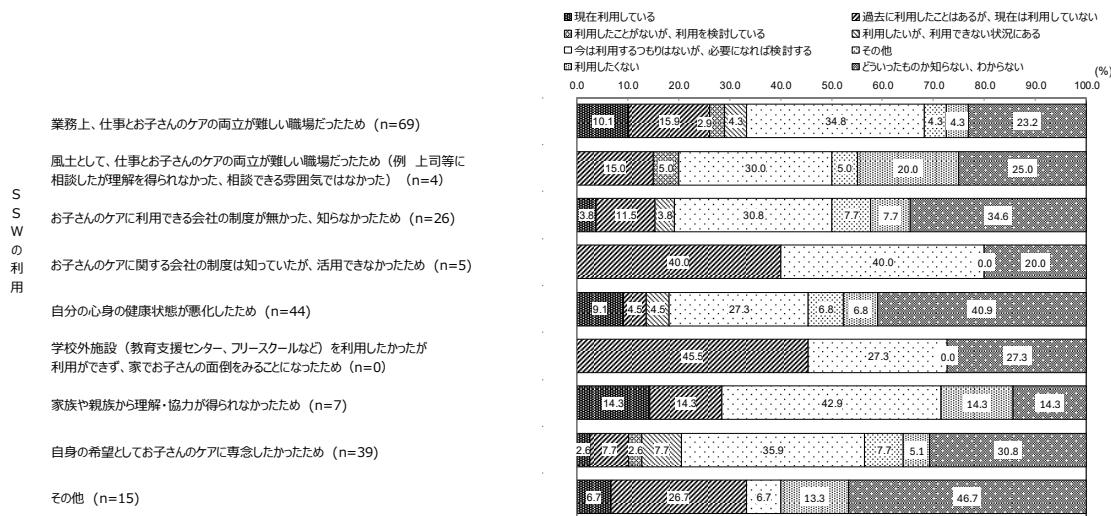
		問5-1.お子さんが学校を長期欠席している要因・きっかけは何ですか。(複数回答可)													学 校 の き ま り の こ と			
		全 体	い や が ら せ や い じ め を う け た	い や が ら せ や い じ め に 加 わ つ て し ま つ	い じ め 以 外 の 友 人 関 係 の ト ラ ブ ル が あ つ た	仲 の 良 い 友 達 が い な かつ た	先 生 と あ わ な かつ た	先 生 に 厳 しく 怒 られ た	勉 強 が 分 か ら な か つ た	授 業 が か ん た ん す ぎ た	成 績 が 下 が つ た	宿 題 が でき な か つ た	将 来 の 進 路 の こ と で 悩 んで いた	部 活 動 の 問 題	学 校 の き ま り の こ と			
		全 体	128	24	1	21	20	33	12	29	0	6	11	3	7	16		
			100.0	18.8	0.8	16.4	15.6	25.8	9.4	22.7	0.0	4.7	8.6	2.3	5.5	12.5		
雇用形態	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた		78	15	0	12	10	20	7	20	0	5	5	2	5	9		
		100.0	19.2	0.0	15.4	12.8	25.6	9.0	25.6	0.0	6.4	6.4	2.6	6.4	11.5			
	仕事の内容や働き方を変えた（時短やシフト勤務、内勤への変更等）		24	4	0	4	2	9	0	9	0	1	0	1	4	2		
		100.0	16.7	0.0	16.7	8.3	37.5	0.0	37.5	0.0	4.2	0.0	4.2	16.7	8.3			
	働く時間や場所に制約が出た（残業、出張ができなくなった等）		29	3	0	4	4	7	3	9	0	3	0	1	1	5		
		100.0	10.3	0.0	13.8	13.8	24.1	10.3	31.0	0.0	10.3	0.0	3.4	3.4	17.2			
	仕事のパフォーマンスが下がった（業務に集中できないこと等）		5	1	0	1	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0		
		100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅勤務が増えた		46	8	0	9	7	9	2	13	0	2	4	1	4	6		
		100.0	17.4	0.0	19.6	15.2	19.6	4.3	28.3	0.0	4.3	8.7	2.2	8.7	13.0			
	昇進を諦めた又は降格した		12	1	0	1	3	7	3	3	0	1	0	1	0	3		
		100.0	8.3	0.0	8.3	25.0	58.3	25.0	25.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0			
	休職や退職を検討した		9	1	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	1	1		
		100.0	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1			
	その他（自由記述）		44	6	0	6	3	12	3	10	0	2	2	1	2	5		
		100.0	13.6	0.0	13.6	6.8	27.3	6.8	22.7	0.0	4.5	4.5	2.3	4.5	11.4			
	特に影響はなかった		17	3	0	0	3	2	2	4	0	1	4	1	2	2		
		100.0	17.6	0.0	0.0	17.6	11.8	11.8	23.5	0.0	5.9	23.5	5.9	11.8	11.8			
			か 入 っ た お い が い だ ・ 進 級 ・ 転 校 し て 学 校 や ク ラ ス に 合 わ な に	な ど の 影 響 を う る さ か つ た り 、 い や な に	学 校 と は 違 つ た こと (遊 び)	か ら だ の 不 調	気 持 ち が 落 ち 込 み だ り 、 い ら い ら し た た り し た	し 夜 な む れ な か つ た り 、 朝 起 き ら れ な か つ た り	家 庭 で の 生 活 が 変 わ つ	親 の こ と	家 族 の せ 話 や 家 事 が 忙 しか つ	そ の 他 (自 由 記 述)	わ か ら な い	答 え た く な い				
		全 体	21	30	12	7	42	49	37	5	4	0	24	12	0			
			16.4	23.4	9.4	5.5	32.8	38.3	28.9	3.9	3.1	0.0	18.8	9.4	0.0			
雇用形態	遅刻、早退、中抜け、欠勤が増えた		13	22	8	5	29	33	23	3	3	0	12	6	0			
		16.7	28.2	10.3	6.4	37.2	42.3	29.5	3.8	3.8	0.0	15.4	7.7	0.0				
	仕事の内容や働き方を変えた（時短やシフト勤務、内勤への変更等）		6	4	2	1	11	10	10	1	2	0	4	2	0			
		25.0	16.7	8.3	4.2	45.8	41.7	41.7	4.2	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0				
	働く時間や場所に制約が出た（残業、出張ができなくなった等）		6	8	4	2	11	11	12	0	1	0	3	3	0			
		20.7	27.6	13.8	6.9	37.9	37.9	41.4	0.0	3.4	0.0	10.3	10.3	0.0				
	仕事のパフォーマンスが下がった（業務に集中できないこと等）		1	1	0	1	2	2	1	0	0	0	2	0	0			
		20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0				
	在宅勤務が増えた		8	9	6	4	15	20	16	3	3	0	7	5	0			
		17.4	19.6	13.0	8.7	32.6	43.5	34.8	6.5	6.5	0.0	15.2	10.9	0.0				
	昇進を諦めた又は降格した		3	5	0	2	6	8	4	1	1	0	3	0	0			
		25.0	41.7	0.0	16.7	50.0	66.7	33.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0				
	休職や退職を検討した		2	2	1	0	4	5	3	0	2	0	0	3	0			
		22.2	22.2	11.1	0.0	44.4	55.6	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0				
	その他（自由記述）		8	9	3	2	16	15	9	3	3	0	9	5	0			
		18.2	20.5	6.8	4.5	36.4	34.1	20.5	6.8	6.8	0.0	20.5	11.4	0.0				
	特に影響はなかった		2	5	3	0	5	3	3	0	1	0	6	3	0			
		11.8	29.4	17.6	0.0	29.4	17.6	17.6	0.0	5.9	0.0	35.3	17.6	0.0				

Q22.雇用形態の変化の理由 × Q8.SC・SSW の利用状況

SC を「現在利用している」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で 23.2% (n が少ない層を除く)

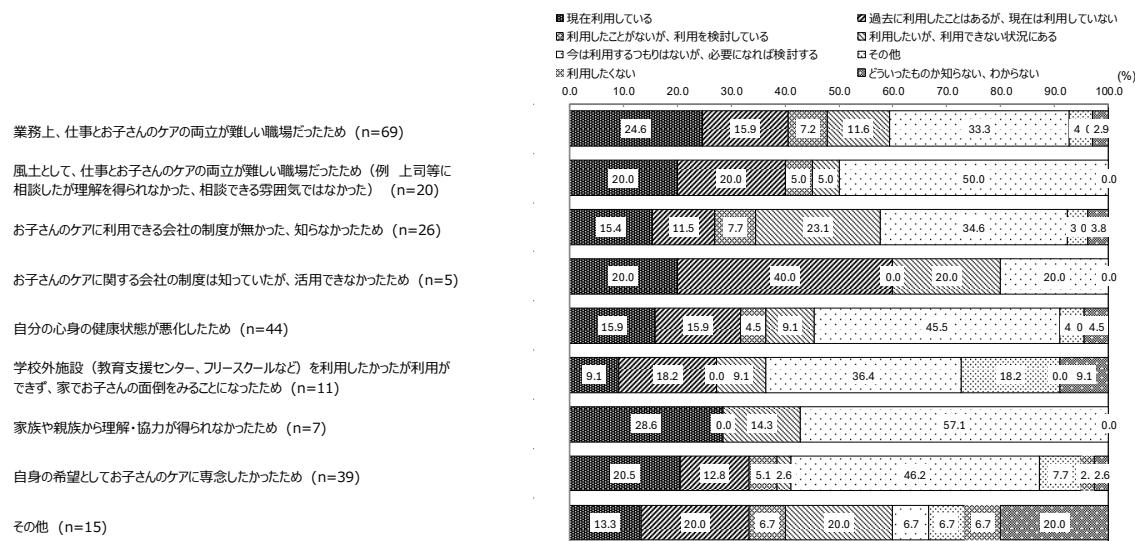


SSW を「現在利用している」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で 10.1% (n が少ない層を除く)



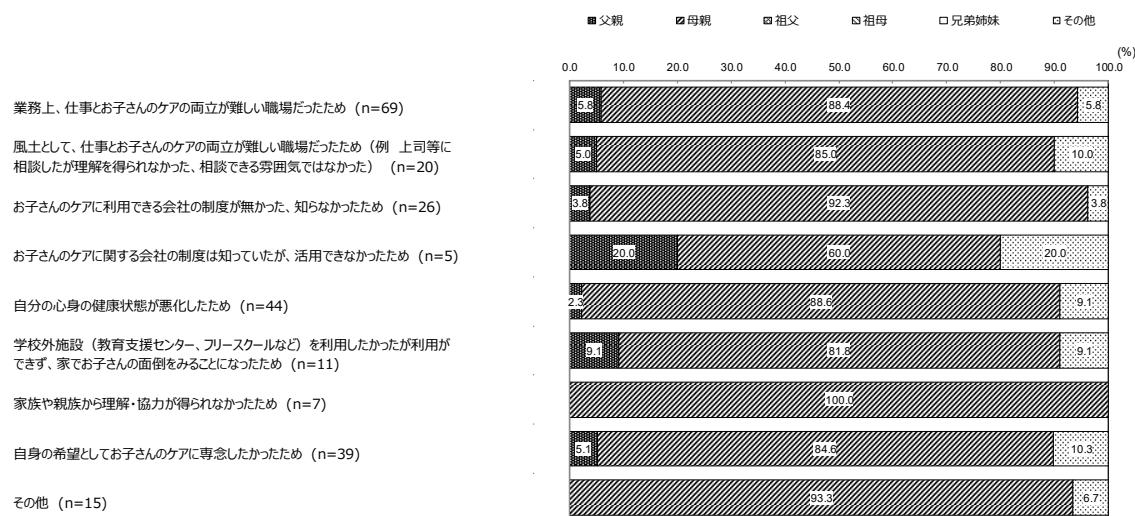
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q10.学校外支援の利用状況

「現在利用している」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で 24.6% (n が少ない層を除く)



Q22.雇用形態の変化の理由 × Q16.最もケアした人

「お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかつたため」を選択した人は、他の選択肢に比べ、父親が最もケアした人である割合が高い。



Q22.雇用形態の変化の理由 × Q17.不安や悩み事

「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」、「自分の心身の健康状態が悪化したため」を選択した層は、「自分の仕事との両立に対する悩み」の選択割合が高い。

		問17.お子さんを支える中で感じた不安や悩み事、精神的・身体的な負担についてお答えください。（複数回答可）															
		問お わ子 りさ 方の にの つ周 い回 いと のと 全 体	不 お い保 を護 感 じの てお いさ のす 将 未 に安 対 し い て	お の 対 応 んの てお いさ のす 将 未 に安 対 し い て	学 習 の の 難 い の 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	お 力 の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	お か れ の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	校 や 担 任 と の や り 取 り や サ ボ ー ト の	学 校 や 担 任 と の や り 取 り や サ ボ ー ト の	調 理 の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	病 院 以 外 の 施 設 の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	学 校 や 担 任 と の や り 取 り や サ ボ ー ト の	送 迎 の 時 間 ク 支 援 機 関 の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	（ フ 校 以 外 の 施 設 の 低 んの 下 に つ へ い の 接 し い つ れ い て	自 分 の 身 自 由 な 時 間 が 確 保 で き な い	自 分 の 仕 事 と の 両 立 に 対 す る 悩 み	
		全 体	113 100.0	70 61.9	82 72.6	77 68.1	62 54.9	68 60.2	64 56.6	49 43.4	42 37.2	49 43.4	91 80.5				
		業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため	69 100.0	43 62.3	50 72.5	50 72.5	39 56.5	43 62.3	38 55.1	33 47.8	29 42.0	32 46.4	59 85.5				
		風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため （例 上司等に相談したが理解を得られなかた、相談できる空気ではなかった）	20 100.0	13 65.0	13 65.0	14 70.0	6 30.0	12 60.0	11 55.0	9 45.0	10 50.0	9 45.0	16 80.0				
		お子さんのケアに利用できる会社の制度が無かつ、知らなかたため	28 100.0	16 61.5	17 65.4	19 73.1	11 42.3	14 53.8	15 57.1	11 42.3	10 30.6	10 36.5	22 84.6				
		お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかたため	5 100.0	3 100.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	2 80.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	4 80.0				
雇用形態	自分の心身の健康状態が悪化したため		44 100.0	27 61.4	32 72.7	28 63.6	22 50.0	30 68.2	27 61.4	21 47.7	15 34.1	18 40.9	38 86.4				
	学校外施設（教育支援センター、フリースクールなど）を利用したかったが利用ができます、家でお子さんの面倒をみることになったため		11 100.0	6 54.5	7 63.6	9 81.8	5 45.5	8 72.7	8 72.7	7 63.6	8 36.4	10 72.7	10 90.9				
	家族や親族から理解・協力が得られなかたため		7 100.0	5 71.4	5 71.4	5 71.4	5 71.4	6 71.4	3 57.1	5 71.4	4 57.1	5 71.4	7 100.0				
	自分の希望としてお子さんのケアに専念したかったため		39 100.0	25 64.1	29 74.4	27 69.2	22 56.4	26 66.7	24 61.5	20 51.3	15 38.5	21 53.8	21 84.6				
	その他		15 100.0	7 46.7	11 73.3	9 73.3	13 60.0	10 86.7	9 66.7	7 60.0	7 46.7	12 80.0					
	立家 族 以 外 の 誰 に も 相 談 で き ず に い る 孤		27 全 体	64 23.9	34 56.6	33 30.1	63 29.2	45 55.8	44 39.8	53 38.9	10 46.9	2 8.8	2 1.8				
	業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため		18 26.1	40 58.0	24 34.8	19 27.5	39 56.5	28 40.6	27 39.1	7 56.5	1 10.1	1 1.4					
	風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため （例 上司等に相談したが理解を得られなかた、相談できる空気ではなかった）		6 30.0	10 50.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	7 35.0	2 10.0	1 5.0					
	お子さんのケアに利用できる会社の制度が無かつ、知らなかたため		7 26.9	17 65.4	8 30.8	6 23.1	17 65.4	13 50.0	10 38.5	10 53.8	1 3.8	0 0.0					
	お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかたため		2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0					
		自分の心身の健康状態が悪化したため		10 22.7	29 65.9	12 27.3	14 31.8	27 61.4	21 47.7	20 45.5	22 50.0	22 6.8	0 0.0				
		学校外施設（教育支援センター、フリースクールなど）を利用したかったが利用ができます、家でお子さんの面倒をみることになったため		4 36.4	6 54.5	6 54.5	5 45.5	7 63.6	6 54.5	5 45.5	6 63.6	0 0.0	0 0.0				
		家族や親族から理解・協力が得られなかたため		5 71.4	5 71.4	4 57.1	6 85.7	4 85.7	4 57.1	5 42.9	5 71.4	3 14.3	0 0.0				
		自分の希望としてお子さんのケアに専念したかったため		12 30.8	23 59.0	13 33.3	11 28.2	23 59.0	14 35.9	18 46.2	20 51.3	5 12.8	1 2.6				
		その他		5 33.3	7 46.7	3 20.0	6 40.0	5 60.0	9 53.3	6 66.7	6 40.0	0 20.0	6 6.7				

Q22.雇用形態の変化の理由 × Q23.働き方の変化

「風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」を選択した家庭は、「休職や退職を検討した」の割合が 75.0%。

		問23.お子さんのケアのために、働き方に変化はありましたか。（複数回答可）														
		全 体	遅刻・早退・中抜け・欠勤が増えた	内へ勤務時間が短いや内勤シフト等で勤き方を変えた	働く業務時間出張場所で制約なくが出た等	（～業務の業務に集中度が下がった等）	在宅勤務が増えた	昇進を諦めた又は降格した	休職や退職を検討した	その他の	特に影響はなかった	（～就労はしない主婦（～主夫）等）	（～お子さんとのケアに関わらず）			
	全 体	113 100.0	67 59.3	43 38.1	33 29.2	33 29.2	6 5.3	12 10.6	67 59.3	4 3.5	7 6.2	1 0.9				
雇用形態	業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため	69 100.0	45 65.2	33 47.8	27 39.1	23 33.3	3 4.3	9 13.0	48 69.6	3 4.3	0 0.0	0 0.0				
	風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため (例 上司等に相談したが理解を得られなかつた、相談できる雰囲気ではなかつた)	20 100.0	13 65.0	10 50.0	7 35.0	8 40.0	2 10.0	4 20.0	15 75.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0				
	お子さんのケアに利用できる会社の制度が無かつた、知らなかつたため	26 100.0	19 73.1	9 34.6	7 26.9	12 46.2	0 0.0	6 23.1	18 69.2	2 7.7	0 0.0	0 0.0				
	お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかつたため	5 100.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
	自分の心身の健康状態が悪化したため	44 100.0	30 68.2	19 43.2	15 34.1	18 40.9	2 4.5	8 18.2	27 61.4	3 6.8	2 4.5	0 0.0				
	学校外施設（教育支援センター、フリースクールなど）を利用したかったが利用ができます、家でお子さんの面倒を見るにこなつたため	11 100.0	9 81.8	6 54.5	5 45.5	7 63.6	2 18.2	2 18.2	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
	家族や親族から理解・協力が得られなかつたため	7 100.0	7 100.0	6 85.7	4 57.1	6 85.7	0 0.0	1 14.3	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
	自身の希望としてお子さんのケアに専念したかったため	39 100.0	23 59.0	20 51.3	12 30.6	14 35.9	4 10.3	4 10.3	27 69.3	1 2.6	1 2.6	1 0.0				
	その他	15 100.0	5 33.3	4 26.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	7 46.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7				

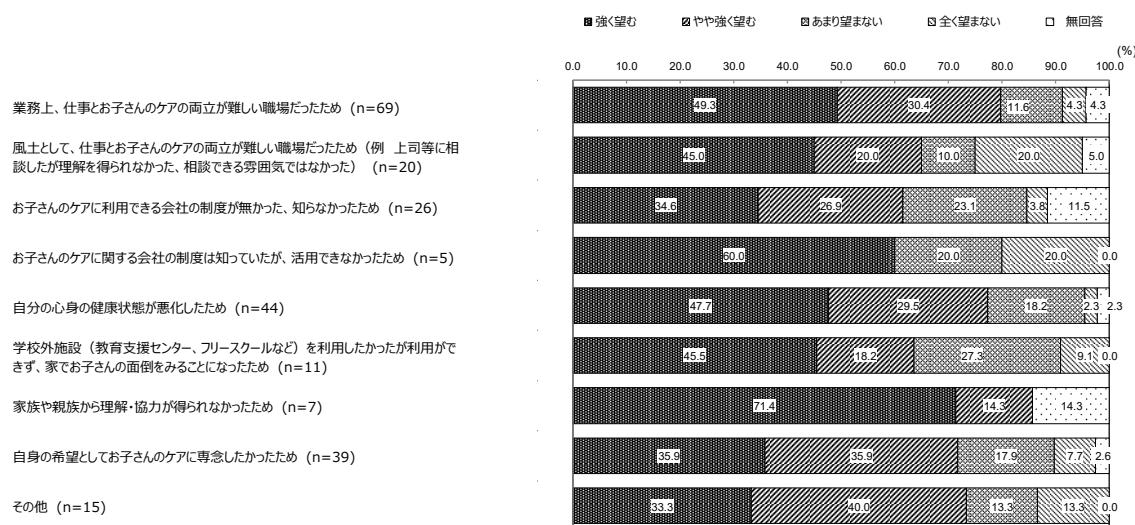
Q22.雇用形態の変化の理由 × Q24.ケアと仕事の両立に望むもの

「お子さんのケアに利用できる会社の制度が無かった、知らなかつたため」を選択した家庭は、「お子さんのケアと仕事の両立に関する社内制度の整備」の選択率が他の層に比べ高い。「風土として、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため(例 上司等に相談したが理解を得られなかつた、相談できる雰囲気ではなかつた)」を選択した家庭では、「お子さんのケアに理解がある職場風土」の選択率が他の層に比べ高い。

Q22.雇用形態の変化の理由 × Q26.行政に求める支援

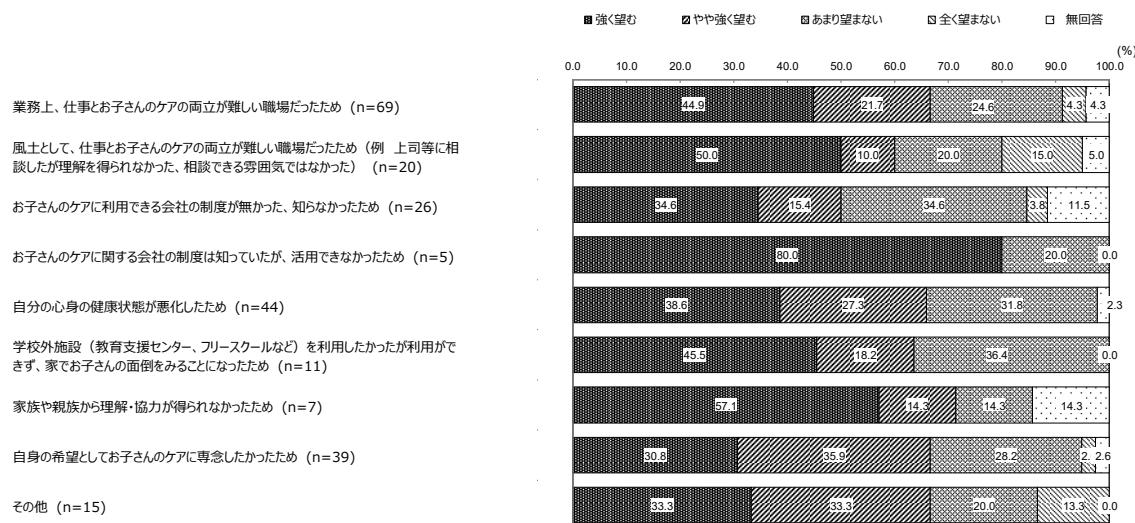
【Q26-1.お子さんに対するカウンセリングなどの心理的支援の充実】

「強く望む」割合は、「家族や親族から理解・協力が得られなかつたため」を選択した層で 71.4%。
(母数の少なさに留意が必要)



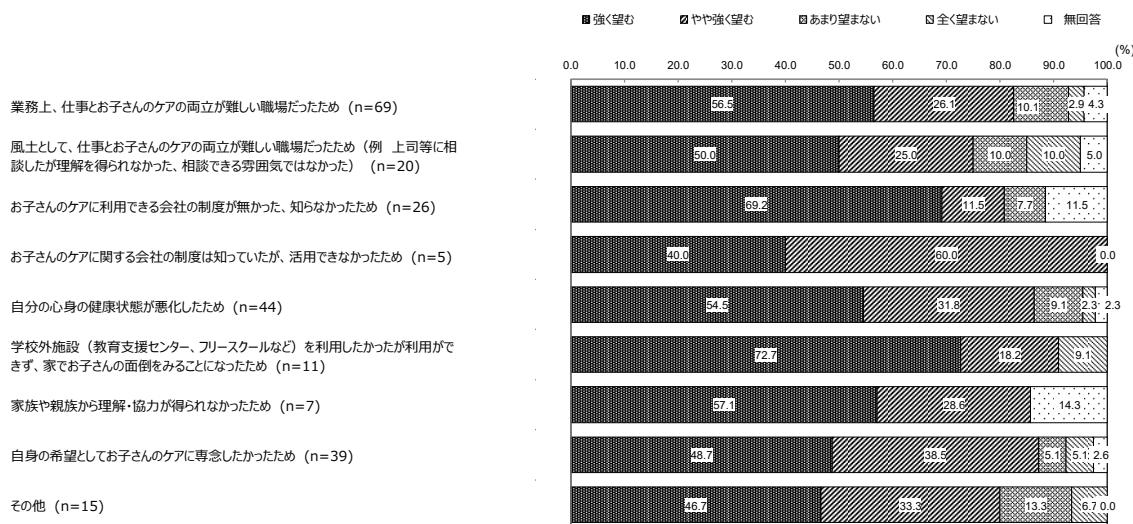
【Q26-2.関係機関とつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)の充実】

「強く望む」割合は、「家族や親族から理解・協力が得られなかつたため」を選択した層で 57.1%
(母数の少なさに留意が必要)。



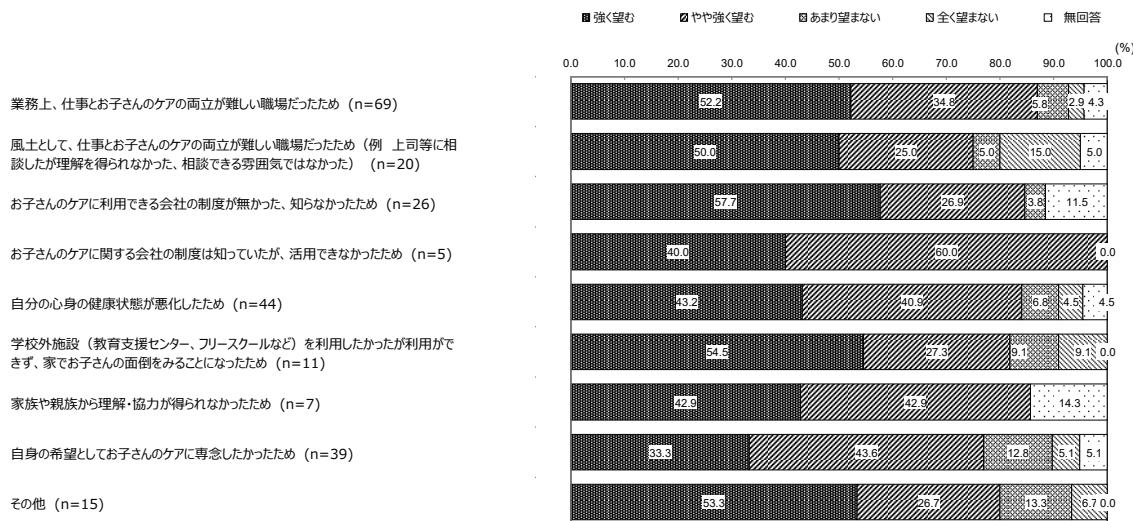
【Q26-3.学校内での教室以外の居場所(スペシャルサポートルーム・校内教育支援センターなど)の充実】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で56.5%(nが少ない層を除く)



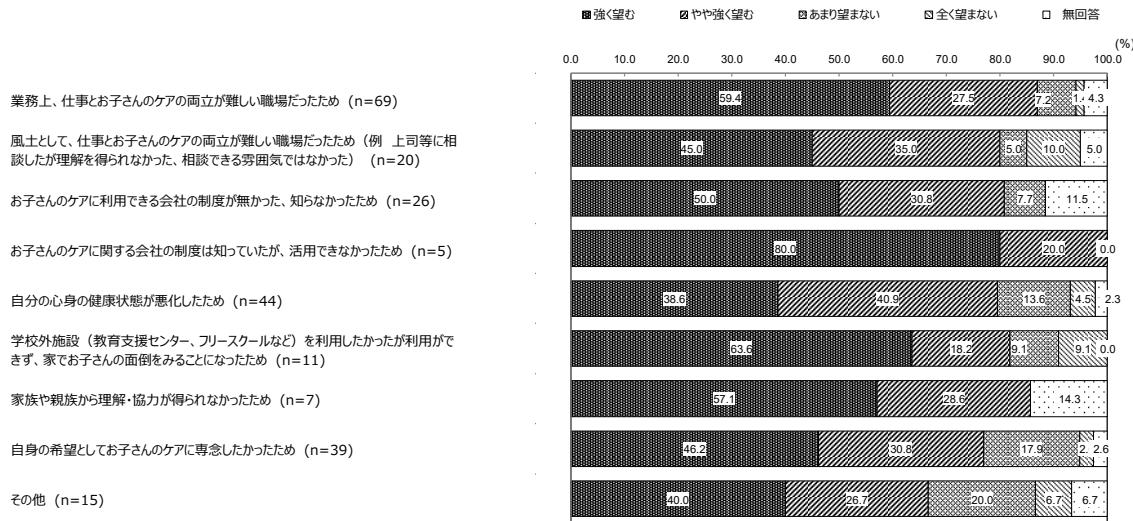
【Q26-4.学校外での公的な学習支援・居場所(教育支援センター、学びの多様化学校等)の充実】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で52.2%(nが少ない層を除く)



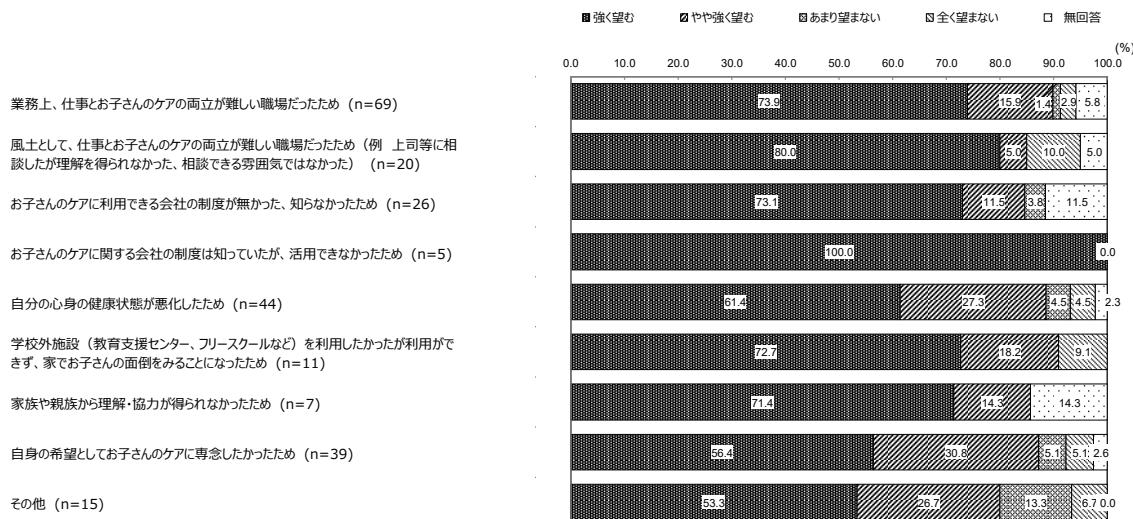
【Q26-5.学校外での民間の居場所(フリースクール、フリースペース、居場所等)の充実】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で
59.4%(n が少ない層を除く)



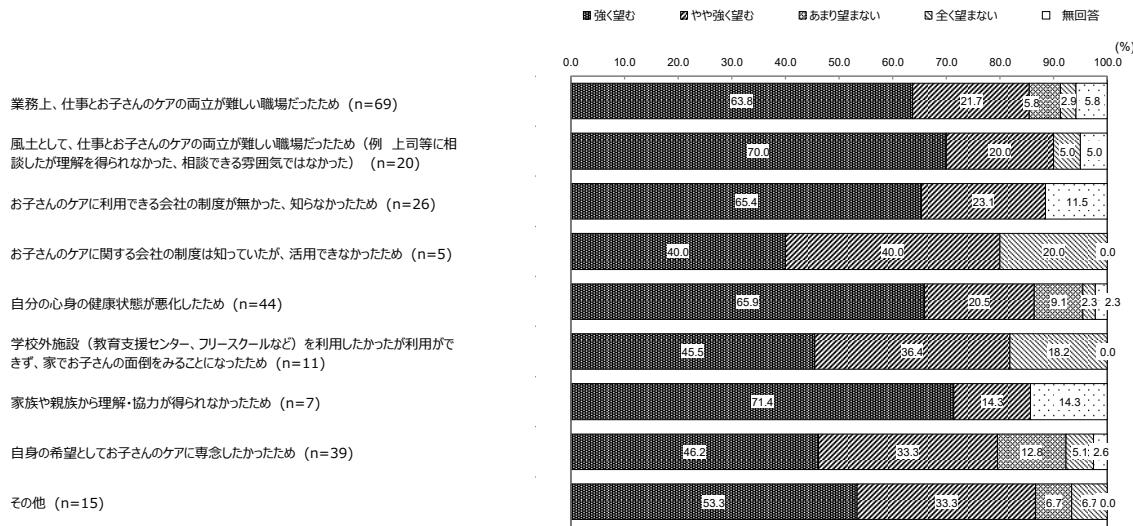
【Q26-6.学校外支援(教育支援センター、フリースクール等)に通った場合でも、進学において不 利にならないこと】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で
73.9%(n が少ない層を除く)



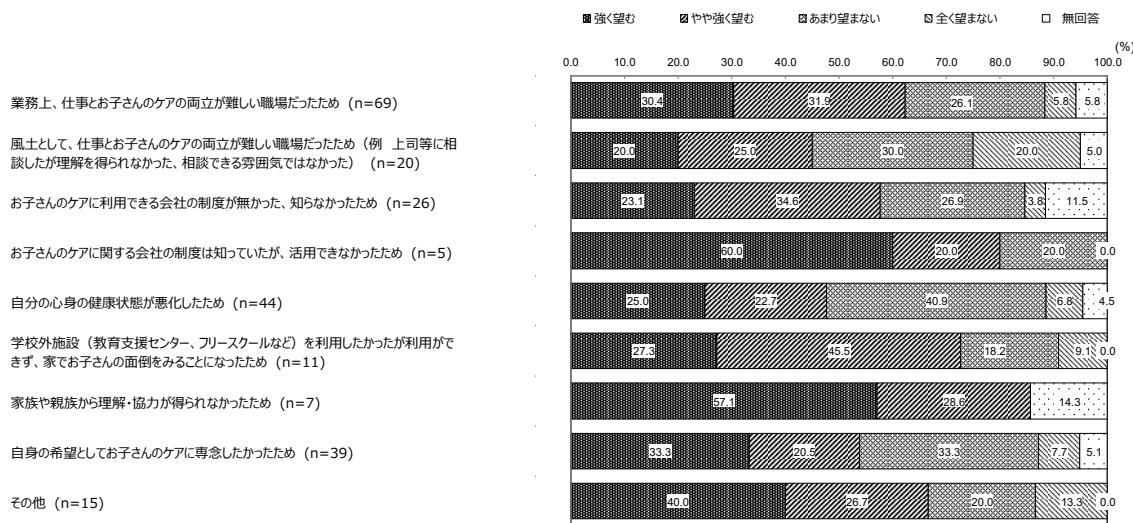
【Q26-7.学習支援(オンライン授業の提供など)の充実】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で63.8%(nが少ない層を除く)



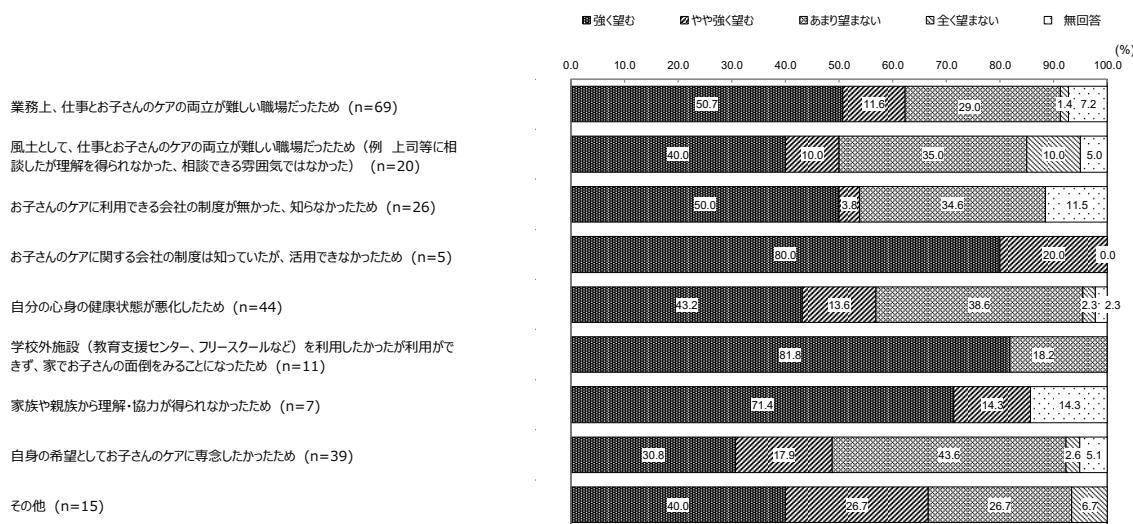
【Q26-8.親の会など同じ悩みを抱える人たちの交流の場】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で30.4%(nが少ない層を除く)



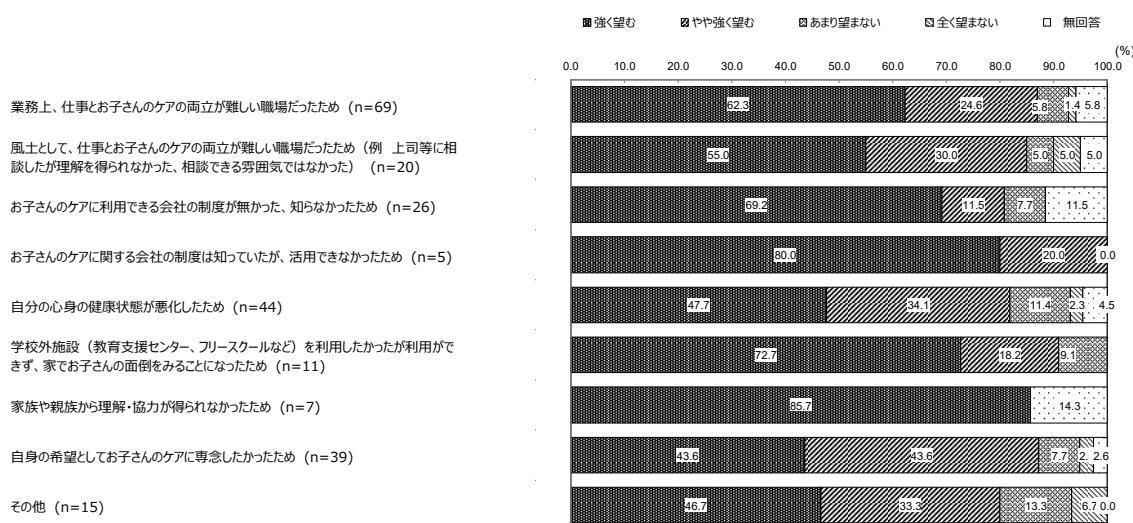
【Q26-9.お子さんのケアを一時的に代わってくれる等、自分が休める時間の確保】

「強く望む」割合は、「学校外施設(教育支援センター、フリースクールなど)を利用したかったが利用ができず、家でお子さんの面倒をみることになったため」を選択した層、「お子さんのケアに関する会社の制度は知っていたが、活用できなかったため」を選択した層、「家族や親族から理解・協力が得られなかつたため」を選択した層の順に高くなっている。



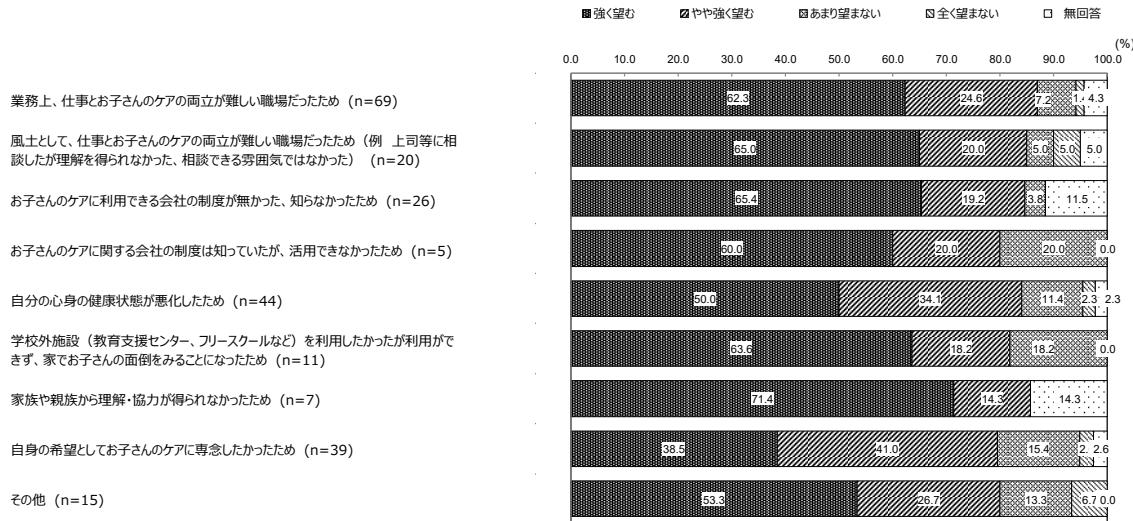
【Q26-10.長期欠席や不登校の支援に関する情報提供】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で62.3%(nが少ない層を除く)



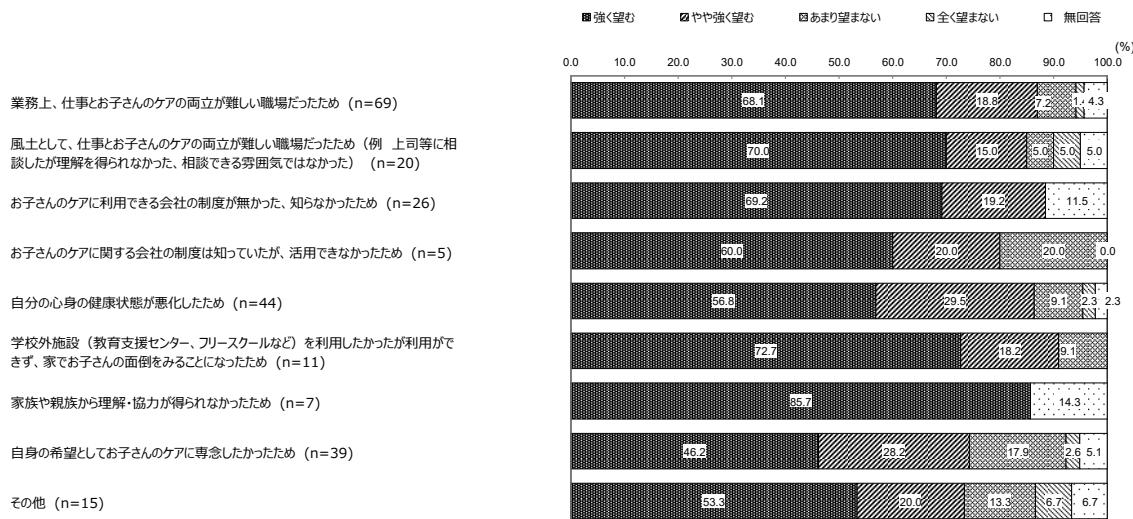
【Q26-11.企業への意識や理解の促進】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で62.3%(nが少ない層を除く)



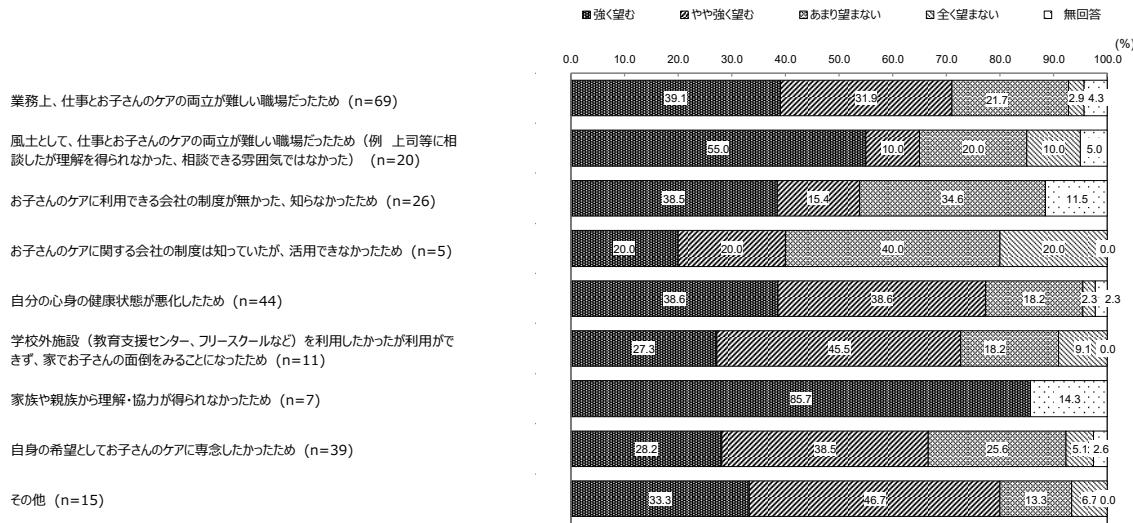
【Q26-12.企業への職場環境整備の支援】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で68.1%(nが少ない層を除く)



【Q26-13.医療機関と繋がるための支援】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で39.1%(nが少ない層を除く)



【Q26-14.家庭や家族の課題について相談できる福祉機関と繋がるための支援】

「強く望む」割合は、「業務上、仕事とお子さんのケアの両立が難しい職場だったため」の層で37.7%(nが少ない層を除く)

